

1 9 9 8

# 授業概要

【シラバス】

## 教養科

白梅学園短期大学

SHIRAZUME GAKUEN COLLEGE



## 目次（教養科）

### 教養教育科目（1年）

文学・フィクションと人間	3
王朝文学の世界	4
話し言葉の文芸	5
西洋文学	6
近代日本の歴史	7
西洋史概説	8
東洋美術	9
演劇論	10
現代社会論	11
現代家族論	12
日本国憲法	13
市民生活と法	14
政治学入門	15
生活の経済学	16
心理学入門	17
マスコミュニケーション概論	18
自然科学史	19
生命の科学	20
生物と環境	21
生活の科学	22
健康の生理学	23
宇宙と地球	24
総合科目 人間	25
総合英語Ⅰ－1、2	27
選択語学Ⅰ－1、2（英語）	31
選択語学Ⅰ－1、2（独語）	38
選択語学Ⅰ－1、2（仏語）	40
選択語学Ⅰ－1 海外語学研修	41
スポーツA（テニス）	42
スポーツA（バドミントン）	43
スポーツA（バレーボール）	44
スポーツA（ダンス）	45
スポーツB（スキー）	46
健康科学	47
スポーツ科学	48

### 専門教育科目（1年）

日本文学史（古代）	51
日本文学史（近・現代）	52
日本文学（中・近世）	53
国語学	54
国語表現法	55
史学概論	57
史料講読	58
日本古代史（考古学を含む）	61
文化論	62
アジアと日本	63
日本経済論	64

イギリス文学講読	65
英米事情講読	66
英語表現Ⅰ	67
イギリス史	68
アメリカ史	69
日本美術史	70
言語学	71
民俗学	72
情報処理概論	73
教養演習Ⅰ	74

### 教職科目（1年）

教育原理	85
教育心理	86
道徳教育の研究	87
特別活動の研究	88
生徒指導の研究	89
国語科教育法	90
教育実習	91

### 博物館科目（1年）

生涯学習概論	95
博物館学	96
博物館実習	97
教育学概論	98

### 司書科目（1年）

生涯学習概論	101
図書館概論	102
図書館経営論	103
情報検索演習	104
図書館資料論	105
資料組織概説	106
資料組織演習	107
児童サービス論	108
図書及び図書館史	109
情報機器論	110

### 教養教育科目（2年）

総合英語Ⅱ－1、2	113
選択語学Ⅱ－1、2（英語）	117
選択語学Ⅱ－1、2（独語）	119
選択語学Ⅱ－1、2（仏語）	120

### 専門教育科目（2年）

日本文学史（中・近世）	123
日本文学（古代）	124
日本文学（近・現代）	125
漢文学	126

日本中世史	127
日本近世史	128
日本近現代史	129
近代と西洋思想	130
アメリカ文学講読	131
英語表現Ⅱ	132
イギリス文学史	133
アメリカ文学史	134
西洋文学思潮	135
芸能史	136
映像文化論	137
比較文学	138
東洋文化史	139
現代日本政治	140
日本女性史	141
現代女性論	142
文化人類学	143
社会思想史	144
西洋史	145
国際関係論	146
アジア・アフリカ論	147
書道Ⅰ	148
教養演習Ⅱ	149
卒業研究	158

### 教職科目（2年）

書道Ⅱ	161
教育実習	162

### 博物館科目（2年）

博物館実習	165
視聴覚教育メディア論	166

### 司書科目（2年）

図書館サービス論	169
情報サービス概説	170
レファレンスサービス演習	171
専門資料論	172
資料特論	173
コミュニケーション論	174
図書館特論	175



教養教育科目（1年）





【授業科目名】 文学・フィクションと人間	【担当者】 栗田廣美
【開講期】 1 年 前期	
<p>【授業目標】</p> <p>小説、映画、ドラマの中の「世界」は、<u>どこにある</u>のだろう。それは、我々の住んでいる「この現実」とは別の、「もう一つの別世界」だ。この「別世界」の構造（しくみ）を考え、「芸術・フィクション」の秘密に迫るのが目標です。</p>	
<p>【テキスト・参考書】</p> <p>随時、プリントを配布します。プリント以外の「読書課題」は、ありません。</p>	
授 業 計 画	
<p>だいたい、次のような流れで、講義して行きます。      具体的作品は、プリント等を使って紹介＝解説します。</p> <p>【①「フィクション」について】</p> <p>例えば「小説」に書かれたことは、要するにすべて「作り事」、つまり「フィクション・虚構・ウソッパチ」だ。……映画も、テレビドラマも同じこと。      しかし、我々は、<u>なぜ</u>、そんな「ウソッパチ」に接して、感動したり、中には「生き方が変わってしまう」人まで出てくるのか。</p> <p>【②「作品世界」の構造（しくみ）について】</p> <p>「作品世界＝もう一つの別世界」は、どのような「仕組み」で出来ているのだろうか。……そもそも、それは、<u>誰が</u>「見ている」世界なのか。「語っている」のは「誰」なのか。少なくとも、いわゆる「作者」ではないはずだ。</p> <p>【③フィクションと「現実」について】</p> <p>小説・映画・ドラマは「現実ではない」という。では、「現実」とは何なのだろう。何が「フィクション」で、何が「フィクションではない」のか。</p> <p>……日本とヨーロッパの、近代文学作品を中心に、美術や音楽も視野に入れた講義になると思います。</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>筆記試験（ノート・プリント等、何でも参照可）。講義に基づいて「書く」形式。講義をよく聞いて、しっかりノートを取っておけば、大丈夫。出席点を加味して、総合的に評価する。</p>	

【授業科目名】 王朝文学の世界

【担当者】 久保木寿子

【開講期】 1 年 後期

【授業目標】 日本の古典作品の多くが、受験文法のために使われるのみで、その内容を知られないままに終わってしまうのは、とても残念なことだと思われる。

優れた古典は、作品としての主張を持っており、現代に生きる私たちの解釈をこそ待っている。王朝文学のおもしろさに気づくことが、第一の目標である。ついで作品の主張の意味を時代に即して考えることにしたい。

【テキスト・参考書】

岩波文庫『竹取物語』・配布プリント

参考書は授業時に紹介する。

### 授 業 計 画

初期の物語作品からまず『竹取物語』をとりあげ、口伝えによるカタリから物語が生成してくるこの意味について、考えていく。

ついで『源氏物語』をとりあげて、物語の成熟のさまを見る。

- 1、様々な竹取の物語
- 2、カタリの話型と、話型による物語
- 3、難題婚譚の達成
- 4、かぐや姫とは何か（物語の主題）
- 5、物語の中の異界：『古事記』の場合・『源氏物語』の場合
- 6、源氏物語の論理：形代・予言・宿世・身分
- 7、源氏物語の主題：王法と仏法・社会制度と自我

【評価方法】

定期試験時レポート、及び授業時の【マトノメセ】による。

【授業科目名】 話し言葉の文芸

【担当者】 東喜望

【開講期】 1 年 前期

【授業目標】

将来に資するために、口承文芸をとりあげます。  
初めに、口承文芸（昔話・伝説・神話など）を概観し、日本の代表的な話をとりあげながら、その話の淵源をたずねていきます。  
大陸や環太平洋諸地域との関連も積極的に考究していく予定です。

【テキスト・参考書】 1. 適宜に、講義資料を配り布します。  
2. 参考書：岩波文庫『日本の昔ばなし』I、II、III（関敬吾編）

### 授 業 計 画

講義は、およそ以下の項目にそっておこないます。

1. 自然と文化
2. ことばと文化
3. 文芸の起源
4. 口承文芸
5. 昔話の形態
6. 昔話のルーツ

【評価方法】 定期試験のときに実施する筆記試験。

【授業科目名】 西洋文学	【担当者】 衣川清子
【開講期】 1 年 後期	
<p>【授業目標】 女性作家によって書かれた19世紀および20世紀の西洋文学の小説（児童文学を含む）のいくつかに触れることによって、知識、視野、教養の幅を広げることを目標とします。</p>	
<p>【テキスト・参考書】 テキストは特になし。参考書や資料は必要に応じて紹介します。</p>	
授 業 計 画	
<p>この授業では19世紀および20世紀の西洋文学の小説（児童文学を含む）のうちから、女性作家によって書かれたいくつかの作品を選び、作品が生まれた背景、作品の内容と特徴、作者の横顔、その作品がどのように読まれてきたかなどを紹介し、あわせて女性をとりまくさまざまな問題を考える一種の文学案内にしたいと思っています。</p> <p>毎回の授業で一つの作品を扱う予定です。取り上げる予定の小説は、ジェイン・オースティン『いつか晴れた日に』、シャーロット・ブロンテ『ジェイン・エア』、ルーシー・モード・モンゴメリー『赤毛のアン』、フィリッパ・ピアス『トムは真夜中の庭で』、ローラ・インガルス・ワイルダー『大きな森の小さな家』、マーガレット・ミッチェル『風と共に去りぬ』、アリス・ウォーカー『カラー・パープル』、イサベル・アジェンデ『精霊たちの家』、エイミ・タン『ジョイ・ラック・クラブ』、テリー・マクミラン『ため息つかせて』、スザンナ・タマーロ『心のおもむくままに』などです。また、ミステリーのジャンルから、気になるいくつかの作品を取り上げる予定です。（作品リストは変更する場合があります。）音声や映像の資料がある場合はそれらも活用したいと思います。この機会にいろいろな小説を読みたいと思っている学生の聴講を期待します。</p> <p>授業の進め方やスケジュールなど、詳しくは初回の授業で説明します。</p>	
<p>【評価方法】 平常点と期末レポート（「書評」）の総合評価とします。詳細は授業中に説明します。</p>	

【授業科目名】 近代日本の歴史	【担当者】 伊香俊哉
【開講期】 1 年 前期 ・ 後期	
<p>【授業目標】</p> <p>近代日本の歩みは戦争との関わり抜きには語れない。その戦争が近隣諸国・諸地域になにをもたらしたのかについての理解を深める。</p>	
<p>【テキスト・参考書】</p> <p>テキスト：特になし  参考文献：多数あるので、講義の中で逐次紹介する</p>	
授 業 計 画	
<p>近代日本の歩みを主に対外的な軍事的展開を中心にみていく。そしてその中での日本軍の行動の違法性や犯罪性について各自に考えてもらいたい。</p> <p>以下のテーマを取り上げる予定である。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◇日本の大陸進出</li> <li>◇戦争違法化</li> <li>◇中国ナショナリズムと日本</li> <li>◇日本の中国侵略</li> <li>◇「従軍慰安婦」</li> <li>◇731部隊</li> <li>◇南京事件</li> <li>◇昭和天皇と十五年戦争</li> <li>◇東京裁判</li> <li>◇BC級裁判</li> <li>◇戦後補償問題</li> </ul>	
<p>【評価方法】</p> <p>出席とレポート又は筆記試験により総合的に評価する。</p>	

【授業科目名】 西洋史概説	【担当者】 松本佐保
【開講期】 1 年 後期	
<p>【授業目標】</p> <p>西洋の歴史について学ぶことは、何も過去について知識を得るだけでなく、現代の西洋世界がいかにして形成されたかを知ることである。現代のような国際社会において、西洋の歴史や文化を知ることが、国際理解を深める上で非常に重要である。</p>	
<p>【テキスト・参考書】</p> <p>テキストは用いないが、参考文献は随時指定する。また授業中に資料、プリントなども配布する。</p>	
授 業 計 画	
<p>歴史的な事件そのものを追うのではなく、その背景にある思想などによって歴史を説明する。社会・文化的側面に焦点をあて、多角的に歴史を見る目を養う。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1、古代西洋文明の形成：ギリシャとローマ時代</li> <li>2、キリスト教と神聖ローマ帝国</li> <li>3、ルネサンス時代</li> <li>4、宗教改革と反宗教改革</li> <li>5、スペインの黄昏とフランスの黄金時代</li> <li>6、商業革命と産業革命</li> <li>7、フランス革命とナポレオン戦争</li> <li>8、ウィーン会議から社会主義の誕生まで</li> <li>9、近代国民国家の形成 - アメリカ、ドイツ、イタリア -</li> <li>10、第一次世界大戦</li> <li>11、第二次世界大戦</li> <li>12、戦後：冷戦時代とヨーロッパ統合</li> <li>13、総括</li> </ol>	
<p>【評価方法】 平常点 (出席点、但し私語などで授業を妨げたら減点) と、試験の結果に応じて評価する。</p>	

【授業科目名】 東洋美術	【担当者】 山田 磯夫
【開講期】 1 年 前期	
<p>【授業目標】</p> <p>東洋といっても範囲が広く、各地域ごとに相異なる文化圏に属し、異なった美術様式をもっているため、これらを一元的に講義することは困難である。そこでこの講座では、アジアの諸地域にわたって強く影響をおよぼした仏教に焦点をあて、極東の国・日本で生み出された仏教美術、特に仏教彫刻について概観する。</p>	
<p>【テキスト・参考書】</p> <p>参考書 : 辻惟雄監修『カラー版 日本美術史』美術出版社 久野 健 『仏像の歴史』 山川出版社</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<p>日本の仏教美術は近世以前の日本美術の形成・発展において常にその母胎となってきた。この講座では、まず仏教美術理解の基本である仏像の見方について学び、次いで古代から中世に至る仏像彫刻を取り上げ、彫刻様式の流れの理解につとめる。スライド使用。</p> <p>以下のテーマに沿って進める。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①はじめに一東洋の文化圏とシルクロード</li> <li>②仏像の見方(1)</li> <li>③仏像の見方(2)</li> <li>④飛鳥時代の彫刻Ⅰ—仏教伝来と最初の仏像</li> <li>⑤飛鳥時代の彫刻Ⅱ—法隆寺の仏像と止利仏師</li> <li>⑥白鳳時代の彫刻—旧山田寺の仏頭</li> <li>⑦天平時代の彫刻Ⅰ—薬師寺の仏像</li> <li>⑧天平時代の彫刻Ⅱ—東大寺の仏像</li> <li>⑨平安時代の彫刻Ⅰ—木彫の誕生と一木造</li> <li>⑩平安時代の彫刻Ⅱ—寄木造と仏師定朝</li> <li>⑪鎌倉時代の彫刻—南都復興と慶派仏師</li> <li>⑫講義のまとめ</li> </ol>	
<p>【評価方法】</p> <p>筆記試験</p>	

【授業科目名】 演劇論

【担当者】 高橋秀雄

【開講期】 1 年 前期

【授業目標】 “人生は劇場なり”という言葉があり、また、演劇は宗教儀礼から発しているという説があるように、演劇は古くから生活の中の文化として成立し、多様な展開をみせてきた。この演劇の展開の歴史を辿り、演劇について考察を試み、とくに西洋と東洋、さらには日本との比較の中で演劇の特質を探究する。

【テキスト・参考書】

テキスト：使用しない

参考書：各種演劇関係書（その都度指示する）

### 授 業 計 画

洋の東西における演劇の特色を明らかにするとともに、演劇の構成要素である演出・演技・舞台美術・照明・音響・衣裳などの演劇の基礎的表現を分析し、さらには、西欧の諸演劇と日本の演劇と比較することによって、その多様性と特質を理解する。各テーマについては、1回または数回の講義となる。

1. 宗教儀礼と演劇
2. 悲劇と喜劇
3. 能と「花伝書」
4. リアリズム演劇とスタニスラフスキー・システム
5. 歌舞伎と「虚実皮膜論」
6. 歌舞伎と新劇
7. オペラとミュージカル
8. 比較演劇論
9. 現代と演劇

【評価方法】

1. 期末のレポート
2. 授業時の小レポート
3. 授業時の平常点

左記3項による総合評価



【授業科目名】 現代社会論	【担当者】 民秋 言																					
【開講期】 1年前期																						
<p>【授業目標】</p> <p>現代日本社会は複雑な仕組みをもって高度に発達している。この社会を考えると、いろいろなアプローチがあるが、本講では社会学的な把握を試みる。人間の社会学理解からはじめる本講は、いずれ毎日、新聞やテレビに現れるテーマをとりあげ、それらがもつ課題を「人間らしく生きる」という観点からも整理する。</p>																						
<p>【テキスト・参考書】</p> <p>講義中に適宜指示する。</p>																						
授 業 計 画																						
<table border="0"> <tr> <td style="vertical-align: top; padding-right: 20px;">1. 「人間が生きる」ということ</td> <td style="vertical-align: top;">-</td> <td>社会的存在としての人間を追求する。生物体のヒトから生活体の人間への変換点は何か。「人間らしく」生きる意味を考える。</td> </tr> <tr> <td style="vertical-align: top; padding-right: 20px;">2. 人間の行動・行為</td> <td style="vertical-align: top;">-</td> <td>人間の生活＝生きるということは、行動（行為）の連続であり、したがって行動（行為）について説明する。</td> </tr> <tr> <td style="vertical-align: top; padding-right: 20px;">3. 「人間らしく」生きることと欲求</td> <td style="vertical-align: top;">-</td> <td>われわれ人間にとって行動は欲求充足のためにとられる。しかし、欲求にはいろいろな次元からとらえられるべきであり、現代社会におけるわれわれの生き方と欲求のあり方について考える。</td> </tr> <tr> <td style="vertical-align: top; padding-right: 20px;">4. 人間を特徴づけるパーソナリティ</td> <td style="vertical-align: top;">-</td> <td>人間の行動を特徴づけるものとしてパーソナリティを位置づける。現代に生きるわれわれが、どのようにパーソナリティを形成していくか考える。</td> </tr> <tr> <td style="vertical-align: top; padding-right: 20px;">5. 行動様式としての文化</td> <td style="vertical-align: top;">-</td> <td>とくに社会規範に注目する。複雑な社会に生きるわれわれにとって文化がもつ意味を考える。</td> </tr> <tr> <td style="vertical-align: top; padding-right: 20px;">6. 集団生活のあり様</td> <td style="vertical-align: top;">-</td> <td>人間はふつう重層的にいくつかの集団に属しているものであり、その一員としての生活を送る。集団がどのように個人の生き方を規制するか、一方で個人がどのように集団をつくっていくか考える。</td> </tr> <tr> <td style="vertical-align: top; padding-right: 20px;">7. 現代日本社会の諸相</td> <td style="vertical-align: top;">-</td> <td>現代日本を特徴づける社会変動について説明する。とりわけ都市化について述べる。</td> </tr> </table>		1. 「人間が生きる」ということ	-	社会的存在としての人間を追求する。生物体のヒトから生活体の人間への変換点は何か。「人間らしく」生きる意味を考える。	2. 人間の行動・行為	-	人間の生活＝生きるということは、行動（行為）の連続であり、したがって行動（行為）について説明する。	3. 「人間らしく」生きることと欲求	-	われわれ人間にとって行動は欲求充足のためにとられる。しかし、欲求にはいろいろな次元からとらえられるべきであり、現代社会におけるわれわれの生き方と欲求のあり方について考える。	4. 人間を特徴づけるパーソナリティ	-	人間の行動を特徴づけるものとしてパーソナリティを位置づける。現代に生きるわれわれが、どのようにパーソナリティを形成していくか考える。	5. 行動様式としての文化	-	とくに社会規範に注目する。複雑な社会に生きるわれわれにとって文化がもつ意味を考える。	6. 集団生活のあり様	-	人間はふつう重層的にいくつかの集団に属しているものであり、その一員としての生活を送る。集団がどのように個人の生き方を規制するか、一方で個人がどのように集団をつくっていくか考える。	7. 現代日本社会の諸相	-	現代日本を特徴づける社会変動について説明する。とりわけ都市化について述べる。
1. 「人間が生きる」ということ	-	社会的存在としての人間を追求する。生物体のヒトから生活体の人間への変換点は何か。「人間らしく」生きる意味を考える。																				
2. 人間の行動・行為	-	人間の生活＝生きるということは、行動（行為）の連続であり、したがって行動（行為）について説明する。																				
3. 「人間らしく」生きることと欲求	-	われわれ人間にとって行動は欲求充足のためにとられる。しかし、欲求にはいろいろな次元からとらえられるべきであり、現代社会におけるわれわれの生き方と欲求のあり方について考える。																				
4. 人間を特徴づけるパーソナリティ	-	人間の行動を特徴づけるものとしてパーソナリティを位置づける。現代に生きるわれわれが、どのようにパーソナリティを形成していくか考える。																				
5. 行動様式としての文化	-	とくに社会規範に注目する。複雑な社会に生きるわれわれにとって文化がもつ意味を考える。																				
6. 集団生活のあり様	-	人間はふつう重層的にいくつかの集団に属しているものであり、その一員としての生活を送る。集団がどのように個人の生き方を規制するか、一方で個人がどのように集団をつくっていくか考える。																				
7. 現代日本社会の諸相	-	現代日本を特徴づける社会変動について説明する。とりわけ都市化について述べる。																				
<p>【評価方法】</p> <p>ペーパーテスト</p>																						

【授業科目名】 現代家族論	【担当者】 民秋 言
【開講期】 1 年 後期	
<p>【授業目標】</p> <p>人類の歴史と共に古い、といわれる家族。この家族は今日の社会において私達の生活とどうつながりをもっているか。今日、いろいろな角度から家族がテーマとされるが、本講では「福祉」の視点から考えてみる。福祉すなわち「人間としての幸せ」は家族とどうかかわっているか、が主たるテーマとなる。</p>	
<p>【テキスト・参考書】</p> <p>望月 嵩、木村 汎共編 『現代家族の福祉－家族問題への対応』 培風館</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<p>1. 人間にとって家族とは何か</p> <p>2. 家族のはたらき</p> <p>3. 家族のタイプ</p> <p>4. 家族のしくみ</p> <p>5. 家族と福祉</p> <p>6. まとめ</p>	<p>－ 家族は人類の歴史と共に古い集団といわれる。つまりわれわれ人間にとって家族は必須のものであったし、今後もそうであろう。人間が生きることの関わりで「家族」の定義をする。本講では家族を「福祉追求の集団」とする。</p> <p>－ 家族は基礎的集団といわれ、いろいろなはたらき（機能）を同時併行的にもつ。しかし今日の社会では、すべての機能が一律に求められているとは限らない。家族がもつどのような機能に注目すればよいか考える。</p> <p>－ 家族という集団を形成し、それを拠点として生活するとき、そこにはさまざまな家族のタイプが生ずる。また社会全体がもつきまりやルール（規範）によって家族のあり方も規制される。どのような家族のタイプが望ましいか、考える。</p> <p>－ 家族がもつ目標を達成するためにはそのしくみ（構造）が問題となる。役割構造と権威構造との2面から検討する。</p> <p>－ 家族は福祉追求の集団であるとするとき、そこにはいくつかの課題が生ずる。</p> <p>(1) 子どもの養育と家族福祉  (2) 母子家庭、父子家庭と家族福祉  (3) 高齢化社会における家族福祉</p> <p>－ 今後、家族を形成するものとして、望ましい家族福祉の姿を考えてみる。</p>
<p>【評価方法】</p> <p>ペーパーテストを期末に実施</p>	

【授業科目名】 日本国憲法

【担当者】 駒村圭吾

【開講期】 1 年 後期

【授業目標】

日本国憲法における統治機構(国のしくみ)と人権(自由や平等)について講義する。日常的事例を用いて平易に語るつもりである。また、判例・学説の紹介もさることながら、憲法感覚のようなものも伝えたい。

【テキスト・参考書】

板書を行うので、テキストは特に指定しない。

ただし、何でもよいので六法全書も携行してもらいたい。

授 業 計 画

日本国憲法の内容は、多岐にわたるが、その中から重要かつ日常的なものを選び挙げ、ときには毎回「読み切り」的に講義したい。今のところ、以下の項目も語るつもりである。

- (1) 憲法の基本原理・基本構造
- (2) 人権の主体(外国人, 天皇, 未成年者, 公務員, 在監者)
- (3) 表現の自由, 信教の自由, 政教分離
- (4) 生存権, 教育を受ける権利
- (5) 平等, 幸福追求権, 新しい人権
- (6) 天皇, 国防(9条)
- (7) 統治のしくみ(政治のしくみと裁判所)
- (8) フェミニズムと女性の権利
- (9) 死と生の自己決定(安楽死, 中絶, 死刑)

\* なお、担当者は、教室管理に厳格であるので、この点注意されたい。私語が厳禁なのは当然のこととして、その他受講態度が不良の者は、たとえ初犯であっても、その場で単位の不授与を決定し、一切の抗弁を認めないことがあります。

\* 事例を用いて、分かりやすく語るつもりである。予習は特に必要ではないが、毎回出席して克明にノートを取り、復習する努力はしてほしい。

【評価方法】

毎月末試験による評価 (場合によっては出席実績も勘案する。)

【授業科目名】 市民生活と法	【担当者】 武藤健一
【開講期】 1 年 後期	
【授業目標】 2年後（あるいは1年後）、女性である皆さんが実際に社会に出ていって みて遭遇すると思われる事柄・問題について、法律という観点も加えて、自分 の今後（・大げさにいえば人生）を考えるきっかけをつくること。	
【テキスト・参考書】 教科書を使うかどうかは未定ですが、参考書として、 角田由紀子 著「性の法律学」（91年 有斐閣）、副田 隆重 他著 「ライフステージと法」（96年 有斐閣）の2冊をあげておきます。	
授 業 計 画	
<p>日本では女性がどのような存在としてあるのかということ、</p> <p>1° 恋愛・消費生活、2° 就職・労働、3° 結婚・離婚・家族、4° 老後・介護、と いう柱を立てて、社会学的に、法律学的に考察していくつもりです。</p> <p>また、授業数が10回未満というような事態になるとなかなか難しいのです が、それでも皆さんに直接関係のある事柄を扱う講義なので、更には皆さんが どのように考えているのかをこちらとしても知っておきたいので、様々な資 料を使いながら、かつディスカッション等もしながら授業を進めていきたい と考えています。その方が、受講している同年代の他の人たちがどう考えてい るかを知ることができるので、皆さんのためにもなると思います。</p>	
【評価方法】 学年末に試験を行ない（おそらくレポート）、授業での出席点（・参加点） を加味して評価をしたいと思います。	

【授業科目名】 政治学入門

【担当者】 加地直紀

【開講期】 1 年 前期

【授業目標】 政治とは権力闘争であることを、国内外の政治の実例をとおして理解する。

【テキスト・参考書】

中村勝範編著『運命共同体としての日本と台湾』(展転社、平成9年7月)

授 業 計 画

- I 多面的な観点、  
核兵器、戦争、汚職=悪、反戦平和、クリーン政治=善といえるのか
- II 巧利主義という尺度  
善悪ではなく、損得という尺度もある。
- III 政治の定義  
政治：欲望の調整、権力闘争  
市民運動という名の権力闘争もある。
- IV 日本政治における権力闘争
- V 国際政治における権力闘争  
東アジア情勢を中心に

※ 受講中の私語・飲食は厳禁である(違反者は退室すること)

【評価方法】 ① 平常点、(出席はとりません。適時、小テストを行うことがあります)

② レポート

【授業科目名】 生活の経済学	【担当者】 内山哲朗
【開講期】 1年 前期	
<p>【授業目標】</p> <p>現代日本経済を「生活の豊かさ」の視点より取り上げ、「経済の豊かさ」と「生活の豊かさ」の関連構造を検証しながら、「経済と生活」をつなぐ基本的論理について講義を進めていく。戦後日本経済の歩みとその問題点に目を配る中から、21世紀に向かう「日本の生活像」に関する基礎知識の修得をめざす。</p>	
<p>【テキスト・参考書】</p> <p>特に指定しない。講義の中で適宜参考文献を紹介する。</p>	
<b>授 業 計 画</b>	
<p>講義で取り上げるテーマは、以下の通りである。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 生活把握の基本視点——労働・家族・地域——</li> <li>2 戦後日本経済の展開過程——時期区分——</li> <li>3 戦後日本の生活の変容</li> <li>4 「豊かさ」とは何か——生活経済学の論理——</li> <li>5 「生活の豊かさ」と高齢社会</li> <li>6 「生活の豊かさ」と環境問題</li> <li>7 生活福祉の社会経済学——非営利・協同の経済セクター——</li> <li>8 生活福祉と社会政策</li> </ol>	
<p>【評価方法】</p> <p>授業への出席と定期試験を総合的に勘案して評価する。</p>	

【授業科目名】 心理学入門	【担当者】 林 深
【開講期】 1年後期	
<b>【授業目標】</b> 心理学の基本的なテーマについて紹介します。 すなわち、性格論，対人関係が，中心てきなテーマになります。	
<b>【テキスト・参考書】</b> テキスト：なし 図書館にある指定図書を使います。割り当てられた週に利用して下さい。 重野純「キーワードコレクション心理学」，金子隆芳「心理学フロンテア」， 大山正「心理学への招待」，北尾倫彦「心理学への招待」， 岡本栄一「心理学ティータイム」，藤本忠明「ワークショップ心理学」他	
<b>授 業 計 画</b>	
<ol style="list-style-type: none"> <li>1.心理学のなりたち： 心理学のながれについて</li> <li>2.ものの見方と人間の行動について： 行動と知覚，認知との関係を考える。</li> <li>3.人間の行動と条件づけ： 行動論について</li> <li>4.幼児期と性格形成 VTRを利用します。</li> <li>5.意識と無意識：精神分析の人間理解(1)： Freudの思想，精神分析概説</li> <li>6 同 (2)： libidoの役割とlibidoの発達</li> <li>7 同 (3)： 自我の防衛</li> <li>8 同 (4)： 物語と夢の分析</li> <li>9 性格について(1) 基本的な性格論</li> <li>10 性格について(2) 性格理解の試み</li> <li>11.社会・集団と人間行動 集団とリーダーの役割について</li> <li>12.パニックの心理 VTR利用</li> <li>13.心理療法の役割</li> </ol>	
<b>【評価方法】</b> 平常点，中間試験，レポート	

【授業科目名】 マスコミュニケーション概論	【担当者】 瀬木博道
-----------------------	------------

【開講期】 1 年 前期
--------------

【授業目標】 現代はマスコミに支配された時代といえる。この状況を是正するため、マスコミとジャーナリズムの本質と差違を考え、マスコミ全般の問題に踏み込んでみたい。「知る権利の問題」に重点を置く。

【テキスト・参考書】 瀬木博道ほか著「コミュニケーションするPR」電通  
 テキスト： 瀬木博道ほか著「広報の基礎Ⅰ」日経広告研究所  
 参考書 同上「広報の基礎Ⅰ」日経広告研究所

授 業 計 画

- マスコミとは何か 現状 (上)
- 同 上 (下)
- ジャーナリズムとは
- 言論の自由と知る権利 (上)
- 同 上 (下)
- テレビの問題点
- 広告概論 (上)
- 同 上 (下)
- 広報概論 (上)
- 同 上 (下)
- マスコミのゆく — 新聞を中心に

【評価方法】 受講態度 } と見て、筆記試験で決める  
 出席状況 }



【授業科目】 自然科学史	【担当者】 柳下登
【開講期】 1年 後期	
<p>【授業目標】 自然科学を学ぶことは、色々な公式、記号、概念等を覚えることだと思いき、それが理科嫌いの原因になっている。科学は暗記のためのものではない。人間は自然を理解する（科学する）ことで自己を変革し、より人間らしくなった。科学することは真善美を追求する文化系の諸活動と同根である。科学の歴史は人間の歴史である。ここでは科学を語るためではなく、発想を逆転し、人間を語るために科学の足跡を追うことにした。</p>	
【テキスト・参考書】	
<p>テキスト：自然科学入門：甲斐義幸、二宮勘輔（予定） 参考書：科学思想のあゆみ（Ch. サンガー）岩波書店、物理学とは何だろうか（朝永振一郎）岩波新書、科学の考え方・学び方（池内 了）岩波ジュニア新書 他</p>	
授 業 計 画	
1) 科学を成立させた人間の条件	
<p>a. 森の生活者サル類がヒトをつくる b. 「木から落ちたサル」のサルばなれへの道 c. 四本足から二本足へ d. 道具が人間をつくる e. 脳とその入れ物（頭）の変化 f. 生きること（生活）が自然についての理解を深める g. 道具で道具をつくる h. 採集から狩人へ i. 定住と栽培、牧畜の誕生 j. 技術が先か科学が先か</p>	
2) 科学の芽生え	
<p>a. ナイル川のもたらしたもの：暦、幾何学 b. ピラミッドのもたらしたもの：数学 c. ギリシアの自然学：自然の根源を求めて（タレスの「アルケー」、デモクリトスの「アトム」、アリストテレスの「四元素説」）</p>	
3) 近代科学の成立	
自然学の克服：観察、実験、数学的推論	
<p>a. コペルニクスによる天動説の否定 b. ガリレイによるアリストテレスの運動通説の否定 c. ニュートンによる地上の法則の天界への導入</p>	
4) 近代科学2話	
<p>a. 星の一生と原子核反応：宇宙は膨張する b. バイオテクノロジー：遺伝子組換え食品、クローンと生命倫理</p>	
5) まとめ：a. 今日の自然像 b. わたしの研究史：ピートン物語	
実 験：火をおこしてみよう。かまぼこの板と アジサイの枝（2×20cm）乾かしておく。	
【評価方法】 定期試験にかわる課題レポート。その他、自発的なテーマ設定の提出物を評価に加える。	

【授業科目】 生命の科学	【担当者】 小作明則
【開講期】 一年 後期	
<p>【授業目標】</p> <p>21世紀を迎えようとしている今日「生物の多様性」の維持は地球上の生物環境をより安全な状態で維持していくための大きな課題である。この生物の多様性を支えている「生命」について地球物理学、化学、進化生物学そして歴史学的な理解を深め、さらに地上における「人類」が抱える今後の諸問題について概説する。</p>	
<p>【テキスト・参考書】</p> <p>テキスト・参考書は特に指定しない。</p>	
授 業 計 画	
<p>この講義では授業目標に掲げた内容を理解するためおおよそ以下の各時間ごとのテーマに従って講義を進めていく。この講義は講義室での説明・板書だけが目的ではなく、できるかぎり実物を自分の眼で見、手でさわりバーチャルではなく五感を持って理解することを目的としたい。以下に時間ごとのおおよその講義計画のタイトルを示す。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 太陽系と地球の誕生、物質の由来</li> <li>2. 地球と水と生命誕生</li> <li>3. 地球型生物の特徴と進化</li> <li>4. 分子生物学と進化</li> <li>5. 植物と動物の分化と進化</li> <li>6. ヒトの進化と地球環境の変化</li> <li>7. 動物の発生とヒトの生殖</li> <li>8. ヒトの発生と成長</li> </ol> <p>以上を講義として行い、これ以外に博物館、水族館、動物園等さらに玉川上水の散歩等、実物を見ながら生命について考えていこうと思っている。</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>レポートあるいは筆記試験</p>	

【授業科目名】 生物と環境

【担当者】 吉川研二

【開講期】 1 年 前期

【授業目標】

下記の書を読破し、知的体力を養う  
合成化学物質の環境汚染と生命とのかかわり  
科学とは何か

【テキスト・参考書】

OUR STOLEN FUTURE  
邦訳『奪われし未来』 1997.9 翔泳社

### 授 業 計 画

人類は多くの生物たちから様々な恩恵を受けてきた。しかしこの多様な生物の世界は急激に失われつつある。その最大の原因は人類による生物の生息環境の汚染や破壊、資源の乱獲などである。多くの種の消滅は私たち人類の将来にかかわってくる。

“Today Birds Tomorrow Men”

今から30年以上前に、海洋生物学者のRachel L. Carsonは『Silent spring』で合成殺虫剤が自然界にもたらす危険性について警告した。その警告によって人類はどれだけ賢くなったのだろうか？知らないことが幸せなのか、知ることが不幸せなのか。

授業は決して易しくはありません。幅広い基礎教養が要求されるはずです。今までの勉強がどれだけのものであったかが判ると思います。知る努力を惜しまず、共に考え続けていきたい。

- |      |                   |
|------|-------------------|
| 第 1章 | 前兆                |
| 2章   | 有毒の遺産             |
| 3章   | 化学の使者             |
| 4章   | ホルモン異常            |
| 5章   | 子孫を絶やす50の方法       |
| 6章   | 地の果てまで            |
| 7章   | シングルヒット           |
| 8章   | ここにも、そこにも、いたるところに |
| 9章   | 死の年代記             |
| 10章  | 運命の転機             |
| 11章  | がんだけでなく           |
| 12章  | わが身を守るために         |
| 13章  | 不透明な未来            |

【評価方法】

平常点+筆記試験

【授業科目名】 生活の科学	【担当者】 滝沢靖臣
【開講期】 1 年 前期	
<p>【授業目標】 現代における私たちの生活の進展は大きく、衣食住並びに医薬品からコンピュータまで様々な物質に取り囲まれている。これらの物質を構成している分子や原子の世界に目を向けて、それらの特性を学ぶことにより、身近に起こっている科学的な現象を少しでもより正しく理解できるようになることを本講義の主眼としている。</p>	
<p>【テキスト・参考書】  授業の中で項目ごとに紹介する。</p>	
授 業 計 画	
<p>物質の成り立ちを理解してから、それらの物質を通して私たちの身の回りの科学的現象が理解できるようにする。特に基礎知識がなくても理解できるように平易に解説する。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 生活の中の物質科学を考えてみよう。</li> <li>2. 身の回りにある水分子の世界を覗く。</li> <li>3. 原子と分子と私たちの生活。</li> <li>4. 原子はどのような構造をもっているのだろうか。</li> <li>5. 物質をつくっている分子の構造は何によってきまるのだろうか。</li> <li>6. 物質の状態は何によってきまるのだろうか。</li> <li>7. 金属と超伝導とはどのような関係にあるのだろうか。</li> <li>8. 酢は何故酸っぱく感じるのだろうか。</li> <li>9. アルコールの正体は何であろうか。</li> <li>10. 日焼けと日焼け止めと光化学反応。</li> <li>11. 老化は防げるか。活性酸素の科学。</li> <li>12. 物質科学とエネルギー</li> <li>13. 物質科学からみた衣類。高分子化学の世界をみる。</li> <li>14. 石油資源と石油化学を考える。</li> <li>15. 科学は地球を救えるか。</li> </ol>	
<p>【評価方法】 試験、レポート、出欠により評価する。</p>	

【授業科目名】 健康の生理学	【担当者】 明渡陽子
【開講期】 1 年 後期	
<p>【授業目標】 1. 健康の概念と健康管理活動の原理の理解</p> <p>2. 人体各器官独自の生理機能と臓器間の相互関係の理解 人体各器官の生理的な加齢変化と疾病と相違の理解を通して、健やかな老いについて考える</p> <p>3. 代表的疾患の成因を理解し、疾病予防や健康増進に必要な基本的知識の修得</p>	
【テキスト・参考書】	
授 業 計 画	
<p>1. 1) 健康の定義と健康観、2) 健康度の指標、3) 健康の推移、4) 健康管理の概念、5) 保健計画と健康教育、6) ヘルスプロモ-ション、7) 地域健康管理活動</p> <p>2. 人体各器官独自の生理機能の理解と共に、各器官の生理的な加齢変化を細胞レベルおよび器官レベルで理解する。</p> <p>1) 循環器系</p> <p>2) 呼吸器系</p> <p>3) 消化器系</p> <p>4) 脳／神経系</p> <p>5) 骨／筋肉系</p> <p>6) 血液系、内分泌系</p> <p>7) 泌尿／生殖器系</p> <p>8) 耳鼻／口腔／皮膚系</p> <p>3. (I) 代表的疾患の概要</p> <p>1) 生活習慣病（悪性新生物、動脈硬化、高血圧、心臓病、脳卒中、糖尿病等）</p> <p>2) 脳、神経疾患（老年期痴呆を含む脳血管障害）</p> <p>3) 各種感染症（HIVウイルスも含む）</p> <p>4) 精神疾患</p> <p>5) 骨粗鬆症などの骨／運動器系疾患</p> <p>6) その他（各診療科目の対象となる疾病、障害についての概要等）</p> <p>(II) 健康増進および疾病予防法</p> <p>1) 食生活と栄養</p> <p>2) 運動</p> <p>3) 喫煙</p> <p>4) アルコール</p> <p>5) 休養とストレス</p>	
【評価方法】 筆記試験	

【授業科目名】 宇宙と地球	【担当者】 杉村新
【開講期】 1 年 前期	
<p>【授業目標】</p> <p>皆さん知りたがり屋になってください。自然を知るのは、人生の基本です。そして、成るほどなあと思うようになってください。それは自然を理解していく一步一步なのです。皆さんがそういう一步一步を感じる事ができれば、担当者の幸せであり目標でもあります。</p>	
<p>【テキスト・参考書】</p> <p>テキスト：「新訂地学図解」（第一学習社）  参考書：（指定図書）「図解地学IA」（第一学習社）</p>	
授 業 計 画	
<p>最初の時間にアンケートをします。そのためにテキストが必要です。このアンケートの結果に基づいて、担当者の側で授業内容を“選択”します。第2回目の時間以後もテキストは必ず持ってくること。  講義中のおしゃべり厳禁。  毎回スライドを映しながら講義します。  授業は必ずしもテキストの順序（下記）通りではありません。順序未定。  テキストの内容：  地球の構造と働き，地震，火成岩と火山，地表の変化，地殻の変動，プレートの運動，古生物，資源・環境，大気の動き，海，太陽系，地球の運動，恒星と銀河。  こんなに沢山はできませんから“選択”するのです。</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>持ち込み不可の試験で成績をつけます。自然科学は暗記物ではないから、テキストのまる暗記はダメ。内容の理解の程度を判断して採点します。</p>	

【授業科目名】 総合科目人間	【担当者】 黒田 瑛
【開講期】 1 年 前期	
<p>【授業目標】</p> <p>本科目は前期、後期を通して開講され、副題を「人権と平和」とする。前期は人権についての理解を深め、「ヒューマニズム」とは何かを問う。</p>	
<p>【テキスト・参考書】</p> <p>テキスト 特になし。 参考書 講義のなかで随時紹介する。</p>	
授 業 計 画	
<p>今、なぜヒューマニズムを問うのかを説くなかで、現代社会の特徴と諸問題を明らかにする。人間が人間として生き、人格として育つための条件となるのが、基本的人権の主張とその保障である。人権とは何かを論じ、人権の思想の歴史的発展と現代の状況を考える。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. ヒューマニズムの意義</li> <li>2. 人間を考える</li> <li>3. 人権の承認と保障       <ol style="list-style-type: none"> <li>①人権の主張と保障の歴史 自然法思想（J. ロック）、アメリカの独立宣言、フランスの人権宣言 世界人権宣言（国際連合）、日本国憲法</li> <li>②基本的人権の種類 自由権的基本権と社会権的基本権</li> <li>③教育・福祉と人権の保障</li> </ol> </li> <li>4. 人権思想の発展と現代の課題       <ol style="list-style-type: none"> <li>①権利保障の充実を求めて 女性の権利、子どもの権利</li> <li>②新しい人権の主張 プライバシーの権利、知る権利、環境権</li> <li>③新しい倫理と法 環境倫理学、生命倫理学</li> </ol> </li> </ol>	
<p>【評価方法】</p> <p>レポートの提出および授業への出席</p>	

【授業科目名】 総合科目人間

【担当者】 伊香俊哉

【開講期】 1 年 後期

【授業目標】

近現代の世界各地におけるいくつかの戦争をとりあげ、戦争とは何か、戦争は人々に何をもたらすのかといったことを考えることを通じて、平和とは、平和を生みだし、維持するための条件は何かとの間に接近したい。

【テキスト・参考書】

テキスト：特になし

参考文献：多数あるので、講義の中で逐次紹介する

授 業 計 画

授業ではまず戦争に興味をもってもらうことから始める。そのため戦争を題材としたドキュメンタリーや映画などを観てもらおう。その上で、その戦争がどのような歴史的な経緯で起こったのか、民衆にどのような規模の被害をもたらしたのかといったことを解説していきたい。

授業では次のテーマを取り上げる予定である。

- ◇ベトナム戦争
- ◇中東紛争
- ◇ボスニア紛争
- ◇湾岸戦争
- ◇ルワンダ紛争
- ◇ABC兵器

【評価方法】

出席とレポート又は筆記試験により総合的に評価する。



【授業科目名】 総合英語 I - 1、2 (教養科)	【担当者】 長尾主税
【開講期】 1 年 前期 ・ 後期	
<p>【授業目標】</p> <p>リスニングとリーディングを中心に、基本的な英語運用能力の養成を目標とする。</p>	
<p>【テキスト・参考書】</p> <p>開講時に指示する。</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<p>日本語の発音とは決定的に異なる英語の基本的な発音、強勢、抑揚についての知識を習得した後、リズムと速度に留意して日常的な会話を聴きとる訓練を行う。また、ビデオを使用して、映画のシークエンスにおける会話の成立について学ぶ。いずれの方法においても、徹底した反復が重要視される。よく用いられるフレーズは暗唱することになる。</p> <p>平易な英文を読み、語彙をふやし、基本的な文法事項を修得することが、英語学習の妨げにならないことは言うまでもない。英語のロジックの展開の仕方を学び、少し努力すれば読める短い文章を利用し、理解できたという達成感を積み重ねてゆく。</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>期末に行うテストの結果に、出席等の平常点を加えて評価する。</p>	

【授業科目名】 総合英語 I - 1, 2 (教養科)

【担当者】 藤田久美子

【開講期】 1 年 前期・後期

【授業目標】

今まで培ってきたはずの英語の基礎的な能力を再確認し、主にリスニングとリーディングの能力強化を中心に、4技能を少しでも高めるようにしたい。

【テキスト・参考書】

① リスニング用教材 … 未定。(開講時に指示あり)

② Mini-World '98 (Special Textbook Edition)  
(Macmillan Languagehouse)

授 業 計 画

- 。多分訳読中心であったであろう高校の時の英語とは少し異なり、オーラルな面での能力の獲得を積極的に行いたいと思っている。前者、基本的な文法事項、よく用いられる日常表現等を確認しながら、リスニングについても、リーディングについても、内容を正しく理解し、質問に答えていけるようにしたい。
- 。授業は演習形式であるので、毎回必ず出席し、熱心にタスクに取り組んでもらいたい。

【評価方法】 出席状況、毎回の演習問題の結果、授業時出席(積極性)を総合的に考えて、評価基準とする。

【授業科目名】 総合英語 I-1、2	【担当者】松本由美
【開講期】 1 年 前期・後期	
<p>【授業目標】</p> <p>英語学習においては、input (listeningとreadingの学習量)を増やせば、その結果としてoutput (speakingとwritingの力)も増してきます。そこで、この授業では、inputを増やしてゆくための基礎力をつけることを目標にします。</p>	
<p>【テキスト・参考書】</p> <p>開講時に指示します。</p>	
授 業 計 画	
<p>授業時間内の演習を中心とした授業。詳しい進め方については、開講時に指示する。</p>	
<p>【評価方法】小テスト、期末テスト、及び出席と授業参加を総合的に評価する。</p>	

【授業科目名】 総合英語 I - 1, 2 (教養科)	【担当者】 照沼かほる
【開講期】 1 年 前期・後期	
<b>【授業目標】</b> 1) 英語を読むこと／聴くことに慣れる 2) 英語の基本的技能を向上させる	
<b>【テキスト・参考書】</b> <i>More Two-Minute Mysteries</i> (MACMILLAN LANGUAGE HOUSE) <i>Your Ear for English</i> <大学生の基礎リスニングテスト> (金屋堂)	
<b>授 業 計 画</b>	
<p>「英語力」は、英語に継続的に接していないと衰えてしまうものです。これまで各参加者が培ってきた「英語力」を維持し、さらにそれを向上させることが、この授業の目標の1つです。英語の学習を続けてゆくには、各参加者が英語に対してある程度の興味をもつことが必要です。英語を学び、それを媒体として使うことで、(英語以外の) 各自の趣味や関心事への理解がより広く深くなりうることをまず知ってもらい、英語を読んだり聴いたりすることへの抵抗を少しでもなくすことが、この授業のもう1つの目標です。</p> <p>▲教材について▼ 主に指定のテキスト(リスニングとリーディングの教材1冊ずつ)を用いますが、授業の進み具合と参加者の興味/関心を考慮して、プリント/テープ/ビデオ教材を加えていく予定です。また後期は、前期修了時に参加者の希望を聞いて、教材変更の有無を決めたいと思います。</p> <p>▼進め方について▲ 最初の約30分は、リスニングのテキストとテープを用いてリスニング練習を行います。毎回リスニングテストの答えは提出してもらい、次回の授業の最初にその返却・解説・復習を行います。次の約1時間は、リーディングのテキストとテープを用いて、英文の内容把握とその確認のための練習問題を行います。各セクションの英文は短いものなので、毎回1つずつ読み終えていくことを予定しています。</p> <p>▲予習/復習について▼ リーディングのテキストには、予習として文章に目を通すこと、復習として練習問題を解くこと(宿題の場合)が必要となります。また、リスニング/リーディングともに授業で扱った部分が期末テストの範囲となるので、リスニングの場合には授業中の復習の時間に誤った問いの確認をしっかり行い、リーディングの場合は、授業後テキストの文章を読み直して内容を確認し(わからないところはテスト前に質問できるようにし)ておくことを勧めます。</p>	
<b>【評価方法】</b> 出席点・平常点(授業態度/リスニングテスト/QUIZ/提出物など)・期末テストの成績の合計	

【授業科目名】 選択語学Ⅰ－1,2 (オーラル)	【担当者】 スリソ, W, ロレンス
【開講期】 1 年 前期 ・ 後期	
<p>【授業目標】</p> <p>このクラスでは、学生がすでに習った文法、言葉の知識を土台にして会話が進められるように指導していく。</p>	
<p>【テキスト・参考書】</p> <p style="text-align: center;">ありません</p>	
授 業 計 画	
<p>いろいろな分野で使われる言葉の練習もする。このクラスでは英語を使ってのコミュニケーションに重点をおき、文法にはそれほど力点を置かない。話したり、聞いたりする力を身に付けさせるために、対話の練習、スキット作り、テープの聞き取りをする。</p> <p>以下のような項目にそって進める。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. friendly greetings</li> <li>2. making choices</li> <li>3. misplacing and looking for things</li> <li>4. using things</li> <li>5. talking about accidents</li> </ol>	
<p>【評価方法】 成績の基準はクラスでとれだけ積極的に参加するか、中間と期末試験（ドラマ作り）を元に付ける。</p>	

【授業科目名】 選択語学Ⅰ-1、2 (オーラル)	【担当者】 森田眞澄
【開講期】 1 年 前期・後期	
<p>【授業目標】</p> <p>英語のリスニング能力及び話す能力を中心に向上させる。</p>	
<p>【テキスト・参考書】</p> <p>(予定) First Time Abroad---初めての海外旅行---</p> <p>成美堂 (1,800円)</p>	
授 業 計 画	
<p>テキストと共にビデオを併用し、英語圏への旅行に必要な基本的会話を習得する。</p> <p>必ず予習をしてから、授業に出席する事。</p> <p>前期、後期共に、3分の2以上授業に出席しないと、単位取得はできない。</p> <p>原則として、毎週授業中に小テストを行なう。</p>	
<p>【評価方法】 毎週行なう小テスト---80%</p> <p>授業への参加度----20% 以上の2点で評価。</p>	

【授業科目名】 選択語学 I - 1,2 (オーラル)	【担当者】 清野茂子
【開講期】 1 年 前期・後期	
<p>【授業目標】</p> <p>「読む」「書く」「聞く」「話す」の4技能の中の「聞く」「話す」力を特に中心にして、基本的英語運用能力の養成を目標とします。</p>	
<p>【テキスト・参考書】</p> <p>Your Ear for English--Brush Up Your Listening Ability-- Kinseido; ¥950</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<p>毎時間の作業を重視しますので、必ず出席すること。 また、具体的な日常レベルの会話の練習も入れる予定。</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>出席日数、平常の小テスト、および期末テストを総合して評価する。</p>	

【授業科目名】 選択語学Ⅰ-1、2 (リーディング)	【担当者】 中島好伸
【開講期】 1 年 前期・後期	
<p>【授業目標】</p> <p>アメリカの短編小説を使って、英文を正確に読む力を身につける。</p>	
<p>【テキスト・参考書】</p> <p>未定</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<p>英語が読めないと思っている人、「読めない」のではなく「読もうとしていないだけ」であることに目覚めよう。文学作品は、古今東西、同じ人間についての有り様を書いているのであるから多少の読む技術を身につけることで、あとは想像力と文脈によりある程度の内容理解は出来るはずである。この精神に立って、アメリカの短編小説を数多く読んで楽しもう。</p> <p>読む技術については、毎時間プリントを配布して、読むために必要な文法事項等は確認していく。あとは、レポーター（一人20行程度ずつ分担）に報告してもらいながら、内容の細かい把握につとめる。</p> <p>どれくらい読めているかは、各自で再度授業部分を読んでもらい、次の時間に、内容を10行程度にまとめてもらう。自分が分かっていない箇所などもこの時書いてもらって良い。</p> <p>単位が問題なのではない。英語が読めるようになるかが問題なのである。従って、主体的な参加が重要であり、「分かりません」「やってません」は許されません。</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>内容のまとめと前期、後期それぞれ一回のレポート</p>	



【授業科目名】 選択語学Ⅰ－1,2 (リーディング)	【担当者】 磯山滯一
【開講期】 1 年 前期・後期	
<p>【授業目標】</p> <p>アメリカ、イギリスなどのすぐれた文学作品をよむことで、英文を読む力をのばし、英文を読む楽しさを体得する。読みとった内容が人生を考える糧となるようにしたい。</p>	
<p>【テキスト・参考書】</p> <p>テキストは配布するプリントで</p>	
授 業 計 画	
<p>前期</p> <p>Damon and Pythias / No Safe Was Safe(O. Henry) / The happy Prince / Anne of Green Gables(一部) / Mary Poppins(一部)</p> <p>後期</p> <p>Human Comedy(一部) / Little Women(一部) / Told by the Schoolmaster (J. Galsworthy)</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>テスト、小レポート、出席状況などを総合して評価</p>	

【授業科目名】 選択語学Ⅰ-1,2 (リーディング)	【担当者】 北澤恵美子
【開講期】 1 年 前期・後期	
<p>【授業目標】</p> <p>英語の文章をより早くより正確に読めるようになることを目標とする。</p>	
<p>【テキスト・参考書】</p> <p><i>You Just Don't Understand: Women and Men in Conversation</i> Deborah Tannen (Eihosha)</p>	
授 業 計 画	
<p>Deborah Tannenというアメリカの言語学者が書いた<i>You Just Don't Understand</i>という本からの抜粋をテキストとする。内容は数多くの「会話分析」の結果から判断して、男女間の衝突やすれ違いはそれぞれの会話スタイルの違いによるところが大きいという主旨のものである。</p> <p>授業は演習形式で行い、まずあるまとまった内容を持った段落を速読しておおざっぱな要旨をつかみ、それから単語や文法を確認しながら精読をする。</p> <p>各自必ず辞書を持参すること。</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>出席・平常点・期末テストすべてを考慮に入れて評価する。</p>	

【授業科目名】 選択語学 I - 1,2(リーディング)	【担当者】 清野茂子
【開講期】 1 年 前期・後期	
<p>【授業目標】</p> <p>我々が、現在直面し、挑戦を受けている様々の話題を英文で読み、それに対する自分自身の考えを、確認していく力を身につける。</p>	
<p>【テキスト・参考書】</p> <p>Science in Nature and Health                      Asahi Press; ¥ 1600</p>	
授 業 計 画	
<p>20 unit からなる話題を、一年間通して読みます。授業を受ける前に本文は必ず読んで来ること。      また、ヒアリングの練習も少し入れる予定。</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>出席日数、平常の小テスト、および期末テストを総合して評価する。</p>	

【授業科目名】 選択語学Ⅰ－1,2 独語 (A)	【担当者】 田中安行
【開講期】 1 年 前期 ・ 後期	
<b>【授業目標】</b> 1. ドイツ語の基礎を学ぶ。簡単な会話と文法、表現の仕方などの基礎を得させる。 2. 現代のドイツの人々の生活や風物に触れ、ドイツ語とドイツへの親しみを増すようにする。 3. ドイツの歴史や文化と社会に対する正しい知識と理解を通して国際的教養を身につける。	
<b>【テキスト・参考書】</b> 田中安行他著「ドイツへ行こう」三修社、1998年 ドイツ語辞典については開講時に説明する。	
<b>授 業 計 画</b>	
1. 音声訓練—ビデオ教材やテープを利用して、ドイツ語の音声に慣れ、理解できるような訓練を行う。 2. 音声表現—教材の重要表現を習得して、音声での自己表現もできるように学習する。 3. ドイツ語による会話—会話を学びながらドイツ人の生活や考え方などドイツ文化を理解する。 4. ドイツ語の文構造理解—ドイツ語会話の文を元にしてドイツ語の文構造と文法を理解する。 5. 文化理解—ドイツの文化に関する資料からドイツの歴史や現状に対して正しい知識と理解を得る。 6. 文章理解—辞書の使い方を学びながら、やさしいドイツ語の物語を使って、文構造を理解しながらさまざまなドイツ語の文に慣れていくようにする。  <b>[授業方法]</b> 1. 毎時間前半は簡単なドイツ語会話や詩や歌を覚えて、ドイツ語で話し聞くことに慣れていく。 2. ドイツ語会話の内容は日常会話を中心にして、やさしい表現を通してドイツ人の生活や考え方などドイツ文化を理解する。 3. 会話文の練習問題を行って、その文を分析してドイツ語の文構造のルールを発見する。文法を受け身でなく、自分から積極的に発見して身につけて使えるようなものにする。 4. ドイツの地理、歴史、文学、音楽などの資料（ビデオ・スライド・写真など）を使って自分たちでさまざまなものを発見出来るような学習活動をして、ドイツの歴史や現状に対して正しい知識と理解を得る。 5. ビデオやインターネットなどのメディアを通して、現代のドイツの人々の生活や風物に触れ、ドイツ語をより身近に感じられるようにする。 6. 小グループを作っていつもそれを中心にして、ドイツ語の発音練習や会話、その他の学習活動を進め、全体がなごやかな雰囲気ですたした学習ができるようにする。	
<b>【評価方法】</b> ふだんの学習状況などの平常点とレポートおよび会話および筆記試験で行う。	

【授業科目名】 選択語学Ⅰ－1,2独語(B)	【担当者】 川口眞理
【開講期】 1 年 前期・後期	
<p>【授業目標】ある言語を理解するにはその言語の仕組みを知ることが大切です。</p> <p>本講では簡単なドイツ語を話したり書いたりする際に必要となる文法を理解し身につけることを目指します。</p>	
<p>【テキスト・参考書】</p> <p style="text-align: center;">田中安行他著「ドイツへ行こう」 三修社 1994年</p>	
授 業 計 画	
<p>テキストとプリント（随時配布）とを用い、</p> <p>「仕組みを理解しよう」「慣れよう」「使いこなそう」「確認しよう」の4ステップの練習を通じて文法を身につけていく予定です。</p> <p>対話練習や作文練習を通して楽しみながら文法の知識や語彙を少しずつ増やしていきましょう。</p>	
<p>【評価方法】 平常点および筆記試験</p>	

【授業科目名】 選択語学Ⅰ－1、2仏語（A）（B）	【担当者】 村山知恵
【開講期】 1 年 前期・後期	
<p>【授業目標】</p> <p>英語以外の外国語を学ぶことは、他の世界の人々の生活、文化、歴史などを知るとてもよい機会となります。さまざまな人々の考え方をすることはとても楽しいことです。文法は難しいけど、少しでもフランスのことが分かるとうれしいですね。また4年制大学に編入したいときには役に立ちます。</p>	
<p>【テキスト・参考書】</p> <p>” <i>Bienvenu en France</i> ” : ビデオ教材  「フランス語ポイント文法」 : 文法教材</p>	
授 業 計 画	
<ol style="list-style-type: none"> <li>1 毎週前半は文法の教材を用い、英語と同じアルファベットを使うのに英語とはかなり違う発音、文法を中心に学びます。（A）</li> <li>2 毎週後半の授業では、ビデオ教材を使い、実際のフランス語を耳で聞き、フランスの生活や文化を目で見て楽しみながらフランス語を習得します。（B）</li> </ol>	
<p>【評価方法】</p> <p>試験による評価</p>	

【授業科目名】 選択語学 I-1 海外語学研修	【担当者】 中島好伸
【開講期】 1年 前期の事前指導、8月にLeeds Metropolitan Universityにおいて英語研修	
<b>【授業目標】</b> イングランド中部のLeeds市でホームステイして、英国の家庭生活を経験しながら、上記大学において3週間の英語研修を行う。この経験を通して、英国の文化と生活に必要な英語力を身につける。	
<b>【テキスト・参考書】</b> 未定（開講時に指示）	
<b>授 業 計 画</b>	
<p>1. 事前指導（出発までに5回行う）では：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>a) イギリスの文化・生活に関する基本的な表現を学ぶ。</li> <li>b) 生活、習慣についての予備知識を学ぶ。</li> <li>c) 研修に必要な情報や注意事項を与える。</li> <li>d) 旅行会社からの情報を伝え、必要なパスポート等の手続きをする。</li> </ul> <p>2. 現地（8月6日出発8月31日帰国）では：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>a) クラス分けをして効率的に学べるようにする。</li> <li>b) 午前中に2コマ、午後は主としてキャンパス内外での見学、調査。</li> <li>c) 週末にバスでexcursionを行い、歴史、文化、自然などに接する。</li> <li>d) 家庭では宿題をしたり、家族と団らんして英語だけの生活をする。</li> <li>e) 大学での研修後、ロンドンに戻り、市内見学をする。</li> </ul>	
<b>【評価方法】</b> 1. 大学での研修は現地の教員が評価を行う。 2. 参加状態を記録しておいて帰国後、1.と合わせて総合的に評価する。	





【授業科目名】 スポーツA	バドミントン	【担当者】 松岡由紀子
【開講期】 1 年 前期		
<p>【授業目標】・スポーツをすることによって、運動不足を解消し、体力の保持増進をはかり、精神的ストレスを解放する。</p> <p>・運動技能と知識の習得。</p>		
【テキスト・参考書】		
授 業 計 画		
<p>技能練習とゲーム</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1、グリップとシャトル慣れ</li> <li>2、ストロークの練習</li> <li>3、サービスの練習</li> <li>4、集団技能の練習</li> <li>5、ゲームとルール、審判法</li> </ol>		
<p>【評価方法】</p> <p>平常点（出席重視）とゲーム中に採点</p>		

【授業科目名】 スポーツA	バレーボール	【担当者】 村田 務
【開講期】 1年 後期		
<p>【授業目標】</p> <p>バレーボールの技能及び体力の向上をめざすとともに、運動の習慣化をはかる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 個人的技能及び集团的技能</li> <li>・ 技能の程度に応じた練習法</li> <li>・ 審判法及び指導法</li> </ul>		
<p>【テキスト・参考書】</p> <p>参考書 西川順之助 : バレーボール、成美堂、1995年。          斉藤秀明監修：バレーボールルールブック、有紀書房、1995年。</p>		
授 業 計 画		
<p>科学技術の進歩や経済の成長、社会構造の変化に伴い、運動の不足や食行動の偏り、精神的ストレスの増加など、健康に悪影響を及ぼす様々な問題が生じている。このような状況の中で、注目されているのが生涯体育（運動及びスポーツ）である。適切な身体活動は、疾病の予防や健康増進に寄与するだけでなく、生き甲斐や自己の確立など質的な生活の向上を可能にする。バレーボールは、場所や設備、体力的側面からみて、比較的容易に、継続して活動することが可能なスポーツである。</p> <p>授業では、これらの観点から、将来にわたってバレーボールが続けられるように、「楽しい授業」、「技術の向上がわかる授業」、「自ら創りだす授業」をめざしたい。</p> <p><b>学習内容</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 個人的技能             <ul style="list-style-type: none"> <li>・ パスとトス</li> <li>・ サーブとレシーブ</li> <li>・ スパイクとブロッキング</li> </ul> </li> <li>② 集团的技能             <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 攻めと守りのフォーメーション</li> <li>・ トスゲーム、3段攻撃ゲーム、ソフトバレーボールゲーム</li> </ul> </li> <li>③ 指導技術             <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 技術指導法</li> <li>・ 体力トレーニング法</li> <li>・ 審判法</li> </ul> </li> </ul> <p><b>授業の流れ</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 全体活動             <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 共通課題の解決</li> </ul> </li> <li>② グループ活動             <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 個別課題の解決</li> <li>・ 指導法、練習法の習得</li> </ul> </li> <li>③ ゲーム             <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 練習成果の確認</li> <li>・ 新しい課題の発見</li> <li>・ 審判法の習得</li> </ul> </li> </ul>		
<p>【評価方法】</p> <p>平常試験（平常点、実技等）</p>		

【授業科目名】 スポーツA                      ダンス	【担当者】 飯塚真穂
【開講期】        1 年        後期	
<p>【授業目標】</p> <p style="text-align: center;">エアロビクスダンスをアレンジした振付を中心に、ダンスを通して健康で美しい身体、積極的な行動を可能にする身体をつくることを目標とする。</p>	
<p>【テキスト・参考書】</p> <p style="text-align: center;">使用しない。</p>	
<b>授 業 計 画</b>	
<p>1. ストレッチ+腹筋のトレーニング より大きく自由に体を動かせるように柔軟性を高める。 正しい姿勢の保持、腰痛の防止にも有効な腹筋力を強化する。</p> <p>2. ダンスプログラムの練習 ◇歩く、走る、跳ぶといった日常的な動作を基本とするステップで構成された3～4分程度の短い振り付けを覚える。 使用曲：“Try Me”，“Season”など 応用：グループで隊形変化をつける。 ◇バレエやスペイン舞踊、ファンキーなどを簡単にアレンジした振り付けを練習する。</p> <p style="text-align: center;">※必ず運動可能な服装に着替えて出席すること。</p>	
<p>【評価方法】</p> <p style="text-align: center;">実技テストを行うが、出席点と参加態度を特に重視する。</p>	

【授業科目名】 スポーツB スキー	【担当者】 村田 務
【開講期】 1年 後期	
<p>【授業目標】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 スキーの特性について理解するとともに、その知識と技能（歩行、滑走、回転など）について習得する。</li> <li>2 雪上環境に対する対処能力を高める。</li> <li>3 スキーに親しみ愛好する態度を伸ばす。</li> </ol>	
<p>【テキスト・参考書】</p> <p>参考書 全日本スキー連盟編：日本スキー教程、スキージャーナル社、1994年。</p>	
授 業 計 画	
<p>今日、日常生活の場から自然が失われ自然との共存が課題となってきた。自然環境を活用したスキーは、スポーツとしてだけでなく、健康の増進やレクレーションとしてもきわめて効果的である。しかし、雪上でのスキーは、さまざまな自然条件の影響を受けやすく（事故災害）、また、技能の習得において個人差が生じやすい。</p> <p>そこで、自然に触れ合うことの楽しさや喜びを十分に体験できるように、自由練習や個別指導を重視する。また、斜面や雪質の状態に応じた適切な技能と判断力が得られるように技能クラス別の指導を展開する。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1、日 程     1999年1月下旬 計画・準備                   2月下旬 スキー実習（3泊4日）</li> <li>2、場 所     学内及び上越国際スキー場（新潟県塩沢町）</li> <li>3、参加者     学生35名、教員3名</li> <li>4、内 容     計画・準備                   スキー実習                   第1日目 移動、スキー実技                   第2日目 スキー実技、講義                   第3日目 スキー実技、評価                   第4日目 スキー実技、移動                   実習内容                   歩行、登行、方向転換、滑降                   回転（プルークボーゲン、プルークターン、パラレルターンなど）                   用具のメンテナンス</li> <li>5、費 用     約50,000円（交通費、宿泊費、保険料など）                   ＊他に昼食費が必要となる。                   ＊スキーセット、ウェアをレンタルする場合、約8,000円、約6,000円が加算される。</li> </ol>	
<p>【評価方法】</p> <p>平常試験（意欲・努力、実技等）</p>	

【授業科目名】 健康科学	【担当者】 池森隆虎
【開講期】 1 年 前期	
<p>【授業目標】</p> <p>現代社会における健康問題について幅広い知識を身につけ、氾濫する健康情報、流行に対して真偽を的確に判断する能力、それを活かすことのできる応用力を備えられるようにする。</p>	
<p>【テキスト・参考書】</p> <p>テキスト：使用しない。</p> <p>参考書：参考図書、文献等は講義のなかで紹介していく。</p>	
授 業 計 画	
<ol style="list-style-type: none"> <li>1.あなたの両親は大丈夫？（そういうあなたにも...） －成人病の予防と対策－</li> <li>2.薬をじょうずに使いましょう。 －薬の有効な利用法、問題点－</li> <li>3.スマートな健康美人になろう！ －ダイエットの方法、問題点－</li> <li>4.楽しい海外旅行をするために（「何とかなるさ」じゃ..）。 －海外での健康問題、安全対策－</li> <li>5.他人事？エイズや性病について考えよう。 －性感染症の現状と予防－</li> <li>6.人が苦しんでいます...その時、あなたは何ができますか？ －応急処置法－</li> <li>7.運動は健康にいいの？ －運動の問題点、障害、活用法－</li> <li>8.世の中が変われば病気も変わります。 －現代病、新しい健康問題－</li> </ol> <p style="text-align: right;">（順不同）</p>	
<p>【評価方法】</p> <p style="text-align: center;">小レポート（不定期）と試験</p>	

【授業科目名】 スポーツ科学	【担当者】 岡田光弘
【開講期】 1 年 後期	
<p>【授業目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ スポーツを見て楽しめるようになること、</li> <li>　　スポーツをしてみたいくなること</li> <li>・ スポーツを社会現象として、批判的に見る眼を養うこと</li> </ul>	
<p>【テキスト・参考書】</p> <p>AERA MOOK「スポーツ学のみかた」朝日新聞社</p> <p>日本プロテニス協会編「テニス教本」スキージャーナル 1994</p>	
授 業 計 画	
<p>以下のようなトピックを扱う。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. スポーツと科学：スポーツ科学の全体像</li> <li>2. ジャンプ競技と揚抗比</li> <li>3. ポブスレーとクロストレーニング</li> <li>4. スポーツの技術・道具の変化と科学</li> <li>5. 滑降競技と乳酸</li> <li>6. 滑降競技と環境問題</li> <li>7. ドーピング問題と日常生活</li> <li>8. スポーツとアイデンティティ：ラクロス、カーリング</li> <li>9. スポーツとルール</li> <li>10. スポーツと遊び</li> <li>11. スポーツ解説と分析</li> </ol>	
<p>【評価方法】</p> <p>各時間ごとの提出物と期末のレポートで評価する。</p>	

專門教育科目（1年）





【授業科目名】 日本文学史（古代）	【担当者】 宮谷聡美
【開講期】 1 年 後期	
<p>【授業目標】</p> <p>伊勢物語を中心に、源氏物語に至るまでの平安時代の物語の流れを考える。</p>	
<p>【テキスト・参考書】</p> <p>『伊勢物語』（石田穰二訳注 角川文庫）。角川文庫以外の本でもよい。必要に応じてプリントを配布する。</p>	
授 業 計 画	
<p>伊勢物語は、歌と散文から成り立っており、歌物語と呼ばれる。このような形態は、文学史の一時期にのみ存在して消滅する。しかし、歌物語の残した課題は、それ以後の物語の中に、形を変えて生きていくものと考えられる。物語における歌の意味、物語の長編化の方法など、源氏物語が成立するまでの文学状況について考察する。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 伊勢物語の世界と問題点</li> <li>2. 伊勢物語と他の文学との関連 <ul style="list-style-type: none"> <li>古今和歌集</li> <li>大和物語・平中物語</li> </ul> </li> <li>3. 長編物語の成立 <ul style="list-style-type: none"> <li>伊勢物語の源氏物語への影響</li> <li>うつほ物語と同時代の文学</li> </ul> </li> </ol>	
<p>【評価方法】</p> <p>記述式テスト（自筆ノートを参照してもよい）によって評価する。</p>	

【授業科目名】 日本文学史(近・現代)

【担当者】 栗田廣美

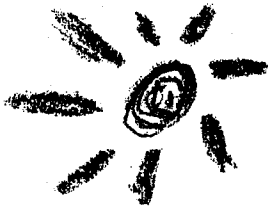
【開講期】 1 年 後期

【授業目標】 明治～昭和の人たちは、ナニも「強いられて」小説を読んだワケではあるまい。「オモシロイ！」から、読んだのだ。……………現代人が、テレビドラマを見るように。その「面白さ」を再発見することが、「文学史」の目標だ！

【テキスト・参考書】

教科書は使用しない。講義の中で、極くわずかの作品を読むように指定します。どれも、短い作品ばかり。プリントで配るものもあります。

### 授 業 計 画



受験勉強のような「文学史＝暗記」イメージは、キッパリ捨てましょう。

「知識」よりも、「作品の味わい」が大切です。

食堂で「メニュー」を覚えるよりも、実際に食べてみるのが良いし、

(食欲がないなら) 食べた人の話を聞いた方が、遥かに楽しい。

この講義では、実際の作品を、まず紹介＝解説しながら、その「面白さ」を再発見し、その「魅力」の秘密を探ります。……………それが実は、学問としての「文学史」の、究極の目標でもあるからです。

#### 「紹介＝解説したい」作品の例

「お勢」は浮気な女か？「エリス」を回想する「しかけ」は？ ……二軒『浮雲』と三軒『舞姫』  
日本最大のドロドロ・メロドラマと異次元ロマンス……………四軒『金色夜叉』と五軒『風流仏』『土偶木偶』

偽装心中事件か？……………六軒『外科室』『義血侠血(滝の白糸)』の「死の美学」

丑松に「未来」はあるか？ あの「重苦しさ」とは何だ ……七軒『破戒』

「サド・マゾ」が交差する「密室世界」……………八軒『刺青』『春琴抄』

「強い自我・実感」は、ほんとうに「健全」か……………武者小路実篤と志賀直哉の作品

我々にしみついた「意識」をどうする……………九軒『鼻』

「抽象的世界」だからこそ描けるもの……………『風立ちぬ』

○このほかにも構想しています。○講義の進度によって、省略するものもあります。

○夏目漱石、森鷗外(中後期)、有島武郎の三人については、

(大きすぎるので) 二年通年の「日本文学(近・現代)」に譲ります。

【評価方法】 筆記試験(ノート・プリント等、何でも参照可)。講義に基づいて「書く」形式。  
講義をよく聞いて、しっかりノートを取っておけば、大丈夫。  
出席点を加味して、総合的に評価する。

【授業科目名】 日本文学(中・近世)	【担当者】 東喜望
【開講期】 1 年 前期 後期	
<p>【授業目標】</p> <p>文学研究の基礎は作品研究にあるといわれている。この授業では、日本の中・近世の代表的な作品を精密に読み味わうことに主眼をおき、受講者がそれぞれの作品について、自らの作品論をうち立てられるように、作品分析や研究方法の基礎についてもふれていきたい。出席を重視する。</p>	
<p>【テキスト・参考書】 前期 新典社刊『方丈記』、『仮名変体集』 後期 武蔵野書院刊『心中天網島』</p>	
授 業 計 画	
<p>授業の概要</p> <p>I. 講義 「文学研究の領域と方法」</p> <p>II. 講義 「文献学・書誌学概説」「仮名文字の成立」</p> <p>III. 原典講読 鴨長明『方丈記』</p> <p>IV. 作品研究 『方丈記』の世界</p> <p>V. 作品講読 近松門左衛門『心中天網島』</p> <p>VI. 作品研究 『心中天網島』作品論</p>	
【評価方法】 定期試験のときに実施する筆記試験。	

【授業科目名】 国語学	【担当者】 吉田健二
【開講期】 1 年 前期	
<p>【授業目標】</p> <p>ことばを研究することの意義や面白さを伝えたいと思っています 日本語学の研究上の基礎的・根本的な問題点、方法論を検討します。</p>	
<p>【テキスト・参考書】</p> <p>テキスト 伊坂淳一『ここからはじまる日本語学』1997年、ひつじ書房（1,600円）</p>	
授 業 計 画	
<p>谷崎潤一郎は「日本語には文法がない」と『文章讀本』の中で書いています。谷崎は意図するところがあって敢えてこう書いているのでしょう。でも、もちろんそんなわけはなく、日本語にはちゃんと「文法」があります。わたしたちは日本語について、このような誤った「思い込み」を持ってしまうことが少なくないようです。</p> <p>またあるときの新聞記事に、ことばの「乱れ」の象徴としてよく話題になる「ら抜きことば」のことが取り上げられていました。ある作家のコメントが付け加えられていたのですが、その作家はなんと「今は誰もが忙しくしているせわしない時代だから、早く言おうとして「ら」が抜けるようになったのでは」という趣旨のコメントをしているのです。こんなデタラメがなぜ新聞に載るのか理解できませんが、残念ながら、このようななんの根拠もない「日本語論」が横行しているのが現実です。</p> <p>母語でありなんの苦もなく使いこなせるため、ふだんあまり振り返って考えることのない日本語の仕組みを、一步下がって客観的に検討するにはどうしたらいいのか、その方法論を基本から考えていきましょう。日本語への誤った思い込みもなくなるでしょうし、デタラメ日本語論にもきちんとした反論が加えられるようになります。これは言語研究の意義の一つであり、授業のねらいの一つでもあります。</p> <p>授業はテキストに沿って進行します。テキスト所載のことばを分析する「課題」など、実例の検討を通して日本語学の問題点を考えて行こうと思っています。ことばに対する好奇心と問題意識を高めてもらうことが出来れば幸いです。</p>	
<p>【評価方法】 学期末の試験と授業参加（レポート、提出物等）による （欠席数が1/3以上のものには受験資格を与えません）</p>	

【授業科目名】 国語表現法	【担当者】 宮谷聡美
【開講期】 1 年 前期	
<p>【授業目標】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 実際に文章を書くことによって、自分の考えを明確にする。</li> <li>2. 身の回りのさまざまな問題や自身の生き方について、他人の意見を参考にしながら、理解を深めていく。</li> <li>3. わかりやすい文章を書けるようにする。</li> </ol>	
<p>【テキスト・参考書】</p> <p>必要に応じてプリントを配布する。</p>	
授 業 計 画	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・受講者の意見を参考にしながら、いくつかのテーマを決め、そのテーマについて文章を書いてみる。</li> <li>・書いた文章に、批判・検討を加えながら、テーマに対する理解を深める。</li> <li>・書きたいことが伝えられる、わかりやすい文章になるように、書き直してみる。</li> <li>・今後、書く機会が増えると思われる、手紙の書き方にも慣れておきたい。</li> </ul>	
<p>【評価方法】</p> <p>書いてもらった文章によって評価する。</p>	

【授業科目名】 国語表現法

【担当者】 丸尾寿郎

【開講期】 1 年 前期

【授業目標】

対象を的確にとらえる。身のまわりの事柄やできごとなどで思ったこと、感じたことを飾らずにすなおに書く。見たり、聞いたりした物事について、詳しくわかるように説明したり、順序よく伝える文章を書く。また、調べて知ったことや、できごとについて、自分の意見と他人の意見を区別し、自分の考えを筋道立ててのべる文章が書けるようになる。こうした文章表現力をしっかり身につけることを、目標とする。

【テキスト・参考書】

使用しない。必要な資料などは、適時、配布する。

授 業 計 画

文章を書くということは、全人格的な行為である。上手下手でも、技法でもない。あえて言えば、自他を励ます営みである。

国語表現法では、実際に文章を書き、書くことの実践のなかで自己を育て、自分の文体を作っていくことが学習の中心となる。

書き上げた文章は、みんなで読みあい、批評し、そのうえで推敲して稿を整えていくようにする。

- (1) 生活に根差した文章を書く
- (2) 自分の意見を述べる文章を書く
- (3) 資料などにあたって調べ、わかったことを筋道立ててのべる文章を書く

【評価方法】

平常点で評価する（出席状況、作品提出度数などを総合する）。

【授業科目名】 史学概論	【担当者】 田中禎昭
【開講期】 1 年 前期 ・ 後期	
<p>【授業目標】</p> <p>歴史学の思想と方法を学び、自分自身の生きる社会を歴史的に見つめ考える姿勢を身につけることを目標とする。</p>	
<p>【テキスト・参考書】</p> <p>参考書：E.H.カー著、清水幾太郎訳『歴史とは何か』（岩波新書）  エンゲルス著、戸原四郎訳『家族・私有財産・国家の起源』（岩波文庫）</p>	
<b>授 業 計 画</b>	
<p>人が社会の中で人生の位置を見定めようと必死に模索する時、そして自分の生きる時代と社会の真実を見極め、いかに生きるべきか、人生の指針を得たいと願う時、社会というものを歴史的に考えること（歴史認識）が必要になってくる。なぜなら、人生の舞台である「今」の社会は、歴史の中で作られてきたものだからであり、個人の生もそれによって条件づけられているからである。史学概論では、下記の内容を視軸として、社会と自分を見つめる歴史認識の方法を身につけることを目的として授業を行なう。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1、歴史を学ぶとは？</li> <li>2、歴史的事実とは何か—歴史認識の主体と対象—</li> <li>3、歴史における理論と実証</li> <li>4、歴史における因果関係—歴史における「法則」の問題—</li> <li>5、発展段階と時代区分 <ol style="list-style-type: none"> <li>①社会構成史の時代区分—原始共同体・奴隷制・封建制・資本主義—</li> <li>②未開と文明</li> </ol> </li> <li>6、家族・共同体・国家の歴史認識</li> </ol>	
<p>【評価方法】</p> <p>小レポート、期末試験、出席点により総合的に評価する。</p>	

【授業科目名】 史料講読	【担当者】 戸川点
【開講期】 1 年 後期	
【授業目標】 平安時代（院政期）の史料を講読して、史料を正確に読む力をつけること、これが第一の目標です。さらに、その史料を分析し、院政期の社会状況についても考えていきます。そして史料に基づいて歴史を考えるとという歴史学の方法を身につけていきたいと思ひます。	
【テキスト・参考書】 テキスト：『時範記』を読んでいきます。テキスト本文は授業時に配布します。 参考文献：適宜授業時に紹介します。	
授 業 計 画	
<p>この授業では平安後期中流貴族である平<sup>とぎのり</sup>時範という人の日記『時範記』（じはんき、あるいはとぎのりきと読みます）を読んでいきます。彼は都では有能な官僚でしたが、その後、因幡国（現在の鳥取県）の国司（地方官）に任命され、現地に赴任することになります。彼はその際の旅の記録、現地でのできごとなどを日記につけておひります。ここではその日記を読んでいきたいと思ひます。そして史料の読み方や調べ方を身につけ、平安後期の旅の様子や地方の様子、都の状況などを考えていきたいと思ひます。</p> <p>授業はゼミ形式で、毎回担当者を決めて報告してもらひます。担当者は史料を読んで解釈し、問題点、疑問点などを指摘する。参加者はその報告に即して問題点を考えていく、という形になります。最初の1、2回で史料の読み方や調べ方、『時範記』の紹介などを行い、その後、史料を読んでいく予定です。</p>	
【評価方法】 学年末のレポートと授業時の報告・授業への取り組み（出席状況、発言など）。	



【授業科目名】 史料講読	【担当者】 西脇康
【開講期】 1 年 後期	
<p>【授業目標】</p> <p>活字化された近世史料の講読を通じて、音読法・解釈法など史料操作の基本を身につけながら、史料批判と歴史事実の復元の手法について学び、実証研究を取り入れた卒業レポート執筆への基礎がためとしたい。</p>	
<p>【テキスト・参考書】</p> <p>(テキスト) 西脇康編著『旗本三嶋政養日記』。講読部分を各自に配布する。  (参考書等) 特に定めない。必要に応じてプリントを配布する。</p>	
授 業 計 画	
<p>幕末・維新を生きた旗本三嶋政養がみずから記録した日記（『日記摘要』嘉永元～明治14年／1848～1881）を読みながら、幕末の旗本像、江戸の世相、戊辰戦争の動乱などについて具体像をつくりあげていきたい。三嶋家は三河以来徳川氏に仕え、当時は上屋敷を本所石原（現墨田区）に構える知行高1300石の中堅旗本であった。政養は、旗本では極官の御側御用取次をつとめる父夏目信明の意志で、三嶋家に入婿した。昌平坂学問所の学問吟味では、優秀な成績を収め表彰されるほど朱子学には通じていたが、風雲急を告げる幕末にあつて、小姓組番士という武官には就任したものの、文官としての御系図御用出役に出向し、出世の足がかりがつかめず挫折していった。それだけに、幕府の政治については冷静かつ批判的であり、滅び去る幕府の側、ないし敗者の側にとって、明治維新とは如何なるものに映ったのか、如何に生き抜いていったのかを日記からうかがうことができる。</p> <p>日記は大部に及ぶため、ハイライト部分を適宜史料として配付する。また、関連する歴史事物をビジュアルな形で提供するので、たんなる講読にとどまらず、会得する知識も豊富になるだろう。</p> <p>史料の音読法や解釈法については、むつかしく考えることなどない。和気あいあいと、手取り足取りコーチするので、まったく基礎知識などは必要としない。NHKの大河ドラマ「徳川慶喜」をより楽しく見たいという意欲さえあれば、もはやあなたは幕末史の完全なオタクになることだろう。授業のあり方については、参加者の意見を取り入れ、柔軟に考えていきたい。</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>定期試験ないしレポート（どちらにするかは未定）による</p>	

【授業科目名】 史料講読

【担当者】 湯川郁子

【開講期】 1 年 後期

【授業目標】

明治後期を中心に、公文書、新聞論説、政治家の日記・私信などの史料を読み解くことを通して、時代の雰囲気に触れながら、歴史事実に迫る方法を学びます。

【テキスト・参考書】

テキスト 開講時に配布します。

参考書 歴史学研究会編『日本史料(4)近代』岩波書店、1997年

### 授 業 計 画

参考書にあげた『日本史料(4)近代』の中から、明治後期を中心に基本的な史料をとりあげ、ていねいに読み進めていきます。

授業はゼミ形式で、報告者による担当範囲の史料の概要および歴史事象の説明、問題点・疑問点の指摘、続いて、受講者全員による討論により、進めていきます。

おおむね、以下の順序で読み進めていく予定です。

- 1) 日清戦争と北清事変
- 2) 日清戦後の政治と社会
- 3) 日露戦争と韓国併合
- 4) 日露戦後の政治と社会
- 5) 大正政変と第一次憲政擁護運動

【評価方法】

平常点とレポートの総合評価

【授業科目名】 日本古代史(考古学を含む)

【担当者】 田中禎昭

【開講期】 1 年 前期

【授業目標】

日本古代史を単に教科書的通史的に論じるのではなく、地域社会の構造とその変遷の過程に注目し、さらに古代国家の成立・展開の過程がそれといかに関わっているかに焦点を当てて、日本古代の時代相を構造的に理解するための一助とする。

【テキスト・参考書】

参考書：門脇禎二『古代史をどう学ぶか』（校倉書房）

### 授 業 計 画

日本の古代とはいかなる時代だったのか、中世社会や近世社会と異なる古代社会の基本的特徴は、どのようにとらえればよいのか。本講義では、旧石器時代から平安時代までの時期を時代を追って扱う予定である。しかし、それを単に通史的教科書的に論じるのではなく、特に、民衆生活の基盤となった家族・共同体・村落などの社会集団の時代的な変遷の過程と変遷の契機に注目したい。そして、それら社会集団の動きと古代の王朝や国家の移り変わり（政治史）がどのように関わっているのか、その連関を問題にすることで、日本古代の時代相を構造的に把握する一助としたいと考える。

- 1、古代史の扱う時代
- 2、旧石器時代
- 3、縄紋時代
- 4、弥生時代
  - ①環濠集落とクニ—弥生時代の共同体—
  - ②邪馬台国論
- 5、古墳時代前期・中期
  - ①豪族居館と共同体
  - ②4・5世紀のヤマト王権
- 6、古墳時代後期・終末期
  - ①「村」の成立—新しい共同体と首長制の変動—
  - ②6・7世紀のヤマト王権
- 7、律令国家の時代
  - ①集落・「村」と国・郡・里制—国家成立のインパクト—
  - ②奈良時代の王権と国家
- 8、平安王朝の時代
  - ①「村」の構造変化と負名体制の成立—王朝国家の構造—
  - ②平安時代の王権と国家

【評価方法】

小レポート、期末試験、出席点による総合評価。

【授業科目名】 文化論

【担当者】 高橋秀雄

【開講期】 1 年 後期

【授業目標】 文化とは Culture の訳語であり、その原義は“耕す”という意味である。古代から、人間は自然を耕すことによってさまざまな文化を創りあげ、それを伝承してきている。その軌跡を探りながら文化の特徴を探究する。

【テキスト・参考書】

テキスト：使用しない

参考書：各種文化関係書（その都度指示する）

### 授 業 計 画

文化とは何かを命題にし、文化の基本から説き明かして芸術分野に高められてゆく過程に焦点をあて、その内容を把握するとともに、とくに東西文化の特徴を比較することによって、文化に対する認識を深める。

各テーマについては、1回または数回の講義となる。

1. 文化とは何か
2. 人類の発祥と文化の発生
3. 日本の古代の文化
4. 火と水の文化
5. 石と木の文化
6. 狩猟と農耕と海洋の文化
7. “は”の文化
8. 東洋文化と西洋文化
9. 日本文化論

【評価方法】 1. 期末レポート  
2. 授業時の小レポート  
3. 授業時の平常点 } 左記3項による総合評価

【授業科目名】 アジアと日本

【担当者】 井上和枝

【開講期】 1 年 後期

【授業目標】 日本と最近の国であり、歴史的にも非常に密接な関係を有してきた朝鮮。その朝鮮を日本人はどのように認識し、かつ関わってきたのか？ 明治以後を中心に何人かの代表的な人物を捉えて、その朝鮮との関わり方を明らかにし、我々の朝鮮観を再検討する。

【テキスト・参考書】

授 業 計 画

先ず朝鮮に対する概論的な知識を与え、次に各人物の朝鮮との関わりを具体的に述べる。

- 第1講 朝鮮一人と言葉
- 2 朝鮮史概説
  - 3 日本と朝鮮の交流史
  - 4 南森芳洲と朝鮮
  - 5 半井桃水 〃
  - 6 与謝野金次郎 〃
  - 7 金子文子 〃
  - 8 柳原小悦 〃
  - 9 浅川巧 〃
  - 10 吉野作造 〃

【評価方法】 出席とレポート

【授業科目名】 日本経済論	【担当者】 富永静枝
【開講期】 1 年 後期	
<p>【授業目標】</p> <p>戦後における日本経済発展の軌跡をたどることによって、現代の日本経済の特徴と問題の所在を明らかにする。</p>	
<p>【テキスト・参考書】</p> <p>参考書:適宜授業中に紹介する。</p>	
授 業 計 画	
<p>第2次世界大戦により廃墟と化した日本は、その後急速に資本主義的復興を遂げ、高度成長を通して、いまや「経済大国」と言われるようになった。しかし実際には経済発展の水準に比べて、国民の生活レベルは、国際的に見てそれほど高くはない。21世紀の高齢社会を目前にして生活や福祉面の立ち遅れを改善することは日本経済に課せられた大きな課題である。そこで本講では資本主義の歴史の中でも劇的と言われる変化を遂げた日本経済の発展の軌跡をたどることによって、現代の日本経済の特徴と問題の所在を明らかにする。</p> <p>授業の内容は概略以下の通りである。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1、戦後の経済改革と経済復興</li> <li>2、高度成長の進展</li> <li>3、IMF体制の崩壊と日本経済</li> <li>4、世界経済に占める日本の地位</li> <li>5、国民生活の現状と日本経済</li> <li>6、高齢(化)社会と日本経済</li> </ol>	
<p>【評価方法】</p> <p>学期末のレポートの他平常時にときどき実施するミニレポート。</p>	

【授業科目名】 イギリス文学講読	【担当者】 田中安行
【開講期】 1 年 前期 ・ 後期	
<p>【授業目標】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. イギリス文学作品から分かり易く書かれたいくつかを読んで鑑賞する。</li> <li>2. 英語読解力を養うと同時に、作品の深い理解を通してイギリス文化やその思考方法およびユーモア感覚を学ぶ。</li> <li>3. 21世紀の世界に生きていく上で必要な精神的・文化的資質は何かを考えていく。</li> </ol>	
<p>【テキスト・参考書】</p> <p>20世紀作家の作品群 川口喬一「イギリス小説入門」研究社出版、1991年</p>	
授 業 計 画	
<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 比較的平易なイギリス文学作品を読みながら、英文学の基本的な考え方、思想について考える。</li> <li>2. 日本文学の英訳などとも対照させて、イギリス人の生活観や社会観の特徴を知り、比喩や暗喩などにもふれて語句や意味の底に隠された意味を理解する方法を学ぶ。</li> <li>3. 後期には学生が自身が事前に研究をしたものを発表して積極的に参加し作り上げていく授業になるようにする。 *20世紀作家の作品を中心に取りあげていく。</li> </ol>	
<p>【評価方法】</p> <p>ふだんの学習状況などの平常点とレポート及び筆記試験で行う。</p>	

【授業科目名】 英米事情講読	【担当者】 上原重一
【開講期】 1 年 前期・後期	
<p>【授業目標】</p> <p>現代の英米事情を歴史・地理と文化・社会制度を中心に、英語の講読を通して学び理解を深める。読むことに重点をおきながらも、書く・聞く・話すの力も高めるようにし、総合的なコミュニケーション能力の向上を目的とする。</p>	
<p>【テキスト・参考書】</p> <p>前期：British Patterns (ブリティッシュ・パターンズ) [朝日出版]  後期：Discovering the East Coast, USA (アメリカ東海岸探訪) [成美堂]  (参考書は 必要に応じて指示する)</p>	
授 業 計 画	
<p>前期：イギリスの主要な都市のいくつかの状況を知り、英国の歴史を概観し、政治と文化・教育などの事情にも通ずるように学習する。特に英語を読む力をスピードと技術、理解力の点から高める。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. Edinburgh    2. Oxford    3. York    4. London</li> <li>5. The Roman Period    6. The Tudor Period</li> <li>7. The Victorian Period    8. The Post World War I Decades</li> <li>9. The Government    10. The Monarchy</li> <li>11. The Educational System    12. The Class System</li> </ol> <p>後期：アメリカ東海岸には、建国以前からの歴史がある。その重要な都市を訪問することを想定した旅行を体験しながら、アメリカの姿を学び、旅行するための英語力および基礎知識を身につけることを主眼とする。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. Washington, DC--The Capital City</li> <li>2. The White House    3. The Capitol</li> <li>4. Federal Bureau of Investigation</li> <li>5. DC--For Museum Lovers</li> <li>6. Washington Monument and Jefferson Memorial</li> <li>7. Lincoln Memorial and John F. Kennedy Center</li> <li>8. New York--City of Entertainment and Culture</li> <li>9. Musicals    10. Nightlife    11. Shopping    12. Sightseeing</li> <li>13. Boston--City of Culture and Education</li> <li>14. Education in the US</li> <li>15. Prestigious Colleges and Universities</li> </ol>	
<p>【評価方法】</p> <p>定期試験の成績に、平常点（課題、感想文など）を加味して評価する。</p>	



【授業科目名】 英語表現Ⅰ	【担当者】 マーク コリン
【開講期】 1年 前期・後期	
<b>【授業目標】</b> 口頭による英語をもとに、生徒が英語で自らの考えや意見を会話の中で練習できるようにしている。	
<b>【テキスト・参考書】</b>	
<b>授 業 計 画</b>	
<p>このクラスではコミュニケーション能力の向上を中心に授業を進めていく。          内容としては、配布物をペアになって練習したり、オーディオやビデオを活用する。</p> <p>必要条件：クラスに出席し、積極的に参加することが必要。</p>	
<b>【評価方法】</b> 評価：このコースの重要視している点が英語で自己を表現することにあることから、テストはすべて口頭で行われる。学期末の筆記試験は実施しない。	

【授業科目名】 イギリス史	【担当者】 松本佐保
【開講期】 1 年 後期	
【授業目標】歴史を学ぶことは、過去についての知識を得るだけではなく、現代の社会や文化について理解を深めることである。とりわけ、18世紀に起きた産業革命によって「世界の工場」となり、植民地を通じて世界を股に架けて支配し大英帝国の歴史は、現代の国際社会・政治・経済・文化を理解する為に多くの題材を提供してくれる。	
【テキスト・参考書】 テキストは用いないが、概説的な参考文献として、 村岡健次・木畑洋一編『世界歴史大系 イギリス史3』山川出版社、1991年 また授業中に随時文献を紹介、資料、プリントなども配布する。	
授 業 計 画	
<p>政治・経済史だけでなく社会・文化史なども含め多角的に歴史を扱う。イギリスには「政治文化」という言葉があるように、文化は政治や経済と切り離して語ることはできなからだ。例えば、アフタヌーン・ティーやガーデニング、ロック・ミュージックは、イギリスの身分制社会、帝国主義や失業問題が生み出したものである。</p> <p>授業は講義形式だが、場合によっては意見を求めたり、感想文などを書いてもらうこともある。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1、はじめに：現代のイギリスに見る歴史的遺産</li> <li>2、中世から近世のイングランド</li> <li>3、絶対王政からピューリタン革命</li> <li>4、王政復古から名誉革命</li> <li>5、商業革命と消費社会の誕生 - ジェントルマンと民衆の生活様式 -</li> <li>6、産業革命の時代 - 工業化と都市生活 -</li> <li>7、議会改革の時代 - 自由主義と急進主義 -</li> <li>8、ヴィクトリア時代の社会と文化</li> <li>9、帝国主義の時代</li> <li>10、第一次世界大戦期の外交と国内政治</li> <li>11、第二次世界大戦期の外交と国内政治</li> <li>12、戦後から現代まで</li> <li>13、総括</li> </ol>	
<p>【評価方法】</p> <p>平常点（出席点、但し私語などで授業を妨げたら減点）と、試験の結果に応じて評価する。</p>	

【授業科目名】 アメリカ史	【担当者】 木野淳子
【開講期】 1 年 前期	
<p>【授業目標】  アメリカ史をより広義に捉え、アメリカ合衆国一国史ではなく、同じ北アメリカ大陸にある隣国、特にカナダとの関係から捉えることによってアメリカ合衆国の抱える様々な問題を理解するために必要な基礎知識を身につける。</p>	
<p>【テキスト・参考書】</p> <p>テキストは使用しない。参考書は必要に応じて授業の中で紹介する。</p>	
<b>授 業 計 画</b>	
<p>北アメリカ大陸はもともと様々な部族の先住民が居住していた土地であり、アメリカ合衆国、カナダ及びメキシコの国境は、後から入植した白人によって定められたものである。そのため、三国の成立及びその後の発展は、複雑に絡み合っている。特に、共に旧イギリス領植民地であり、長い国境を共有するアメリカとカナダの関係は重要である。また、我が国にとって、政治・経済・文化的に大きな影響力を持っているアメリカをどのように捉え、今後どのように付き合っていくかを考える上で、アメリカとカナダとの関係を知ることは大きな意味があると思われる。</p> <p>そこで、この授業では、カナダとの関係に照らして、さらに、カナダとの比較によって、アメリカ史上の重要な事件や問題を、別の角度から問い直したい。また、カナダ史についても、適宜解説を加えていく。</p> <p>なお、理解を深めるため適宜ビデオ教材、邦訳された史料等を使用する。</p>	
<p>【評価方法】 1. 授業時の筆記試験  2. 授業時の感想文や、レポート等の提出物</p>	

【授業科目名】 日本美術史	【担当者】 鈴木 泉
---------------	------------

【開講期】 1 年 後期
--------------

<p>【授業目標】</p> <p>この講義では、飛鳥から江戸時代にわたる絵画の歴史を論じる。とくに、各時代・各流派の絵画の基本的特質について説明する。毎回スライドを使用。</p>
---

<p>【テキスト・参考書】</p> <p>教室で指示する。また適宜プリント資料を配布する予定である。</p>
--

授 業 計 画

<p>講義は、毎回異なるテーマを設けて論じる形をとるが、絵画史の流れがつかめるように、なるべく時代を遡って進めてゆく予定である。口頭による講義が中心となるが、スライドを用いて多くの作品を紹介し、単なる概論に終わらず、日本絵画の基本的な鑑賞眼を養い、さらには、近年、ともすれば軽視されがちな日本文化への関心と理解が深められるような授業となるよう努めたい。</p>
--

<p>【評価方法】</p> <p>筆記試験</p>
---------------------------

【授業科目名】 言語学	【担当者】
【開講期】 1 年 後期	
<p>【授業目標】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 生まれたときから知らないうちに頭の中に備わった言語が、どんなに豊かな体系を備えているか、日本語の具体的な分析を通して学びます。</li> <li>2. 行動が以外に言葉によって規定されていることを確認した上で、言語と文化の密接な関わりを探ります。</li> </ol>	
<p>【テキスト・参考書】</p> <p>はじめての人の言語学      上山あゆみ      くろしお出版</p>	
授 業 計 画	
<p>授業では以下のような項目を扱います。</p> <p>[1] 一般的に、「言語」はこんなに誤解されている  言語はいつ、どうやって現れた？ 子供は親から言語を学ぶ？ 白人の使う言語は黒人の使う言語より複雑で高度？ 手話でのおしゃべりは口でするおしゃべりより表現力が落ちる？</p> <p>[2] 無意識のうちに操っている日本語のルールに気づいてみよう。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 音韻論 <ol style="list-style-type: none"> <li>a. 日本語の音の体系・他言語との比較：五十音表にまとめられた日本語の音素の体系の認識（日本語と英語の各子音・母音の発音の違いも確認します。この差異が認識できると、英語の発音が上手くなります）。</li> <li>b. 言語音と文字との対応：日本語（英語）の音声とひらがな（綴り字）の関係</li> </ol> </li> <li>2. 形態論（語の構造） <ol style="list-style-type: none"> <li>a. 日本語における語形成：過去に学んだことのある動詞や形容詞の活用を、より体系的に扱うことができるように、形態素という単位を導入します（形態素に着目すると、興味深い語形成のルールが見えてきます）。</li> <li>b. 語形成の特質：複合語の中の音の変化、形態素に分ける方法、動詞に続く形態素のいろいろ</li> </ol> </li> <li>3. 統語論（文の構造） <ol style="list-style-type: none"> <li>a. 文法的単位と文法範疇：助詞の意味のいろいろ、動詞の対応関係、受け身の-rare, 使役の-sase</li> <li>b. 日本語と他言語の統語構造の比較</li> </ol> </li> </ol> <p>[3] 言語と文化：言語における「比喩」の働き  アメリカはレイプが非常に多い。一方、レイプが起こらない文化もある。それらの文化にはどんな違いがあるのか、言語を手掛かりに考察する。</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>期末試験、提出物、授業参加度によって総合的に評価します。</p>	

【授業科目名】 民俗学	【担当者】 小林梅次
【開講期】 1 年 前期	
【授業目標】 伝承資料の性格・特色、それに民俗学研究法を理解させ、今までになげなく見過ごしていた身近な日常生活の中に問題点を指摘し、民俗学の視点からその意味するところを明らかにし、観察力と思考力を育てたい。	
【テキスト・参考書】 参考書 牧田 茂 「日本人の一生」講談社学術文庫 大島 暁他「図説民俗探訪事典」山川出版社	
授 業 計 画	
<p>----- 女性の民俗を中心に -----</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 研究法 伝承資料の特性と調査 伝承資料等の特異性</li> <li>2 主婦権と女性の地位 祭司権の変遷 近代化と男女の役割</li> <li>3 日本の神 来訪神と斎場</li> <li>4 民俗行事と女の役割 産育・婚姻・葬制</li> <li>5 衣・食・住 民俗知識と知恵</li> <li>6 民俗記録映像の上映</li> </ol>	
【評価方法】 レポートによる。	

【授業科目名】 情報処理概論	【担当者】 宮武直樹
【開講期】 1 年 前期 ・ 後期	
<p>【授業目標】 情報処理やコンピュータに関する知識および情報処理についての素養を身につけることを目標とする。具体的には、コンピュータの基礎知識として、情報処理とコンピュータ、機能と装置、プログラム言語とアプリケーションソフト、インターネットとネットワークの活用などについて講義する。演習はコンピュータの基本操作を学習する。</p>	
<p>【テキスト・参考書】</p> <p>テキストは授業の中で指定する。(必要に応じてプリントを配布する。) 質問は電子メールで受けます。&lt;電子メール：miyatake@k.hosei.ac.jp&gt;</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<p>&lt;前 期&gt;</p> <p>(1) 情報社会とは何かについて学び、情報処理とコンピュータについて述べる。</p> <p>(2) この演習では、Wordというソフトを使って、日本語の文書作成を行う。とにかく、コンピュータを駆使し、レポートの作成ができるようにする。</p> <p>(3) コンピュータのハードウェアとソフトウェアについて学習する。</p> <p>(4) Excelというソフトを用いて、表計算・グラフ・データベースなどの作成を成績処理、住所録や図書管理など身近な実例を取り上げながら学習する。</p> <p>&lt;後 期&gt;</p> <p>(5) 人工知能の現状と情報化社会におけるコンピュータの応用について解説する。</p> <p>(6) 電子メール、インターネット及びホームページについて学習する予定である。</p> <p>(7) 自分のホームページを作成する。デジタルカメラ、スキャナなどの操作を併せて習得する。</p> <p>(8) 北海道雨竜小学校の児童と電子メールによる交流をはかる。</p> <p>(6) 近年、著しく関心を集めている知識情報処理に関して、ファジィ理論、カオス、フラクタル、複雑系などが話題になっている。これは人間に関わるあいまいさや複雑さを理論的に取り扱える学問として興味深いものがあるからである。ここでは、応用事例をあげながら解説したい。</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>① レポート、平常点及び出席点で行う。 ② 授業時の課題(演習)も加味する。</p>	

【授業科目名】 教養演習Ⅰ「日本芸能文化史」1【担当者】高橋秀雄

【開講期】 1 年 前期・後期

【授業目標】 日本の芸能文化はそれぞれの時代の中で、それぞれ特色のある表現を完成し、人びとの圧倒的な支持を受け成り立ってきた。  
この芸能文化の流れを追うとともに、各時代の特色を洗いあげ、海外からの影響を分析し、現代の芸能文化をも探究する。

【テキスト・参考書】

テキスト：使用しない

参考書：各種芸能文化関係書(その都度指示する)

#### 授 業 計 画

芸能は宗教儀礼に発したとされており、その祈りの庭の中でさまざまに展開し、祭りの饗宴の芸能として成立するようになった。そして、非日常的な身体的行動は、やがて音楽的、舞踏的、演劇的な表現を生み出すことにより、人びとの生活の中の娯楽として定着し、マシには洗練された舞台芸術としても鑑賞されるようになった。  
これらの芸能文化の変遷を辿りながら比較研究を進め、芸能文化の本質を探究する。

1. 古代から現代までの芸能文化の課題を設定
2. 課題の内容を分担して調査、研究
3. グループによる報告、討論
4. 研究の結果のまとめ

【評価方法】

1. 演習時のレポート
2. 演習時の平常点

} 左記2項による総合評価



【授業科目名】 教養演習 I	【担当者】 富永静枝
【開講期】 1 年 前期・後期	
<b>【授業目標】</b> 少子・高齢化が著しくすすむ21世紀における男女の在り方と、これからの望ましい女性の生き方を探る。	
<b>【テキスト・参考書】</b> 『東京の女性白書』 『女性情報』 『図表で見る女の現在』など	
授 業 計 画	
<p>現代女性論ゼミ(1)</p> <p>「男女は平等になっていますか」と聞かれたら皆さんは何と答えますか。現代は女性だからと言う理由で学校や家庭で差別を受けることは少なくなっています。では本当に男女は平等になっているのでしょうか。不況下での女子学生の就職差別や、家事・育児と職業の両立の難しさなど、女性が一人の人間として能力を発揮し、自立して主体的に生きる事は相変わらず困難な状況にあります。一方男性もまた多くの問題を抱えています。</p> <p>そこでこのゼミでは人生のパートナーである男性と女性が、ともに人間らしく豊かに生きられるためにはどうしたら良いか、これからの望ましい男女の在り方や、社会システムの在り方について、諸外国との比較を試みながら学び考えていきます。</p> <p>年間スケジュール</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1、最初の数回は個人又はグループに別れて、最近女性に関してどのような事が問題になっているかを、雑誌「女性情報」によって調査する。</li> <li>2、調査内容を、ライフスタイル、女性と労働、家族・家庭、女性と社会保障、女性と教育、男女平等をめぐる諸外国の動きなどにわけ、自分が一番関心を寄せた問題を1つを取り上げて報告する。</li> <li>3、女性問題の所在が明らかになった時点で、「東京の女性白書」をテキストに内容を学習する。</li> </ol>	
<b>【評価方法】</b> 通常のゼミにおける発表内容およびレポート。	

【授業科目名】 教養演習 I

【担当者】 栗田廣美

【開講期】 1 年 前期・後期

【授業目標】 近代小説の名作を、読み、語り、考えます。  
自分の中に広がるイメージを大切にします。それが「自由に出てくる」ことを目指します。  
ほんとうは、小説は「どう読もうと自由」なものだからです。

【テキスト・参考書】

教科書は用いない。ゼミの最初に決める文庫本を買って、読んでもらう。

### 授 業 計 画

← 栗田ゼミの人はぜひ受講するように！

「日本文学史（近・現代）」などの講義と重なる作品を基本に、  
近代小説の名作を、皆で読みながら、その「面白さ」を探ります。

僕（栗田）が、初めのうちは、ていねいに「紹介＝解説」しますが、  
しだいに、皆で「自分はコウ読んだ」などと、語れるようになります。

すると、「ああ！ そうだったのか！ 面白い！」などと、  
作品の新たな魅力が見えて来て、  
自分の（イメージ）世界が広がって行きます。



そのためには、「ガンバッテ読むぞ！」という前向きな気持ち、好奇心が大切です。

読む作品の候補（「日本文学史」の目録を参考に、講師の紹介も参考に決めます）  
偽装心中事件か？……巖『外科室』『義血侠血（滝の白糸）』の「死の美学」  
丑松に「未来」はあるか？ あの「重苦しさ」とは何だ……巖『破戒』  
「サド・マゾ」が交差する「密室世界」……巖『刺青』『春琴抄』  
我々にしみついた「意識」をどうする……柳『鼻』  
なぜ『人間失格』か（桂）、  
「抽象的世界」だからこそ描けるもの……巖『風立ちぬ』

【評価方法】

平常点。

【授業科目名】 教養演習 I	【担当者】 田中安行
【開講期】 1 年 前期・後期	
<p>【授業目標】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 英米児童文学研究を通してこれからの人生をどのように生きていくべきかを考えるきっかけにする。</li> <li>2. 友人や家族、愛や人間の生きる意味や、社会、自然、環境などさまざまな問題に触れる。</li> <li>3. 子ども観とは何かを具体的な作品を読みながら考える。</li> <li>4. 英米児童文学の歴史を学び、欧米で子どものための文学がどう発展してきたかを学ぶ。</li> <li>5. 最近多くの英米児童文学が子どもだけでなく、大人にも読み直されている意味を認識する。</li> </ol>	
<p>[テキスト・参考書]</p> <p>定松正「英米児童文学の系譜」こびあん書房  神宮輝夫「現代イギリスの児童文学」理論社  小原信「ファンタジーの発想—心で読む5つの物語」新潮社  タウンゼンド「英米児童文学の歴史」岩波書店</p>	
<p>[授業計画]</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 初めに英文で作品を読みながら「子ども観」について考える。</li> <li>2. 次に英米児童文学のあゆみを調べながら代表的な作品について考える。</li> <li>3. 上記の過程で各自の研究対象となる作品を選び、原文を読み始める。</li> <li>4. 原文の読みはきめ細かく行い、自分の感性と理解力によって問題点を発見していく。</li> <li>5. 各自が発見した問題点を出し合って討論しながら、さまざまな角度から問題を深く追求していく。</li> <li>6. ゼミでの発表や討論が重要なので、各自が毎回、問題意識をもって参加することが要求される。</li> <li>7. 2年生の卒業レポートへの準備としてカード作成の方法や参考文献の調べ方なども学ぶ。</li> </ol>	
<p>【評価方法】</p> <p>ふだんの学習状況などの平常点（出欠、予習、質問、意見発表など）とレポートで行う。</p>	

【授業科目名】 教養演習Ⅰ	【担当者】 久保木寿子
【開講期】 1 年 前期・後期	
<p>【授業目標】 『源氏物語』を研究する。大部な作品で、総体を理解するのは容易ではないが、一年次では、本来短編的な巻々として書かれたとも推定される第一部（桐壺巻～藤裏葉）に取り組む。物語に敷設された人間関係・権力構造の大要を理解することが第一目標である。そのなかで、紫のゆかり系統と玉鬘系統の並立構造に目を向け、この二重構造の意味について考えながら、六条院体制の完成までの道筋を辿ることにしたい。</p>	
<p>【テキスト・参考書】</p> <p>テキスト、参考書については、最初の授業で指示する。</p>	
授 業 計 画	
<p>〔前期〕</p> <p>最初は、物語成立の背景や梗概について、ビデオなどを用いながら説明する。（全く初めての人には、“あさきゆめみし”を手掛かりにするのもよい）。</p> <p>次いで最も接近しやすい方法として、第一部に登場する人物の中の一人に注目し、その行動と心理を追う。系図上の位置、すなわち身分関係が決定的に重要なので、絶えず確かめながら進めたい。各自自由に調べて輪番に報告し、質問討議を重ねる。</p> <p>〔後期〕</p> <p>前期のゼミで、ばらばらに取り上げられた人物について、相互の関係をつけていく。そのために、「柙（賢木）」の巻を読んでいく。</p> <p>繰り返すが、『源氏物語』の全体像をつかむのは簡単ではない。が、得るものは大きいはずである。各休暇ごとに課題を出し少しずつ積み重ねていくので、頑張ってついてきてほしい。</p>	
<p>【評価方法】 定期試験時レポート・課題レポートによる。</p>	

【授業科目名】 教養演習 I	【担当者】 東喜望
----------------	-----------

【開講期】 1 年 前期・後期
-----------------

【授業目標】 <文芸の起源> 文明の極度の発達で自然を破壊し、生態系を疲え、人類の生存のみならず、地球環境さえ危機に追い込んでいる現代である。このゼミでは、自然を畏(おそ)れ、敬いながら生きていた時代の人々が、<謡い><語って>いた原初の「文芸」とは、どのようなものであったかを、日本各地(殊に辺境)の伝承や上代の文献(記・紀ほか)等を資料として検討する。

【テキスト・参考書】 適宜に資料(プリント)を用意する。録音テープや映像資料(スライド・ビデオ等)を使用する場合もある。

授 業 計 画

ゼミは、各課題を班別に分担して、研究し、報告しながらすすめる。詳細は、ゼミの時に指示するが、当面、下記のような順序ですすめる予定である。

1. 準備講義 — ことばの芸術としての文芸  
— その生成と形態

2. 研究課題(分担項目)

- (1) 東北の伝承歌
- (2) 東北の民話
- (3) アイヌの民話
- (4) 沖縄の民話
- (5) 沖縄の叙事歌謡(アヤコ)
- (6) ヤマト(大和)の英雄叙事詩
  - ヤマトタケル(日本武尊)
  - 吉備津彦と桃太郎

【評価方法】

【授業科目名】 教養演習Ⅰ	【担当者】 中島好伸
【開講期】 1年 前期 後期	
<b>【授業目標】</b> アメリカ文学作品を原文で読みながら、英語で読む力と文学作品の読み方を身につける。	
<b>【テキスト・参考書】</b> J.D.Salinger <i>The Catcher in the Rye</i> (Bantam) 森川展男『サリンジャー』（中公新書、1998）	
<b>授 業 計 画</b>	
<p>今年度は、J. D. サリンジャーを取り上げてみたい。1951年に出版されるや世界的なベストセラーになった、いや、今でも超人気の彼の代表作『ライ麦畑でつかまえて』をまずはじっくり読んでみよう。高校を中退した少年ホールデンの放浪を描いたこの作品が、どうしてこんなに読者の心を引きつけて離さないのだろうか。本音と建て前の中で生活せざるをえない現代人の本音の部分に触れるからだろうか。現在、作者は家の周りに塀を巡らし社会から隔絶した生活を送っている。このことと主人公ホールデンとの関係はいかに。2年間じっくり研究してみよう。/ まずは、翻訳でざーっと粗筋をつかんでもらう。そして、いよいよ原文。26章あるので、1時間につき1章～2章くらい読み進め、1年で読破してみよう。1章につき一人のレポーターを決め、細かく報告してもらう。そしてみんなで討論をし、何が問題なのかを明らかにしていく。現代の生きた米語と文学研究の醍醐味を味わいたい。出席して（無断欠席はゆるしません）意見を言うことが一番大切なことです。</p>	
<b>【評価方法】</b> 年数回にわたるレポートとゼミ内発表に出席、平常点を加味して評価する。	

【授業科目名】 教養演習 I	【担当者】 湯川郁子
【開講期】 1 年 前期 ・ 後期	
<p>【授業目標】</p> <p>日本近現代史に関する基本的な文献を輪読することにより、この時期についてのイメージを豊かにすることをめざす。</p>	
<p>【テキスト・参考書】</p> <p>ゼミの構成メンバーが確定した後、相談のうえ決定する。</p>	
授 業 計 画	
<p>以下の点をゼミの基本的ルールとして、演習を進める。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 何冊かの基本的な文献をゼミ構成員全員が分担し、報告と討論を重ねながら読み進んでいく。</li> <li>2) ゼミ構成員は必ず何度かは報告者としてレジメをつくり報告する。</li> <li>3) 報告者になった場合は、分担部分について参考文献等にあたり、さらに細かく調べて報告に盛り込むとともに、質問に答えられるように準備する。</li> <li>4) 報告者にならなかつた場合でも、最低限、あらかじめテキストの決められた範囲を読んで疑問点を明確にしたうえで演習にのぞむ。</li> </ol>	
<p>【評価方法】</p> <p>報告内容など平常点</p>	





教 職 科 目



【授業科目名】 教育原理 (教養科)	【担当者】 黒田 瑛
【開講期】 1年前期	
<p>【授業目標】</p> <p>生涯学習社会としての今日における教育の在り方について考えさせ、そのような視点から教育の目的、内容、方法、制度にわたり、その歴史と現状、そして課題を理解させることを目標とする。</p>	
<p>【テキスト・参考書】</p> <p>テキストは最初の授業で指示する。 参考書の紹介は随時行う。</p>	
<p><b>授 業 計 画</b></p>	
<p>わが国の教育の現状の検討と改革の方向についての考察を通し、教育の将来について学生が自分なりのしっかりとした視点をもって考える力を養いたいと願う。</p> <p>講義の主な内容は以下の通り。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>I. 「教育」の本来の意義・役割を考え、近代を中心として教育思想とその実践について話す。</li> <li>II. 日本の教育の歴史（主として明治以降）、ことに第2次世界大戦後の歴史を概説し、教育基本法の成立とその思想を説明する。</li> <li>III. 学校教育法、同施行規則等および学習指導要領をとり上げ、わが国の学校教育を規定する法令上の枠組みを理解させる。</li> <li>IV. 学校の教育活動について教育課程および学習指導と生活指導について話し、教師の働きと課題を考える。</li> <li>V. 教育の場として学校教育と対比して家庭教育と社会教育の特徴を論じる。</li> </ol>	
<p>【評価方法】</p> <p>① 学期末の試験      ② レポート提出</p>	

【授業科目名】 教育心理	【担当者】 林 潔
【開講期】 1年後期	
<b>【授業目標】</b> 教育心理学概説の概説です。 教育活動への参加のための方法論を身につけます。 従って、教育方法論が中心となります。	
<b>【テキスト・参考書】</b> テキスト：なし 図書館にある指定図書を使います。割り当てられた週に利用して下さい。 澤田慶輔「学校教育心理学」、他	
<b>授 業 計 画</b>	
<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 序：心理学と教育心理学 心理学と教育心理学との関連について</li> <li>2. 児童・生徒の行動理解(1) 発達心理学と児童・生徒の行動理解</li> <li>3. 同 (2) 中学生の行動の特質</li> <li>4. 性格論について(1) 基本的な性格論についての紹介</li> <li>5. 同 (2) 同</li> <li>6. 教授法について(1)</li> <li>7. 同 (2) 集団討議方式を中心に</li> <li>8. 学習技能 基本的学習技能について紹介する。</li> <li>9. 教育評価(1) 相対評価と絶対評価</li> <li>10. 教育評価(2) 教育評価のパターン</li> <li>11. 生徒指導と進路指導(1)</li> <li>12. 同 (2)</li> </ol>	
<b>【評価方法】</b> 平常点，レポート（予定）	

【授業科目名】 道徳教育の研究	【担当者】 黒田 瑛
【開講期】 1年後期	
<p>【授業目標】</p> <p>道徳とは何かを考え、道徳を教えるとは何を目ざすのかを学ぶ。今日の学校における道徳教育の意味とあり方、そしてそれを実施する教育計画の実際についての理解を与えることを目標とする。</p>	
<p>【テキスト・参考書】</p> <p>テキスト：大浦 猛編『望ましい性格の形成』（教職教養 教育学Ⅳ 山文社）          文部省『中学校指導書 道徳編』（大蔵省印刷局）          参考書：藤田昌士『道徳教育－その歴史・現状・課題－』（エイデル研究所）</p>	
<b>授 業 計 画</b>	
<p>学生がこれまで受けてきた家庭や学校における道徳教育の経験について感想や意見をきき、日常的に出会う道徳的葛藤などについても話し合いながら授業をすすめたい。</p> <p>主な学習内容を大別すると次の通り。</p> <p>I. 道徳を教える、学ぶということを教科の学習の場合と比較して、その特性を明らかにする。「道徳」とは何かを論じ、道徳的主体性を養うことが教育の目標であることを説く。</p> <p>II. 子どもの道徳性の育ちの視点から今日の特徴を考え、無道徳から他律、そして自律へとすすむ子どもの道徳性の発達を暗示す。</p> <p>III. 学習指導要領により小・中学校における「道徳」の目標と内容を話し、これを実施するための学校における道徳教育の全体計画、「道徳」の時間の年間指導計画、そして「道徳」の時間の指導案の書き方と評価までを実例によって説明する。</p> <p>IV. 教科の授業、特別活動、生徒指導など学校における他の教育活動と道徳教育との関連を明らかにする。</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>① 学期末に試験      ② レポートの提出      ③ 授業への出席と参加</p>	

【授業科目名】 特別活動の研究	【担当者】 黒田 瑛
【開講期】 1年後期	
<p>【授業目標】</p> <p>教育課程の中における特別活動の位置と、子どもたちの自主的、体験的活動としての特別活動が今日の教育においてもつ意義、およびその計画的実施について学習することを目標とする。</p>	
<p>【テキスト・参考書】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大浦 猛編『望ましい性格の形成』（教職教養、教育学Ⅳ）山文社</li> <li>・文部省『中学校指導書 特別活動編』（大蔵省印刷局）</li> </ul>	
<b>授 業 計 画</b>	
<p>主な学習内容を大別すると次の通り。</p> <p>I. 特別活動（教科外活動）の歴史、および特別活動の特質と目的</p> <p>II. 現行の学習指導要領における特別活動の諸分野〔学級（ホームルーム）活動、生徒会活動、クラブ活動、学校行事〕とそれぞれの活動の特質、内容と指導上の留意事項</p> <p>III. 特別活動実施の指導計画と評価</p> <p>IV. 特別活動と学校における他の教育活動（各教科、道徳等）との関連</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>① 学期末に試験      ② 授業への出席と参加</p>	

【授業科目名】 生徒指導の研究	【担当者】 小貫栄
【開講期】 1 年 後期	
<p>【授業目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 中学校における生徒指導の重要さを理解するとともに、その問題点を分析し、解決策を見つけ出す。</li> <li>○ さらに中学教師としての資質や能力を磨き、姿勢や信条を高める。</li> </ul>	
<p>【テキスト・参考書】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 学習指導要領(中学校編) 文部省</li> <li>② 望ましい性格の形成 山文社</li> <li>③ その他「生徒指導の手引き」(絶版) 文部省の引用(手作りパンフレット)</li> </ul>	
授 業 計 画	
<ul style="list-style-type: none"> <li>① 教育・学校・中学校の概要(開講の辞)</li> <li>② 近代教育制度の変遷と今日の中学校の位置</li> <li>③ 中学校の教育課程と学習指導要領</li> <li>④ 中学生の実態(その心と体のメカニズム)</li> <li>⑤ 中学校における生徒指導の意義と課題</li> <li>⑥ 日常生活における生徒指導</li> <li>⑦ 教科指導と生徒指導 &gt; (2~3回)</li> <li>⑧ 道徳・特別活動と生徒指導</li> <li>⑨ 進路指導と生徒指導</li> <li>⑩ 教育相談と生徒指導 (2回)</li> <li>⑪ よき教師像を求めて(特に中学教師として) (終講の弁)</li> </ul>	
<p>【評価方法】</p> <p>「レポート」に平常点を加味する。</p>	

【授業科目名】 国語科教育法

【担当者】 丸尾寿郎

【開講期】 1 年 後期

【授業目標】

国語科教育法とは、なにか。その本質と実際について研究し、中学校での授業に役立てることを目標とする。

【テキスト・参考書】

- (1) 「中学校国語」教科書を使用する。
- (2) 「中学校指導書・国語編」（文部省）を併用する。

授 業 計 画

国語を教えるということは、どういうことか。教科書の教材（小説や詩や説明文、古典文学、文法など）を教えることとおなじなのか、ちがうのか。そうしたことを考えることから始めて、国語科教育の本質と内容を研究していく。

「中学校学習指導要領」や「中学校指導書」を読み、「中学校国語」教科書の教材をいくつか取り上げて、学習を援助する方法を研究する。具体的には、教材の研究・分析、解釈、評価をはじめとして、学習支援案づくりや模擬授業の研究などを行なう。中学生が「国語がすきになった」と思うような授業はどうしたら可能か。いっしょに考えていきたい。

また、中学生は、どんな先生をもとめているか。生徒たちは、ほんとうは、学びたい、わかりたい、できるようになりたいと、切実な思いで毎日をすごしているし、自分たちの気持ちや考えをわかり、励ましてくれる先生をもとめている。この願いに誠実に応える教師になるためにも、相互に切磋琢磨して、努力してほしい。

【評価方法】

レポートと平常点、および出席状況を総合して評価する。



【授業科目名】 教育実習	【担当者】 栗田廣美
【開講期】 1 年 前期 ・ 後期	
<p>【授業目標】 「教師」というのは、大変ですが「やりがい」のある仕事です。教職に就くのも確かに困難ですが、「免許」は「一生の宝」にもなります。この科目では、二年生になって、実際に中学に行き、「実習」をするための準備をします。</p>	
<p>【テキスト・参考書】</p> <p>教科書は使用しない。必要に応じてプリントを配布する。</p>	
授 業 計 画	
<p>一年生のうちは、「教職に就くこと」について学び、「実習」で学んでくるポイントをつかみます。……これが、一番大切なことです。過去の実習生の、実際の様子も、伝えます。また、基礎的国語力のチェックや、簡単な復習もします。</p> <p>つぎに、技術的な「訓練」もします。たとえば、教室で、どの生徒にも聞こえるように「教科書を読む」こと、しかも、生徒が「分かる」ように読むこと。また、「黒板にまっすぐ字を書く」こと。……これらは、思いのほか「訓練」が必要なことです。生徒の顔を見ながら「読める」ようになれば、すばらしいでしょう。実際にやってみると、これは、わりあい「おもしろい」訓練です。……こういうことは、「実習」に行くときに、大切な「自信」のもとになります。</p> <p>「教育実習」というのは、それ自体でも、すばらしい体験です。「実習」から帰ってくると、学生は、見違えるように輝いて、たくましくなっています。</p>	
【評価方法】	



博 物 館 科 目



【授業科目名】 生涯学習概論	【担当者】 藤田博
【開講期】 1 年 後期	
<p>【授業目標】</p> <p>生涯学習及び社会教育についての理解を図るとともに、学習情報提供、学習相談の意義・方法について解説する</p>	
【テキスト・参考書】	
授 業 計 画	
<ol style="list-style-type: none"> <li>1、生涯学習の意義と基本的な考え方、及び学校教育・社会教育との関係 関連施策・施設の動向等について社会教育法を中心に学習する。</li> <li>2、社会教育の意義と基本的な考え方及び社会教育行政・社会教育の内容 方法、指導者と社会教育施設について、補助教材を使用して学習する。</li> <li>3、学習情報提供、学習相談の意義と内容・方法について事例を中心に学 習を進める</li> </ol>	
<p>【評価方法】</p> <p style="text-align: center;">平常点・レポート提出</p>	

【授業科目名】 博物館学	【担当者】 柘植信行
【開講期】 1 年 前期 ・ 後期	
<p>【授業目標】</p> <p>博物館は私たちの生活や地域の文化にどのような関わりをもっているのでしょうか。ますます多様化する現在の博物館の現状を学ぶことから出発して、博物館の歴史や理念、その仕事や学芸員の役割などについて考えていきます。</p>	
<p>【テキスト・参考書】</p> <p>参考書：伊藤寿朗著『市民のなかの博物館』（吉川弘文館） 講義に必要な資料は、適時配付します。</p>	
授 業 計 画	
<p>〔博物館概論〕 オリエンテーションー博物館とはなにかー 博物館の種類と分類 博物館の歴史 博物館の現在ー博物館・美術館・水族館・エコミュージアム……ー 地域博物館の展開 生涯学習と博物館の課題 博物館の法律 博物館をつくるー構想から開館までー</p> <p>〔博物館経営論〕 博物館の行財政制度 博物館の施設と設備 博物館事業ー教育・普及活動ー 博物館と学芸員ー学芸員資格とその仕事ー 博物館とボランティア</p> <p>〔博物館資料論〕 博物館資料の収集と保存 展示とはなにかー常設展と特別展ー レプリカの活用ー意義と作成方法ー 博物館の調査・研究活動 文化財保護、遺跡整備・保存と博物館</p> <p>〔博物館情報論〕 博物館での情報の意義 博物館での情報の提供 博物館での情報の活用 情報機器の活用と方法</p> <p>(以上、主なテーマを列記しましたが、講義では前後する場合があります。)</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>① レポート ② 博物館見学発表・感想文</p>	

【授業科目名】 博物館実習	【担当者】 上野光子・高橋秀雄
【開講期】 1 年 前期・後期	
<p>【授業目標】</p> <p>学芸員として実際の場に臨む場合に必要な心構えと、基礎となる知識・技術の修得を目標とする。</p>	
<p>【テキスト・参考書】</p> <p>テキスト：使用しない。必要に応じてプリントを配付します。</p> <p>参考書：全国大学博物館学講座協議会関西西部会『博物館学概説』ほか。</p>	
授 業 計 画	
<p>広範に渡る学芸員の仕事の中から人文科学系にしぼり、下記の項目にそって、講義1実習3を目安に授業を進めていく。見学によりなるべく多くの実例を学び、同時に作品に接する際の気構えやマナーも重視する。2年次には実際に博物館施設において実務実習を行います。</p> <p>(1) オリエンテーション：博物館実習とは、授業計画、博物館法</p> <p>(2) 学芸員の仕事と現状、実習と図書、博物館の広報活動</p> <p>(3) 博物館施設の実際：国立博物館等の見学2回、事前事後講義、レポート提出</p> <p>(4) 資料作成</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 2次資料とは</li> <li>・ 拓本：タンポ・墨作り、屋外拓本</li> <li>・ 裏打：くいざき、作図方法</li> <li>・ レプリカ作成</li> </ul> <p>(5) 展示と保管</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 展示環境</li> <li>・ 劣化と保存科学</li> <li>・ 展示施設と方法</li> <li>・ カタログ、作品解説</li> </ul> <p>(6) 梱包と運搬</p> <p>(7) 美術工芸品の取り扱い方と種類・技法</p> <p style="padding-left: 2em;">掛軸、卷子、折本、冊子、屏風、面、金工品、漆芸品、陶磁器、彫刻、茶道具等</p> <p>(8) 写真の基礎知識</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>(1)レポート、(2)作品、(3)平常点、(4)出席数、(5)館務実習評価、の総合点。</p>	

【授業科目名】 教育学概論	【担当者】 黒田 瑛
【開講期】 1年前期	
<p>【授業目標】</p> <p>生涯学習社会としての今日における教育の在り方について考えさせ、そのような視点から教育の目的、内容、方法、制度にわたり、その歴史と現状、そして課題を理解させることを目標とする。</p>	
<p>【テキスト・参考書】</p> <p>テキストは最初の授業で指示する。 参考書の紹介は随時行う。</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<p>わが国の教育の現状の検討と改革の方向についての考察を通し、教育の将来について学生が自分なりのしっかりとした視点をもって考える力を養いたいと願う。</p> <p>講義の主な内容は以下の通り。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>I. 「教育」の本来の意義・役割を考え、近代を中心として教育思想とその実践について話す。</li> <li>II. 日本の教育の歴史（主として明治以降）、ことに第2次世界大戦後の歴史を概説し、教育基本法の成立とその思想を説明する。</li> <li>III. 学校教育法、同施行規則等および学習指導要領をとり上げ、わが国の学校教育を規定する法令上の枠組みを理解させる。</li> <li>IV. 学校の教育活動について教育課程および学習指導と生活指導について話し、教師の働きと課題を考える。</li> <li>V. 教育の場として学校教育と対比して家庭教育と社会教育の特徴を論じる。</li> </ol>	
<p>【評価方法】</p> <p>① 学期末の試験      ② レポート提出</p>	



司書科目（1年）



【授業科目名】 生涯学習概論	【担当者】 藤田博
【開講期】 1 年 後期	
<p>【授業目標】</p> <p>生涯学習及び社会教育についての理解を図るとともに、学習情報提供、学習相談の意義・方法について解説する</p>	
【テキスト・参考書】	
授 業 計 画	
<ol style="list-style-type: none"> <li>1、生涯学習の意義と基本的な考え方、及び学校教育・社会教育との関係 関連施策・施設の動向等について社会教育法を中心に学習する。</li> <li>2、社会教育の意義と基本的な考え方及び社会教育行政・社会教育の内容 方法、指導者と社会教育施設について、補助教材を使用して学習する。</li> <li>3、学習情報提供、学習相談の意義と内容・方法について事例を中心に学 習を進める</li> </ol>	
<p>【評価方法】</p> <p>平常点・レポート提出</p>	

【授業科目名】 図書館概論	【担当者】 椎葉 倣子
【開講期】 1 年 前期	
<p>【授業目標】</p> <p>生涯学習社会における図書館について考察する。図書館の機能・種類から始めて、図書館政策・行政など社会との関連を学ぶ。これらの基本的な知識は司書科目すべてを理解するのに役立つであろう。</p>	
<p>【テキスト・参考書】</p> <p>テキスト：今まど子・中村初雄編著「図書館学基礎資料」樹村房</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<p>図書館とその機能</p> <p>図書館の種類と現状</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 国立図書館</li> <li>2. 公共図書館</li> <li>3. 大学図書館</li> <li>4. 学校図書館</li> <li>5. 専門図書館</li> <li>6. 類縁機関</li> </ol> <p>図書館の組織と運営</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 図書館政策・行政・法令</li> <li>2. 施設</li> <li>3. 図書館資料・組織化</li> <li>4. 図書館サービス</li> <li>5. 図書館員</li> <li>6. 図書館評価</li> </ol> <p>図書館協力とネットワーク</p> <p>図書館の自由</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>平常点・レポート提出</p>	

【授業科目名】 図書館経営論	【担当者】 椎葉 傲子
【開講期】 1 年 後期	
<p>【授業目標】図書館の任務・使命の一つは、利用者への資料と情報の提供である。同時に先人から受け継いだ文化遺産（図書館資料）を次の時代へ伝えていくことである。</p> <p>そして情報化時代の現在、図書館をどのように発展してゆけばよいのか、図書館の運営について学ぶ。</p>	
<p>【テキスト・参考書】</p> <p>参考書：図書館・情報センターの経営（情報学シリーズ4）勁草書房</p>	
授 業 計 画	
<p>授業目標で述べた任務・使命を果たすためには、視野を図書館内はもとより、館外にも向ける必要がある。設置母体や地方自治体であり、外部機関との連携についても考察する。具体的には以下の事項を学ぶ。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 図書館経営の必要性</li> <li>2. 図書館と自治体行政</li> <li>3. 図書館業務</li> <li>4. 図書館組織</li> <li>5. 図書館の職員</li> <li>6. 図書館サービス計画</li> <li>7. 図書館施設と整備</li> <li>8. 図書館業務、サービスの評価</li> <li>9. 図書館ネットワーク</li> </ol>	
<p>【評価方法】</p> <p>平常点・レポート提出</p>	

【授業科目名】 情報検索演習	【担当者】 倉澤寿之
【開講期】 1年後期	
<b>【授業目標】</b> 表計算ソフトウェアの実習を通してデータベースの作成と検索方法を学ぶ。コンピュータを用いた情報検索の基本的な手法を理解するとともに、ネットワーク環境を利用した情報の探索・検索についても知識を得ることをめざす。	
<b>【テキスト・参考書】</b> 特に指定しない。	
<b>授 業 計 画</b>	
<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 情報検索の基本的な考え方           <ul style="list-style-type: none"> <li>・概念の抽出</li> <li>・索引項目の構造</li> <li>・見出し語の選定</li> <li>・シソーラスの意義と活用</li> </ul> </li>   <li>2. 表計算ソフトの活用           <ul style="list-style-type: none"> <li>・表計算ソフトの基本</li> <li>・表計算ソフトによるデータベースの作成と情報検索</li> </ul> </li>   <li>3. ネットワーク環境におけるデータベース           <ul style="list-style-type: none"> <li>・ネットワーク環境でのデータベースの構築</li> <li>・ネットワーク環境でのデータベースの検索</li> </ul> </li> </ol>	
<b>【評価方法】</b> 課題をネットワーク経由で提出させる。 また、ネットワーク上での試験を行う。	

【授業科目名】 図書館資料論	【担当者】 椎葉 倣子
【開講期】 1 年 後期	
<p>【授業目標】</p> <p>利用者に資料を提供したり、情報を提供するの、図書館の重要なサービスの一つである。そのサービスを支えている図書館資料全般について学ぶ。そして資料選択・収集の自由を通して図書館の自由について考察する。</p>	
<p>【テキスト・参考書】</p> <p>テキストは4月に指定する</p> <p>参考書：新図書館資料論（現代図書館学講座2）河井弘志編著 東京書籍</p>	
授 業 計 画	
<p>図書館資料とは 意義・種類・特性</p> <p>資料の出版流通（図書中心）</p> <p>資料の構成 構成方針 収集・受け入れ（評価・選択） 管理・保存・利用 除架・廃棄</p> <p>非図書資料 逐次刊行物・AV資料・マイクロ資料・CD-ROM</p> <p>各種コレクション</p> <p>図書館資料と図書館協力</p> <p>図書館資料と知的自由</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>平常点・レポート提出</p>	

【授業科目名】 資料組織概説	【担当者】 椎葉 倣子
【開講期】 1 年 前期	
<p>【授業目標】          図書館が収集・蓄積した資料を、利用者が自在に利用出来るような方策を学ぶ。          即ち、目録法、主題目録法、分類法などである。情報化時代を迎えた現在、図書館にもコンピュータが導入されて、組織法も影響を受けている状況にも言及する。</p>	
<p>【テキスト・参考書】テキスト：資料組織概説（新・図書館学シリーズ9）大城善盛ほか著 樹村房          参考書：日本目録規則 1987年版 改訂版、日本十進分類法 第9版、基本件名標目表 第3版、国立国会図書館件名標目表 第5版（図書館、教養科資料室所蔵）</p>	
授 業 計 画	
<p>図書館の所蔵する豊富な図書館資料――一例を本にとれば、どのように書架に本を並べれば利用しやすいか。また著者や書名が分かっている本が図書館に所蔵しているか、〇〇についての本にはどんなものがあるか、を調べるには目録による。――を利用者に提供するための方策を学ぶ。具体的には以下の事項である。</p> <p>資料組織の意義・機能</p> <p>目録法：日本目録規則 1987年版を中心に</p> <p>主題コントロール</p> <p>分類法：日本十進分類法を中心に</p> <p>件名目録法：基本件名標目表 第3版、国立国会図書館件名標目表 第5版          を中心に</p> <p>その他：シソーラスなど</p> <p>書誌データベース</p> <p>書誌ユーティリティー、標準化など</p> <p>（細かいことを学ぶので、最初の授業時間からきちんと出席すること）</p>	
<p>【評価方法】          平常点・テスト・レポート提出</p>	



【授業科目名】 資料組織演習	【担当者】 椎葉倣子
【開講期】 1 年 前期・後期	
<p>【授業目標】</p> <p>資料組織概論と関連づけて各論が理解できるように演習する。具体的には、図書の組織化――目録、分類、主題分析――を行う。また、外部の書誌データを使う際の問題も考える。そして図書館内での目録利用について利用者にサービス出来るようにする。</p>	
<p>【テキスト・参考書】</p> <p>テキスト：資料組織演習（新・図書館学シリーズ10） 岡田靖他著 樹村房</p>	
授 業 計 画	
<p>目録：記入作成、カード・データ形式により基本的書誌データを学ぶ。 日本目録規則1987年版 改定版による。</p> <p>分類：日本十進分類法第9版による。</p> <p>件名作業：基本件名標目表、NDL件名標目表により件名標目をあたえる。 以上の演習は、最初演習問題集を使用し、ついで図書そのものを使用して実施する。</p> <p>コンピュータ目録：図書に関して書誌データを作成し、データシートに記入、コンピュータに入力する。J-BISCからダウンロードしたデータと共にデータベースを作成し、出力や検索の演習をする。</p> <p>目録利用対策：目録利用案内、パスファインダーなど。</p> <p style="text-align: center;">（細かいことを学ぶので、最初の授業時間からきちんと出席すること）</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>課題提出及び出席平常点</p>	

【授業科目名】 児童サービス論	【担当者】 東喜望
-----------------	-----------

【開講期】 1 年 前期
--------------

【授業目標】 人生の人格形成期において、児童期はその基盤を成す最も重要な時期である。この時期に児童が人間として何を欲し、何を求めているか、その正当な知的欲求をまず把握し、これに正しく応えるためには、どんな書籍を、どのようなサービスによって読ませていくかを考察する。

【テキスト・参考書】 講義資料(プリント)を配布する。

授 業 計 画

講義の概要

1. ことばと思考
2. 人間の言語活動
3. 「読む」ことの意味
4. 少年少女期の特性と読書傾向
5. 児童図書としての良書とは何か
6. 読書指導と選書の方法
7. 児童図書とサービス

【評価方法】 筆記試験

【授業科目名】 図書及び図書館史

【担当者】 西村 汎子

【開講期】 1 年 後期

【授業目標】

図書および情報手段の発達・普及と利用者の要望の高まりは、図書館を国民のための開かれた情報センターとする条件をつくりつつある。図書館の歴史の中から人々の努力の跡を辿ると共に、図書館の未来の活動や運営に向けての課題を考えていきたい。

【テキスト・参考書】

参考書：岩橋敏生他共著『新図書館ハンドブック』（雄山閣）

石井敦編『図書および図書館史』（講座：図書館の理論と実際10 雄山閣）

授 業 計 画

図書および図書館の歴史は、社会のごく一部の人々が享受するに過ぎなかった図書および各種の情報が、あらゆる人々のもとに生涯を通じて迅速に提供されるものへと変化発達しつつある歴史である。情報は誰でも入手できると同時に、その内容も教育・研究の必要や地域の人々の要望に十分に応えるものでなければならない。

第1章 日本一近代以前の図書と図書館の歴史

- (1) 紙の移入と書写の始まり
- (2) 古代における印刷・文庫・分類項目の発生
- (3) 中世における出版事業・学校文庫・書籍目録の成立
- (4) 近世における文庫の発達・庶民の読書要求と出版物取り締まり

第2章 日本一近代以後の情報化の発達と図書館の歴史

- (1) 近代図書館の発生一公立図書館の二つの道
- (2) 日本資本主義の発達と図書館一公立図書館の定着
- (3) 大正デモクラシーと図書館一臨時教育会議の答申・労働者農民の図書館
- (4) 軍国主義体制下の図書館一思想言論の抑圧・戦争の被害
- (5) 敗戦後の図書館一図書館の自由に関する宣言の採択
- (6) 民衆のための図書館へ一日野図書館のスタート・自治体行政の前進
- (7) 情報化の発達と図書館の新たな課題

【評価方法】

筆記試験またはレポート

【授業科目名】 情報機器論	【担当者】 倉澤寿之
【開講期】 1年前期	
<b>【授業目標】</b> 汎用情報機器としてパーソナルコンピュータを取り上げ、ワープロとしての利用をはじめ、ネットワーク環境でのコミュニケーション能力養成のための電子メール、ネットワークニュースの利用などの実習を行い、ネットワーク時代に対応できる情報メディアリテラシーの基本を修得することをめざす。	
<b>【テキスト・参考書】</b> 特に指定しない。	
<b>授 業 計 画</b>	
<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 基本的な情報メディアリテラシーの修得 <ul style="list-style-type: none"> <li>・コンピュータの仕組み</li> <li>・キーボードリテラシーの養成</li> </ul> </li>   <li>2. ワードプロセッサとしての利用 <ul style="list-style-type: none"> <li>・編集機能の活用</li> <li>・保存機能の活用</li> <li>・思考ツールとしての活用</li> <li>・プレゼンテーションツールとしての活用</li> </ul> </li>   <li>3. ネットワーク環境でのコミュニケーションツールとしての利用 <ul style="list-style-type: none"> <li>・電子メール、ネットワークニュースの仕組み</li> <li>・電子メール、ネットワークニュースによる情報交換</li> <li>・World Wide Webによる情報の探索と提供の基本</li> </ul> </li> </ol>	
<b>【評価方法】</b> 課題をネットワーク経由で提出させる。 また、ネットワーク上での試験を行う。	

教養教育科目（2年）



【授業科目名】 総合英語Ⅱ－1、2	【担当者】松本由美
【開講期】 2 年 前期・後期	
<p>【授業目標】</p> <p>英語学習においては、input（listeningとreadingの学習量）を増やせば、その結果としてoutput（speakingとwritingの力）も増してきます。そこで、この授業では、1年次に蓄えた基礎力に加えてさらにinputを増やしてゆくための力をつけることを目標にします。</p>	
<p>【テキスト・参考書】</p> <p>開講時に指示します。</p>	
授 業 計 画	
<p>授業時間内の演習を中心とした授業。詳しい進め方については、開講時に指示する。</p>	
<p>【評価方法】 小テスト、期末テスト、及び出席と授業参加を総合的に評価する。</p>	

【授業科目名】 総合英語Ⅱ－1、2（教養科）	【担当者】 照沼かほる
【開講期】 2年 前期・後期	
<p>【授業目標】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 英語を読むこと／聴くことに慣れる</li> <li>2) 英語の基本的技能を向上させる</li> </ol>	
<p>【テキスト・参考書】</p> <p style="text-align: center;"><i>News for You 1998/99</i> &lt;やさしいニュース英語&gt;（成美堂）</p> <p style="text-align: center;"><i>Your Ear for English</i> &lt;大学生の基礎リスニングテスト&gt;（金星堂）</p>	
授 業 計 画	
<p>「英語力」は、英語に継続的に接していないと衰えてしまうものです。これまで各参加者が培ってきた「英語力」を維持し、さらにそれを向上させることが、この授業の目標の1つです。英語の学習を続けてゆくには、各参加者が英語に対してある程度の興味をもつことが必要です。英語を学び、それを媒体として使うことで、（英語以外の）各自の趣味や関心事への理解がより広く深くなりうることをまず知ってもらい、英語を読んだり聴いたりすることへの抵抗を少しでもなくすことが、この授業のもう1つの目標です。</p> <p>▲教材について▼ 主に指定のテキスト（リスニングとリーディングの教材1冊ずつ）を用いますが、授業の進み具合と参加者の興味／関心を考慮して、プリント／テープ／ビデオ教材を加えていく予定です。また後期は、前期修了時に参加者の希望を聞いて、教材変更の有無を決めたいと思います。</p> <p>▼進め方について▲ 最初の約30分は、リスニングのテキストとテープを用いてリスニング練習を行います。毎回リスニングテストの答えは提出してもらい、次回の授業の最初にその返却・解説・復習を行います。次の約1時間は、リーディングのテキストとテープを用いて、英文の内容把握とその確認のための練習問題を行います。各セクションの英文は短いものなので、毎回1つずつ読み終えていくことを予定しています。</p> <p>▲予習／復習について▼ リーディングのテキストには、予習として文章に目を通すこと、復習として練習問題を解くこと（宿題の場合）が必要となります。また、リスニング／リーディングともに授業で扱った部分が期末テストの範囲となるので、リスニングの場合には授業中の復習の時間に誤った問いの確認をしっかり行い、リーディングの場合は、授業後テキストの文章を読み直して内容を確認し（わからないところはテスト前に質問できるようにし）ておくことを勧めます。</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>出席点・平常点（授業態度／リスニングテスト／QUIZ／提出物など）・期末テストの成績の合計</p>	



【授業科目名】 総合英語Ⅱ－1、2（教養科）	【担当者】 長尾主税
【開講期】 2年 前期・後期	
<p>【授業目標】</p> <p>平易な英文の読解を中心に、基本的な英語運用能力の向上を目標とする。</p>	
<p>【テキスト・参考書】</p> <p>開講時に指示する。</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<p>平明な英語で書かれたさまざまなタイプの文章を読む。</p> <p>異国の文化的背景を知り、そこに描かれた問題が自国のものと実際に共通するものなのかどうか考察するだけでも、得るものは大きいと考えられる。たとえば、英語のロジックの展開の仕方を学べば、小説においてさえも、情緒をしのごとくに論理が、その構造を支えていることがわかるだろう。また、平易な英文を読み、語彙をふやし、基本的な文法事項を修得することが、英語学習の妨げにならないことは言うまでもない。テキストに関連する映画を鑑賞し、さらに理解の助けとする予定である。</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>期末に行うテストおよびレポートの評定に、出席等の平常点を加えて評価する。</p>	

【授業科目名】 総合英語Ⅱ-1, 2 (教養科)	【担当者】 藤田久美子
【開講期】 2年 前期・後期	
<p>【授業目標】</p> <p>1年次に培ってきたリスニング、リーディング等の英語の運用能力を維持し、さらに少しでも向上させることを目標とする。</p>	
<p>【テキスト・参考書】</p> <p><u>Cousin William 3</u> (ロンドンでの活躍)</p>	
授 業 計 画	
<ul style="list-style-type: none"> <li>◦ 楽しく英語運用能力を向上させるために、近年よくビデオ教材が用いられている。確かにこの方法は、視覚と聴覚の両方を扱うので、その場の状況や話し手の表情までよく分り、話がより理解しやすいということが言えると思う。そこでこのクラスでは、ビデオ教材付きのテキストを用いて授業をしたいと思っている。ビデオを見ながら、内容理解のためのQ&amp;A, 書き取り, 書き替え(言い替え), 簡単な英訳等のタスクをやっていく。これに加えて、英国文化を紹介するエッセイも読んでいくので、その面での訓練にもなると思う。</li> <li>◦ 授業時間内に様々なタスクをやって力を付けていく方法を取る。ので、特別な理由がある時を除いて、出席だけ授業を欠席しないようにしてほしい。</li> <li>◦ 授業でやったexerciseのワークを、必ず提出してもらう。</li> </ul>	
<p>【評価方法】 出席状態, 毎回の練習問題の結果, そして平常の授業態度(積極性など)を総合して, 評価基準とする。</p>	

【授業科目名】 選択語学II-1、2(オーラル)	【担当者】 森田真澄
【開講期】 2年 前期・後期	
<p>【授業目標】</p> <p>英語のリスニング能力及び話す能力を中心に向上させる。</p>	
<p>【テキスト・参考書】</p> <p>未定(開講時に指示)</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<p>テキストと共にビデオを併用し、視覚から入る情報の助けを得ながら、英語能力を向上させる。</p> <p>原則として、毎週授業中に小テストを行なう。</p> <p>必ず予習をしてから、授業に出席する事。</p> <p>3分の2以上授業に出席しないと、単位取得はできない。</p>	
<p>【評価方法】 毎週行なう小テスト---80%</p> <p>授業への参加度----20%                      以上の2点で評価。</p>	

【授業科目名】 選択語学Ⅱ-1、2 英語 リーディング	【担当者】 長尾主税
【開講期】 2 年 前期・後期	
<p>【授業目標】</p> <p>4年制大学への編入を希望する者を対象として、読解を中心に試験の問題に対応できるだけの能力を身につけることを目標とする。</p>	
<p>【テキスト・参考書】</p> <p>各人のレベルを確認した後、プリントを配布してテキストに代える。参考書等については開講時に指示する。なお、必ず英和あるいは英英辞典を持参のこと。</p>	
授 業 計 画	
<p>4年制大学への編入試験には、専門科目や小論文、面接などのほかに、英語が課せられることが多い。そのため編入試験に際して、「論文や専門科目は良くできたが、英語が障壁となった」という事態を免れるために、最低限必要な知識を獲得し、問題に対応できるようにせねばならない。試験の具体的な問題内容としては、英文和訳が中心であるが、大学によっては、文法、整序作文、発音・アクセント、慣用表現等多岐にわたり、大学入試とほぼ変わらない範囲で出題されているものもある。つまり、編入試験をのりきるためには、もう一度大学の入学試験を受けるのと同等の準備が要求されることになる。</p> <p>各人は、本学を受験した当時の記憶を甦らせ、ブラッシュ・アップに励むことになるが、授業では初歩的な文法を理解した上で、長い論理的文章を読み解く訓練をする。英語による入学試験を経験したことのない者でも、意欲があれば、努力如何で苦手意識克服し、複雑な構造をもつ長い文章を読みこなせるようになる。積極的に授業に参加し、質問し、疑問点を解消して、「次を読もう」という意欲をもてるようになっていただきたい。</p> <p>実際の試験まで日が限られている(11月下旬から順次実施される)ため、自主学習の負担は大きくなるが、学習すべき教材とその方法については各人のレベルに応じて異なるので、一人ずつ個別にアドバイスする予定である。</p> <p>より具体的なことについては開講時に述べる。</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>出席等、平常点によって評価する。</p>	

【授業科目名】 選択語学Ⅱ－1、2 独語	【担当者】 川口眞理
【開講期】 2年 前期・後期	
<p>【授業目標】</p> <p>一年間で学んだドイツ語の知識をさらに補いつつ、簡単な童話を読んで基礎がためをします。</p>	
<p>【テキスト・参考書】</p> <p>Mein Grossvater und ich (邦題：「ひいおじいさんとぼく」)</p> <p>James Krüss 著 コピー配布</p>	
授 業 計 画	
<p>北ドイツ、北海のヘルゴラント島の漁師で詩を作るのが大好きな「ひいおじいさん」がひ孫の「ぼく」に毎日荒唐無稽で愉快なお話をしてくれます。アンデルセン賞をはじめ数々の青少年文学賞を受賞した作者Krüss自身の幼年時代をモデルとした楽しい物語です。各ページのかわいい挿絵も理解の助けとなるでしょう。</p>	
【評価方法】 平常点および筆記試験	

【授業科目名】 選択語学Ⅱ－1,2 仏語	【担当者】 村山知恵
【開講期】 2年 前期・後期	
<p>【授業目標】</p> <p>今年は学生の皆さんのご要望から、フランス映画のシナリオと一緒に読み、映画鑑賞をしながら、フランスを知る授業をやります。</p>	
<p>【テキスト・参考書】</p> <p>” Au revoir, les enfants ”  ” Si on allait au cinéma ”</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<p>4、5編のシナリオを用意するつもりです。教科書としては一冊のみ買っていただくこととなりますが、まだ未定です。その他は、プリントで用意致します。映画を鑑賞しながらフランス語が習得できればいいですね。</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>レポートによる評価</p>	

專門教育科目（2年）





【授業科目名】 日本文学史(中・近世)	【担当者】 東喜望
【開講期】 2年 後期	
【授業目標】 古代の文学を継承しつつ中世において新たに勃興・発展した文学はどのようなものであったか、そして中世文芸を克服しつつ近世において創造された文学はどのような特質を持っていたか、これらの問いを軸として考察をすすめ封建制化の文学の展開を跡づける。	
【テキスト・参考書】 適宜に講義資料を配布する。	
授 業 計 画	
<p>講義の概要</p> <p>I. 中世の散文文学 軍記物語の発展と推移</p> <p>II. 中世の韻文文学 中世和歌の発展と衰微</p> <p>III. 近世の散文文学 浮世草子の成立と新しさ</p> <p>IV. 近世の韻文文学 俳諧の成立と方法</p>	
【評価方法】 定期試験のときに実施する筆記試験。	

【授業科目名】 日本文学(古代)	【担当者】 久保木寿子
【開講期】 2年 前期 ・ 後期	
<p>【授業目標】</p> <p>女性による初めての仮名散文が、『日記』と呼ばれる形をとって、王朝期に隆盛を見るが、それはどのようなものなのか。まずは読んでみよう。そしてその主題と表現について考えてみよう。</p>	
<p>【テキスト・参考書】</p> <p>前期『蜻蛉日記』はプリントを配布。後期『和泉式部日記』は、岩波文庫本を使用。参考文献については、授業時に紹介する。</p>	
授 業 計 画	
<p>今期は、王朝日記の中から『蜻蛉日記』と『和泉式部日記』を取り上げる。かなり異質な二作品のそれぞれについて、主題的な特質と時代が抱える問題について考えていく。また和歌と散文の融合によって生じる、表現の特異性に注意し、その主題性との関連について検討していきたい。参考として二人の個人歌集についても取り上げる。</p> <p>最初に王朝和歌および王朝日記について概説をする。前期は『蜻蛉日記』、後期は『和泉式部日記』を主に、本文を紹介しながら扱い、王朝期の日記成立の意味を総合的に把握する。</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>成績評価は、レポートによる。</p>	

【授業科目名】 日本文学(近・現代)	【担当者】 栗田廣美
【開講期】 2年 前期 ・ 後期	
<p>【授業目標】 小説を、じっくりと味わい、分析し、その魅力の秘密を探り出す、徹底的に「作品世界の中に」入ってみる、構造を見破る、そして「作家」を分析する。……そういう「文学研究」の楽しさに、迫って行きたい。</p>	
<p>【テキスト・参考書】 教科書はない。プリントを用いる。 前期のうちに『坊っちゃん』『春琴抄』『カインの末裔』を読んでもらうが、「卒業研究」の時期にあたる後期には、「読書課題」はない。</p>	
授 業 計 画	
<p>○夏目漱石、森鷗外、有島武郎、谷崎潤一郎等、日本の代表的な作家を取り上げます。 ○夏目漱石と有島武郎を「軸」にしながらも、幅広い「文学研究」を目指します。 ○前期は「名作」の作品分析。後期は有島を中心とした「作家研究」が、一応中心!</p> <p>「考えたいこと」の例・若干</p> <p>『坊っちゃん』の「坊っちゃん」は、「サッパリした男」だと思っていたが、なぜ、あんなに長たらく「シャベクリ」つづけるのか。 『春琴抄』の「春琴」は、誰かが見た「春琴」なのか。 ……というような、作品の「構造」にかかわる問題や、</p> <p>夏目漱石は、どのような時代の中で、なぜ・どのように、「書く」ことを発見したか。 森鷗外、有島武郎の生き方、「文学」のあり方と、「家族制度」「長男であること」は、どのように関係するか、 ……というような、「作家形成史」にかかわる問題、</p> <p>ひろく、日本の「近代」と人間の問題、 そこから生まれる、「日本近代文学」の特徴と問題点、 ……はばひろく、考えて行きたいと思います。</p>	
<p>【評価方法】 筆記試験(ノート・プリント等、何でも参照可)。講義に基づいて「書く」形式。 講義をよく聞いて、しっかりノートを取っておけば、大丈夫。 出席点を加味して、総合的に評価する。</p>	

【授業科目名】 漢文学	【担当者】 東喜望
【開講期】 2年 後期	
<p>【授業目標】 中国古典文学の代表的な作品を精読し、作品の背景にある中国の思想や文化、歴史などについても理解を深める。</p> <p>作品は、日本の文学にも影響を及ぼした散文文学をとりあげるが、まず下記を精読することからはじめたい。</p> <p>鄭還古『杜子春伝』・瞿佑『剪灯新話』</p>	
【テキスト・参考書】 武蔵野書院刊・近藤春雄編『中国志怪伝奇選』	
授 業 計 画	
<p>授業の概要</p> <p>I. 講義 漢文学と漢文・その訓読の基礎</p> <p>II. 作品遺蹟の映像上映</p> <p>    旧長安(西安)周辺遺蹟</p> <p>    旧明州(寧波)周辺遺蹟</p> <p>III. 作品講読</p> <p>    (1) 唐代伝奇小説『杜子春伝』</p> <p>    (2) 明代小説『剪灯新話』『牡丹灯記』</p> <p>IV. 講義 日本文学への影響</p> <p>    (1) 芥川竜之介『杜子春』との比較論</p> <p>    (2) 牡丹灯記と翻案小説・講談</p>	
【評価方法】 定期試験のときに実施する筆記試験(テキスト持込み可)	

【授業科目名】 日本中世史

【担当者】 西村 汎子

【開講期】 2 年 前期

【授業目標】

中世の日本はどんな特色を持った社会だったかを考える。当時の支配者は草深い農村や都に住む民衆たちの変化を基礎にどんな支配体制を作ったか。また民衆は何を考えどんな生活や文化を生み出したかを解明していきたい。

【テキスト・参考書】

参考書：『体系日本の歴史』4～8巻（小学館 1988年）

授 業 計 画

はじめに、日本の中世の本質に関する研究史を学ぶ。ついで平安末期から社会の深部においてどんな胎動があり、それが政治の上でどんな変化をもたらしたのか、民衆の側で作られた共同組織とその役割、民衆の意識や生活、文化について学ぶ。後半では絵巻物などを活用したいと思っている。講義は次の順序で行う予定である。

はじめに

参考文献と日本中世史の諸問題

1. 古代から中世への転換
2. 鎌倉幕府体制の成立
3. 下剋上の社会
4. 中世民衆の意識と文化
5. 日欧文化比較

【評価方法】 期末のレポートによる。いくつかの課題のなかから、好きなテーマを選び絵巻物を使って具体像を描く。

【授業科目名】 日本近世史	【担当者】 西脇康
【開講期】 2年 後期	
<p>【授業目標】</p> <p>日本近世史を規定する基本的枠組みについてその大筋を論じた上、民衆史の視座に立ちながら具体的歴史事例を検討することを通じて、近世の男女関係に投影された歴史性について講義していきたい。</p>	
<p>【テキスト・参考書】</p> <p>特に定めない。必要な文献については、適宜配布ないし指示する。</p>	
授 業 計 画	
<p>(オリエンテーション)</p> <p>日本近世史への招待・・・・・・・・史料に見る近世男女の葛藤</p> <p>(近世史総論)</p> <p>日本近世史を規定する基本的な枠組み論として、次の講義を予定している。なお毎講、近世という時代を五感で体験できるビジュアルな教材を用意し、その導入としたい。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1, 兵農分離制・・・・・・・・身分制社会の成立</li> <li>2, 石高制・・・・・・・・荘園公領制から大名知行制へ</li> <li>3, 鎖国制・・・・・・・・通信国・通商国との外交体制</li> <li>4, 官僚制・・・・・・・・特権身分の文書による統治</li> </ol> <p>(近世史特論)</p> <p>民衆史の視座に立った近世男女関係論として、次の講義を予定している。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1, 婚姻風俗の一般的形態・若者宿・娘宿・夜這い・媒酌・年寄・後家</li> <li>2, 朱子学の思想から見た男女の道 ・・・・・・・・五倫・五常・七去・三従</li> <li>3, 男女関係の諸形態・・・・恋愛・許嫁・媒酌・縁組〈嫁入り・婿入り〉・不縁 ・・・・・・・・離縁・駆落・出奔・心中・不義・密通・強姦</li> <li>4, 階層別に見る縁組と離縁、家相続の実態</li> <li>5, 家事労働における男女の歴史的役割分担</li> <li>6, 刑法・民法における男女関係規定の歴史的差異</li> </ol> <p>(まとめ)</p> <p>日本近世史の現在の位置</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>定期試験（自筆ノートと配付資料は持込許可）による。</p>	

【授業科目名】 日本近現代史	【担当者】 大岡聡
【開講期】 2年 前期・後期	
<p>【授業目標】 ショッキングな事件や、あいも変わらぬ「腐敗」ばかりのニュースを日々耳にするにつけ、CMのイチロー選手ではありませんが、日本社会も真剣に「変らなきゃ！」ならないと思われれます。</p> <p>しかし、何を、どう変えるのか？ それを考えるのは私たち一人一人の役目なのですが、この講義を通して、現代社会を考えるのに不可欠な、「歴史的な眼」を養えたらいいな、と思っております。</p>	
<p>【テキスト・参考書】</p> <p>テキストは用いません。参考文献や読んで欲しい本は講義の中で紹介します。資料はプリントにして配布しますが、そのほか写真やビデオ、音声など視聴覚教材もなるべく用いたいと思います。</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<p>日本社会の近代化は、同時にさまざまな問題を抱え込んできました。それは現代社会のさまざまな問題——管理社会、学歴社会、都市問題、国際化、男女の不平等 etc. ——とも密接に関連します。</p> <p>この講義では、近代日本社会史、なかでも都市を中心とした話をします。上のような関心から、主に近代・日本社会の差別や抑圧に目を向けますが、それを乗り越えようとする動きにも留意したいと思います。</p> <p>いまのところ以下のようなトピックを取り上げる予定です。なるべく具体的に、身近なところから考えていくようにしたいと思います。</p> <p>規律と清潔——「文明開化」の両義性  「ゴーマン」な日本——「脱亜」意識と日清・日露戦争  都市の貧困——都市問題の「発見」  学歴社会のはじまり——「立身出世」とサラリーマン  動き始める民衆——大正デモクラシーと民衆の自己主張  悩める女たち——専業主婦と「職業婦人」の誕生  都市の魅力——百貨店の誕生と「文化生活」  都市災害の恐怖——関東大震災と朝鮮人虐殺  日の丸とかつぼう着——十五年戦争と民衆  『少年H』の時代——国民総動員  外から見た近代の日本——ビデオ「映像の世紀 JAPAN」を見る。</p> <p>なお、歴史を勉強するときには、ナマの資料や実物にふれることも必要です。江戸東京博物館（東京都墨田区）や国立歴史民俗博物館（千葉県佐倉市）など、歴史系の博物館・資料館の近現代史に関する展示を積極的に見学して下さい。</p>	
<p>【評価方法】 夏・冬2回のレポートを課します。詳細は講義の中で指示しますが、夏には読書レポート、ないしは博物館を見学してのレポートを、冬には講義内容に関わるレポートを書いてもらう予定です。</p>	

【授業科目名】 近代と西洋思想	【担当者】 針谷寛
【開講期】 2年 後期	
<p>【授業目標】</p> <p>近代社会を担い、推進してきた考え方について、その積極的内容の核心点を明確にするとともに、そこに含まれる問題点を批判的に検討する。この両面について自らの頭で考えていくための素材を提供する。</p>	
<p>【テキスト・参考書】</p> <p>テキストは使用しない。</p> <p>参考書は講義のなかで紹介する。</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<p>ドイツ近代の思想家ヘーゲルの社会理論ならびにその後の諸理論を素材として紹介しながら進める。ヘーゲルは19世紀初頭のドイツにあって、ドイツを近代化することが不可欠の課題だと考えながら、その一方で近代社会の含む問題点もいち早く洞察し、両者の葛藤を理論的に解決しようと苦心した人物。それだけに彼の議論をとおして、一方ではヨーロッパ近代の思想家たちが近代社会に欠かすことのできない原則として堅持しようとしたのは何であったか、つまり近代社会像の基本骨格がはっきり見てとれる。同時に、他面では近代社会と近代思想のかかえこんでいる問題が深くえぐり出される。</p> <p>共同体と個人の間を軸に議論を進めることになるが、時間が許せば、現代社会における個人の自立や自己決定をめぐる問題等にも論及したい。</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>レポートによる。</p>	



【授業科目名】 アメリカ文学講読	【担当者】 中島好伸
【開講期】 2年前期 後期	
<p>【授業目標】</p> <p>アメリカの短編小説を精読して、英語を読む力を養うとともに、文学作品の読み方を学びながらアメリカ文学の精髓に迫る。</p>	
<p>【テキスト・参考書】</p> <p>Ernest Hemingwayの短編（テキストはプリントする予定）</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<p>英語が読めないと思っている人、「読めない」のではなく「読もうとしていないだけ」であることに目覚めよう。文学作品は、古今東西、同じ人間についての有り様を書いているのであるから多少の読む技術を身につけることで、あとは想像力と文脈によりある程度の内容理解は出来るはずである。この精神に立って、アメリカの短編小説を数多く読んで楽しもう。</p> <p>読む技術については、毎時間プリントを配布して、読むために必要な文法事項等は確認していくあとは、レポーター（一人20行程度ずつ分担）に報告してもらいながら、内容の細かい把握につとめる。</p> <p>どれくらい読めているかは、各自で再度授業部分を読んでもらい、次の時間に、内容を10行程度にまとめてもらう。自分が分かっていない箇所などもこの時書いてもらって良い。これに前後期のレポートをくわえて成績評価を行う。</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>内容のまとめと前期一回、後期一回のレポートにより評価する。</p>	

【授業科目名】 英語表現II	【担当者】 マーク コリン
【開講期】 2年 前期・後期	
<b>【授業目標】</b> 口頭による英語をもとに、生徒が英語で自らの考えや意見を会話の中で練習できるようにしている。	
<b>【テキスト・参考書】</b>	
<b>授 業 計 画</b>	
<p>このクラスではコミュニケーション能力の向上を中心に授業を進めていく。          内容としては、配布物をペアになって練習したり、オーディオやビデオを活用する。</p> <p>必要条件：クラスに出席し、積極的に参加することが必要。</p>	
<b>【評価方法】</b> 評価：このコースの重要視している点が英語で自己を表現することにあることから、テストはすべて口頭で行われる。学期末の筆記試験は実施しない。	

【授業科目名】 イギリス文学史	【担当者】 田中安行
【開講期】 2年 前期	
<p>【授業目標】</p> <p>イギリス文学の大きな流れを理解しながら、各時代の特徴的な作品を取りあげてその時代の人々の生活や考え方、社会思想、時代背景などを考えていく。イギリス文学を学ぶことによって私たち日本人の考え方や生き方を別の視点から眺め、新しい世界に必要な人間性について考えていく。</p> <p>[テキスト・参考書]</p> <p>相島倫嘉「イギリス文学の流れ」〈新訂版〉南雲堂、1995年  G・C・ソーンリー「概説イギリスの文学」桐原書店、1995年  川崎寿彦「イギリス文学史入門」研究社出版、1992年  バット・ロジャーズ「図説イギリス文学史」大修館書店、1990年</p>	
授 業 計 画	
<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 各時代が生み出した特徴的な作品を翻訳又は原文で紹介しながら、その時代背景とそれらの作品が生まれた必然性を考える。</li> <li>2. 詩、戯曲、小説など文学作品の各ジャンルの歴史と特徴を学びながら、イギリス文学の発展の跡を辿りそれらが現代のわれわれとどのように関わっているかを考える。</li> <li>3. つねにイギリス文学の本質を考えながら、多くの文学者、詩人、劇作家に触れてそれらがイギリス人の人間形成やまた広く日本を含めて世界の文化にどのように関わっているのかを考える。</li> <li>4. ビデオなど視聴覚教材でイギリス文学史に関係のある作者や風物、歴史的な事件などを鑑賞して視覚的、音声的にもイギリス文学の面白さと奥の深さを実感できるようにする。</li> </ol>	
<p>【評価方法】</p> <p>平常点とレポートで行う。</p>	

【授業科目名】 アメリカ文学史	【担当者】 中島好伸
【開講期】 2年 後期	
<b>【授業目標】</b> アメリカ文学をアメリカの歴史の中に位置づけ、社会の変化と文学の関係を探る。	
<b>【テキスト・参考書】</b> 毎時間コピーを配布する	
<b>授 業 計 画</b>	
<p>アメリカ文学は、アメリカの歴史や国土と密接な関係にある。したがって、独立革命のあたりから、時代を追って文学作品の特徴を紐解いていく。現在、文学史に無視されてきた作家、作品を掘り起こす作業が盛んに行われているが、この講義では、必要に応じて文学史の書き換えについて触れるに止め、従来の文学史に即して、一つの時代に一人の作家を取り上げながら、時代背景の説明や作品の解釈を試みたい。また、文学研究は作品を読まなければ始まらない。レポートを書くに当たってはもちろんのこと、できるだけ多くの作品を読んで欲しい。取り上げる作家は以下の通り。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) ベンジャミン・フランクリン『フランクリン自伝』</li> <li>2) ナサニエル・ホーソーン『緋文字』</li> <li>3) マーク・トウェイン『ハックルベリー・フィンの冒険』</li> <li>4) セオドア・ドライサー『シスター・キャリー』</li> <li>5) F. スコット・フィッツジェラルド『グレート・ギャッツビー』</li> <li>6) アーネスト・ヘミングウェイ『日はまた昇る』</li> <li>7) ウィリアム・フォークナー『八月の光』</li> <li>8) ジョン・スタインベック『怒りの葡萄』</li> <li>9) J. D. サリンジャー『ライ麦畑でつかまえて』</li> <li>10) バーナード・マラマッド『アシスタント』</li> <li>11) アリス・ウォーカー『カラー・パープル』</li> <li>12) トニ・モリソン『ピラブド』</li> </ol>	
<b>【評価方法】</b> レポート	

【授業科目名】 西洋文学思潮	【担当者】 村山知恵
【開講期】 2年 前期	
<p>【授業目標】</p> <p>どこの国の文学にも、フィクションとは言えその国の、その時代の真実が含まれています。人間として生きる苦悩や喜びを、文学はわたしたちに伝えてくれます。今年も3作品を選び、一緒に読みながら感動を共有したいと思います。</p>	
<p>【テキスト・参考書】 「マノン・レスコー」 : アベ・プレヴォ  「カルメン」 : プロスペル・メリメ  「シスター キャリー」 : セオドア・ドライサー</p>	
授 業 計 画	
<p>1 「マノン・レスコー」  この作品の時代はだいぶ古い時代です。まずこの時代背景と作家の説明をします。純愛の結果の娼婦マノンの生きざまを皆さんと一緒に考えましょう。  ビデオ鑑賞もできればと思います。</p> <p>2 「カルメン」  この作品も今から百年以上前のものです。よく知っているようで知られていないこの作品の時代背景と作家の説明をします。強烈な一人の女性の生き方に一緒に感動しましょう。  有名な歌劇「カルメン」をビデオ鑑賞しながら比較してみましょう。</p> <p>3 「シスター キャリー」  今世紀に入ってからアメリカの作品です。今から50年以上も前の作品とは思われないくらい、キャリーはあなたがたと同じ若者です。彼女の心は今のあなたがたの心と同じように動きます。自分だったらどうするか、一緒に考えながら読みましょう。  これもできればビデオ鑑賞をしたいと思います。</p> <p>以上3作品を必ず読みましょう。小説を読む楽しみを十分味わってください。</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>レポートによる評価</p>	

【授業科目名】 芸能史

【担当者】 高橋秀雄

【開講期】 2 年 後期

【授業目標】 芸能ということばは、今日、もっとも広く用いられ、およそ肉体による演劇的、舞踏的、音楽的表現を総称するが、本来の芸能ということばの語義を再確認するとともに、その歴史的な変転を詳しく探究することとする。

【テキスト・参考書】

テキスト：使用しない

参考書：各種芸能関係書（その都度指示する）

### 授 業 計 画

芸能とは何かという命題を考究しながら、芸能の本質を明らかにし、さらに芸能事象の内容を分拆し、それが史的にはどのように展開していったのかについて論述する。

1. 芸能の語義
2. 芸能ということばが包含する内容
3. 芸能の種類分類
4. 芸能伝承論
5. 芸能史としての存立
6. 祭りと芸能
7. 民俗芸能論 — 神楽
8. 民俗芸能論 — 田楽
9. 民俗芸能論 — 凡流
10. 現代芸能論

【評価方法】 1. 期末のレポート  
2. 授業時の小レポート  
3. 授業時の平常点 } 左記の項による総合評価

【授業科目名】 映像文化論	【担当者】 長崎一
【開講期】 2年 前期	
<p>【授業目標】</p> <p>映画は単なる娯楽ものではなく、学生諸君にとっては人間成長の糧であり、人生の歩みを示唆するものであることを認識して欲しい</p>	
【テキスト・参考書】	
授 業 計 画	
<p>映画の誕生はまず見せ物的感覚をもって迎えられた。しかし、一世紀の間にトーキー、色彩、そして特撮技術など、格段の表現を備えるとともに、単なる見せ物から高い芸術性を生み出すに至った。</p> <p>本講ではその発展のプロセスを述べながら、日本映画をはじめ欧米各国の不朽といわれる数々の名作を取り上げながら、当時の時代的背景や、観客に与えた影響などを詳述していきたい。</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>出席状況とレポートによる採点とする</p>	

【授業科目名】 比較文学	【担当者】 栗田廣美
--------------	------------

【開講期】 2 年 後期

【授業目標】 我々日本人は、「アメリカ・ヨーロッパ」と、どのように向き合ってきたか。〈夢〉と〈あこがれ〉……〈恐怖〉と〈敵意〉……〈ゾクゾクするような発見〉と〈違和感〉。……作家たちの「体験」と「作品世界」を通して、「欧米—vs—日本」を考えます。なお、「文学」だけを孤立させるのではなく、音楽や美術への広がりも目指します。

【テキスト・参考書】  
 随時プリントを配ります。  
 「卒業研究」の時期でもあり、強制的「読書課題」は、ありません。

授 業 計 画

超ぶっかめー！

○本年度の、**主な登場人物** (予定はまだ観ていません):

- イギリス人……シェイクスピア (『ハムレット』の劇作家)
- アメリカ人……ホイットマン (『草の葉』の詩人)
- フランス人……デュマ・フィス (『椿姫』の作家)
- ドイツ人……ゲーテ (『若きウェルテルの悩み』の作家)
- ロシア人……トルストイ (『安娜・カレーナ』の作家) & ツルゲーネフ  
 ……ゴーリキー (『チェルカッシュ』『どん底』の作者)
- 日本人……二葉亭四迷 夏目漱石 有島武郎 永井荷風 栗田廣美 他
- 友情出演 (文学者以外) ……クロボトキン公爵 (ロシアの革命家)  
 ……ヴェルディー (イタリアの作曲家)  
 ……ラファエル前派の皆さん (イギリスの画家たち)

○内容: 【授業目標】に書いたことを、外国の作品も紹介＝解説しながら、鹿鳴館時代から大正時代へと、なるべく「一話完結」で、講義したい。

○主張: 「**闘う比較文学**」を目指して。

「比較文学」とは、「文学の国際交流」というか、要するに、民族・言語の違いを越えて、作品間に響き合う「影響関係」を探る学問分野です。もともと、そういうものとして「発展」してきました。

しかし、「文学の国際交流」などと言っても、現実には「対等の交流などありません。ここ数百年は、「欧米の近代文明」が、実に強引に・暴力的に世界を支配して来たのが現実です。その支配の下で、例えば日本の作家は (欧米に憧れながら)、苦しみ、悩んで来ました。このことを忘れて、「影響関係」の考証ばかりしていると、「比較文学」という学問そのものが、この「支配」を補強しかねません。

ペリーの黒船以来、我々は (ベツに望んだのでもナイのに)、強引に「近代文明」に組み込まれました。文化・芸術の「影響関係」は、その「力関係—位置関係」の中でこそ、明らかにされねばなりません。

その中で、新たな「国際文明」のあり方を探るような学問を目指したいと思っています。

【評価方法】 筆記試験 (ノート・プリント等、何でも参照可)。講義に基づいて「書く」形式。講義をよく聞いて、しっかりノートを取っておけば、大丈夫。出席点を加味して、総合的に評価する。



【授業科目名】 東洋文化史	【担当者】 山口洋
【開講期】 2年 前期	
<p>【授業目標】</p> <p>中国の歴史を中心に「東アジア世界」の諸相を概観する。また、具体的な歴史事例をもとに、歴史研究の方法と歴史的批判精神を身につけることを目標とする。</p>	
<p>【テキスト・参考書】</p> <p>テキストはコピーを配布する。参考書リストは開講時に配布する。</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<p>テーマ 中国の歴史と文化</p> <p>中国は、東アジア世界の中心に位置することから、古来より周辺諸国と政治・文化の交流があり、そこには融合と摩擦が生じてきた。本講座では、東アジア世界に大きな影響を与えた中国の歴史について、政治・社会・文化の中から、その担い手であった人々の事跡を抽出して考察し、中国および東アジアにおける文化とその交流について概観する。</p> <p>授業においては、出土品や図版等のビジュアル資料も紹介し、また東洋史学における最近の成果にも触れたい。なお具体的には、以下の項目について授業をすすめる。</p> <p>開講時にアンケートを行うので、受講生は何を知りたいのかを考えてくること。</p> <p><u>I 歴史学とアジア</u></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 東洋の概念（・東洋の語義と概念・東洋史学の成立と発展）</li> <li>2 中国の歴史書と歴史家（・歴史書と史官・歴史事実と歴史小説）</li> <li>3 書物の歴史（・紙発明以前の書物・紙の発明と印刷技術の発明）</li> </ol> <p><u>II 中国の歴史</u></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>4 皇帝の始まり（・始皇帝の登場・果たして皇帝は絶対君主なのか）</li> <li>5 科挙と学問（・官吏登用制度の変遷と試験地獄）</li> <li>6 対外交流と中華思想（・朝貢とは？・シルクロード・遣唐使－日中関係の一斑）</li> <li>7 中国の宗教（・民衆の宗教－道教・西域伝来の宗教・宗教と政治権力）</li> </ol>	
<p>【評価方法】 レポートと筆記試験を総合的に評価する。</p> <p>なお、レポートについては開講時に説明するので必ず出席すること。</p>	

【授業科目名】 現代日本政治	【担当者】 梅田欽治
【開講期】 2年 後期	
<p>【授業目標】</p> <p>現代日本政治の基本問題を理解して、私たちの身近かな「政治」について関心をもち、世界と日本の政治動向に興味をもてるようになること。</p>	
<p>【テキスト・参考書】</p> <p>授業のなかで資料を配布し、参考文献を紹介します。</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<p>現代日本政治の基本は「日本国憲法」と「日米安全保障条約」です。この両者をそれぞれ深く理解することによって、現在の日本の政治・経済、そして社会がみえてきます。また、アジアも世界もみえてくるのです。</p> <p>ところが、学生諸君はこれらの初歩的なこともわかっていないのが実情です。これでは、一人前の成人、いわんや一人前の主権者とはいえません。</p> <p>学生諸君の質問に答えながら、ひとつひとつ疑問を解いていくことにします。</p> <p>専門の授業ですが、気軽に受講してほしいと思います。</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>出席状況と定期試験で評価します。</p>	

【授業科目名】 日本女性史

【担当者】 西村 汎子

【開講期】 2 年 前期

【授業目標】

女性が困難を乗り越えて、真に人間らしく生きていく展望を得るために、過去の女性の歴史を振り返ってみることは重要であろう。半年の課程なので、原始から近世までの前近代の女性史を中心とし、近代以降には簡単に触れる。

【テキスト・参考書】

テキスト：『日本女性の歴史－性・愛・家族』（総合女性史研究会編 角川書店）

授 業 計 画

各時代の労働のあり方、財産権、婚姻形態、家族関係、道徳観などに注目しその中でたくましく生きた女性の生涯についても、できるだけ取り上げていきたい。当時の法令、日記、文学、絵巻などを通じて女性たちの生活を考えて行く。次のような順序で進めていく予定である。

1. 原始女性は太陽であった－原始の平等生活
  - 1) 男女平等時代の存在
  - 2) 性別役割分担
  - 3) 性差別を生まない理由
  - 4) 婚姻家族関係
  - 5) 神話の中の女性像
2. 性差別の始まり－古代の家族生活
  - 1) 律令制度と家父長制
  - 2) 財産相続
  - 3) 万葉集にみる民衆の生活
  - 4) 平安貴族の妻の生活
  - 5) 紫式部はなにを言いたかったか
3. 嫁取りへの動き－中世の女性たち
  - 1) 家業の継承と家父長権の強まり
  - 2) 男女の協力と役割分担
  - 3) 分割相続と後家の権限
  - 4) 婿入りから嫁入り婚へ
  - 5) 室町戦国期の庶民の女性像
4. 封建道徳の確立期－近世の女性たち
  - 1) 農村のくらし
  - 2) 女の稼ぎ
  - 3) 封建道徳の下で
  - 4) 公娼と私娼
  - 5) 滑稽本の女性たち
5. 近現代の女性解放
  - 1) 明治民法下の女性
  - 2) 戦後の女性解放
  - 3) 男女雇用機会均等法以後

【評価方法】

期末テストによる。あらかじめ提起した課題の中から出題する予定。

【授業科目名】 現代女性論	【担当者】 富永静枝
【開講期】 2 年 前期・後期	
<p>【授業目標】 女性を取り巻く社会環境が大きく変わった現在、女性の生き方は伝統的な生き方だけでなく、多様な生き方が可能になった。これからの女性は自己の能力を生かしながら自分の人生を自立して生きる為にはどうすべきかを考えていく。</p>	
<p>【テキスト・参考書】  参考書は授業を進める過程で紹介する</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<p>近年女性を取り巻く社会状況は大きく変化し、女性の生き方も多様化している。男女雇用機会均等法や育児休業法も施行され、女性の社会進出も大きく進展した。しかしながら伝統的な性別役割分業の社会システムは依然として強固に存在し、そのことが女性の自立を阻んでいるだけでなく、多くの社会問題を引き起こしている。本講ではこのような社会状況の変化や、性別役割分業を基本においた社会システムの問題性、家族家庭の諸問題や女子労働問題など女性の視点から考えて行く。</p> <p>1、女性の権利の歴史 2、女性の自立と性別役割分業 3、女性労働の諸問題 4、高齢(化)社会と女性・家族・家庭 5、男女平等を求める世界の動き・新しい動き</p> <p>なお講師の側からの一方的な講義だけではなく、女性問題に関する新聞記事やビデオなどを素材にしたディスカッションなども行うので、受講生は討論に積極的参加するよう心掛けてください。</p>	
<p>【評価方法】 学期末のレポート他</p>	

【授業科目名】 文化人類学	【担当者】 白井和子
【開講期】 2年 前期	
<p>【授業目標】</p> <p>異文化を知ることや異文化を理解するとはどういうことか、考える。</p>	
<p>【テキスト・参考書】</p> <p>参考書 大貫恵美子『日本文化と猿』（平凡社 2700円税抜き）</p>	
授 業 計 画	
<p>同じような自然環境にもかかわらず人々が異なった様式の生活を営んでいる一方で、違う自然環境の人々が同じような生活様式を営んでいることは、印刷物やテレビなどのマスメディアを通して知られています。また旅行などで実際に身をもってそれらを体験している人々も多いことでしょう。しかし、そのような情報や体験が実は表面的な理解や知識にとどまっていることがしばしば見受けられるようです。では、自分が身につけている文化とは異なる文化を、興味本意に取り上げることに終始することなく、理解することができるのでしょうか。もし理解することができるとするならば、どのようにして理解するのでしょうか。講義では異文化を理解する思考と方法の一つの例として、文化人類学者のおこなうフィールド・ワークについて考えたい。</p> <p>ところで、カルチャー・ショックという言葉を知っていますか。生まれ育った土地を離れてよその土地で暮らしていると、それまで当然のことと思っていた常識が全然通じなくて、精神的に落ち込んでしまうことがあります。自分が依ってたつ諸価値に揺さぶりがかかっているわけです。このようなカルチャーショックを受けることが、異文化理解への最初の一步と言えるのかもしれません。自分の常識が覆され、生活感覚がひっくり返り、生活経験がひろがっていくこと、そして人間とは何かという問いかけに戻っていくこと、これが文化人類学の楽しみの一つのようです。少し苦い味のする楽しみではありますが。</p> <p>今年度は、日本の社会と文化を象徴表現の観点から分析した研究を取り上げ、病気・米・猿をキーワードに日本を理解する方法について検討します。この作業は、私たちが自分の生活を見直していく契機になるでしょう。</p> <p>評価方法 出席は取らない。原則として前期試験の成績を評価の対象とする。ただし授業中に見るビデオなどについて感想文や意見文を書いてもらうことがあり、そのような小文を評価に加えることはありうる。</p>	

【授業科目名】 社会思想史	【担当者】 針谷寛
【開講期】 2年 前期	
<p>【授業目標】</p> <p>個人の自由と社会的共同について、客観的な場面と問題に即して自らの頭で考えていくための素材を提供する。</p>	
<p>【テキスト・参考書】</p> <p>テキストは使用しない。</p> <p>参考書は講義のなかで紹介する。</p>	
授 業 計 画	
<p>ヨーロッパ社会思想史における「市民社会」概念の変遷を手がかりにして、個人と共同体の関係を検討する。前提としてポリス市民社会像、中世都市市民社会像を見た後、近代的市民社会理論としてカントの社会理論を紹介しながら検討する。フランス革命と同時代のドイツで、カントは近代市民社会の理念とその実現を追求した。個人の自己決定権から共同社会のあり方を構成していくカントの社会理論は、近代社会を支える大原則を理論的に明示している。</p> <p>講義では、こうした考え方がどのような問題（状況）への応答として生み出されたのか、また、このような近代的思考原則がどのような課題を含むものであったかという点をあわせて検討していく。</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>レポートによる。</p>	

【授業科目名】 西洋史	【担当者】 増谷直子
【開講期】 2 年 後期	
<p>【授業目標】</p> <p>フランス革命という歴史上の出来事をさまざまな側面から検討し、その意味を共に考える。</p>	
<p>【テキスト・参考書】</p> <p>テキストは指定しない。 参考文献は講義のなかで紹介する。</p>	
授 業 計 画	
<p>フランス革命 どのような状況で始まり、どのような過程をとって展開していったかをできるだけ具体的に丁寧にたどりながら、そのなかで示されていく様々な課題（ブルジョアジーの要求する経済活動の自由と民衆の買占め禁止などの要求をどう折り合わせるか。教会と国家の関係をどのようにしていくのか。植民地における黒人奴隷も「人権宣言」の対象として考えるのか。女性についてはどうなのか。「国民」という意識はどのように成立していくのか。e t c.）を考察していく。</p> <p>絵画、版画、ビデオなども用いて、豊富なイメージを描けるようにしていきたい。</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>授業時に提出を求めるミニレポート。学期末の試験による。</p>	

【授業科目名】 国際関係論

【担当者】 平井文子

【開講期】 2年 前期

【授業目標】

80年代以降の債務危機を契機として IMF・世銀が打ち出した構造調整政策とその深刻な結果を学ぶことで、グローバル化の時代とつながる今日の国際関係を理解する。

【テキスト・参考書】

スーガン・ジョージ著『債務ゲーム——第3世界債務は地球を脅かす』  
(朝日選書 539)、朝日新聞社

授 業 計 画

今日、途上国政府の多くは、膨大な対外債務(借金)を抱えており、これが、「南」の貧困の源泉にある事は容易に想像がつく。しかし、そのことは同時に、地球環境を破壊し、「北」の住民の生活を脅かし、人々を麻薬中毒に引きまわす大きな要因ともなっている。テキストは、これらの因果関係を圧倒的の事実をも示している。講義はテキストに従い、以下の要領で進められる。

1. 第一のゲーム : 地球環境
2. 第二のゲーム : 麻薬
3. 第三のゲーム : 「北」の金融業者たちはどのように銀行を救済しているか
4. 第四のゲーム : 失われる「北」の雇用と市場
5. 第五のゲーム : 移民
6. 第六のゲーム : 武力紛争と戦争

各ゲームが夫々大きなテーマであるので、途中で一回レポートを提出していただき、期末には、テストをおこなう予定です。

【評価方法】

受講態度 およびレポートと~~試験~~テストによる。



【授業科目名】 アジア・アフリカ論	【担当者】 佐藤いづみ
【開講期】 2年 前期	
<p>【授業目標】</p> <p>東南アジア近現代史を、日本との関わりに注目しながら学び、それぞれの国の独立運動が描いた「民族国家」の構想とそこに内包していた課題を考えます。</p>	
<p>【テキスト・参考書】 テキストは使用しません。</p> <p>参考文献：『現代アジアの肖像』 全15巻 岩波書店 『アジアの教科書に書かれた日本の戦争』 東南アジア編 梨の木舎</p>	
授 業 計 画	
<p>私たちにとって東南アジアという地域は、実際よりもずっと遠く感じられているところです。日本との歴史的関わりや、今日の経済的な関わりを考えるとあまりに知らなさすぎると言わざるを得ません。高校までの世界史のアジア史が、中国史にほんの少し朝鮮史を付け加えることで成り立っているのが原因の一つでしょう。</p> <p>授業では、(1) 東南アジア地域の文化の源流を探るために植民地化以前の伝統的社会を概観し、(2) 東南アジアに対する日本の関わり方を「ひとびと」のレベルと国家のレベルから注目し、(3) マレーシア、ビルマ、ベトナム、インドネシアの各国について、植民地支配とそれに対する抵抗運動の特質、そして『現代アジアの肖像』(上記)を参考に、独立運動のリーダーが考えた「民族国家」の構想とそこに内包されていた現代の課題を考えます。</p> <p>①オリエンテーション</p> <p>・“アジア”とは? ・“東南アジア”とは? ・20世紀は何の時代だったか?</p> <p>②前近代社会における東アジアの交易体制と東南アジアの位置</p> <p>③中国の支配を受けた大陸部東南アジアと、「港市国家」の島嶼部東南アジア</p> <p>④欧米諸国の植民地支配が作り上げた東南アジアの貿易構造と「大東亜共栄圏」</p> <p>⑤植民地支配と独立運動の歴史、そしてリーダーの「国民国家」構想と今日の課題</p> <p>・マレーシア、シンガポール</p> <p>・ベトナム</p> <p>・インドネシア</p> <p>・ビルマ</p> <p>⑥ 資本と労働力の「ボーダーレス」が語られる今日における「国民国家」の意味</p> <p>・ASEANの工業化 ・昨今のアジア金融危機を考える</p>	
<p>【評価方法】 講義の中で、何回かまとめと疑問点のミニレポートを提出してもらいます。期末にこれらのミニレポートから課題の一つを設定して、レポートを作成します。</p>	

【授業科目名】 書道 I

【担当者】 小峯恭子

【開講期】 2年 後期

【授業目標】

毛筆・硬筆両面から文字を正しく整えて速く適切に書く実技能力を高めることを目標とする。

【テキスト・参考書】

テキスト 『書はの話はなし 第1巻』 上田桑鳩著 教育図書研究会刊

### 授 業 計 画

書字(実技)を中心とする。日本と中国の数多い古典の中から代表的なものを取りあげ、これを参考にしながら漢字(楷書・行書)と仮名の実習を行う。まず字実的臨書を、次いで応用の創作を行う。実用書にも目を向ける。

初講時には授業の進め方について具体的な話をするので硬筆(10マスノット使用)の用意をして必ず出席のこと。

1. 硬筆基本
2. 九成宮醴泉銘
3. 孔子廟堂碑
4. 雁塔聖教序
5. 顔勤礼碑
6. 集字聖教序
7. 仮名基本
8. 俳句(短冊)
9. 年賀状
10. 創作
11. 手紙(便箋)
12. 硬筆まとめ

【評価方法】

平常点, 出席重視

【授業科目名】 教養演習Ⅱ	【担当者】 中島好伸
【開講期】 2年 前期 後期	
<p>【授業目標】</p> <p>アメリカの文学作品を原文で読みながら、英語で読む力と文学作品の読み方を身につける。</p>	
<p>【テキスト・参考書】</p> <p>Mark Twain <i>Adventures of Huckleberry Finn</i> (Penguin Classics, 1966)  井川真砂他編『いま「ハック・フィン」をどう読むか』（京都修学社、1997）</p>	
授 業 計 画	
<p>まずは、Chapter21 から Chapter the Lastまでを、1年次に引き続き細かく読んでいこう。そろそろトウェインの英語にも慣れてきたことと思うが、翻訳に頼り切っていた1年次から自力で読む努力へと脱皮して欲しい。辞書を細かく引けば、読めない文章なんてないのだから。さらに2年次では、文学の読み方の方に力を入れていこうと思う。文学作品は、ある言語（この場合には英語だが）で表現された活字の集合体であり、これが表面的な物語を形成する。しかし、その表面をなぞる（読む）だけでは文学研究とは言えない。文学作品には、活字で表現された物語の背後に膨大な意味が隠されている。その意味を何らかの方法で掘り起こす作業、これこそが文学研究なのである。もしかしたら、作者や私たち読者の心理分析にまで手を出すことになるのかもしれない、魅力的な作業なのである。『いま「ハック・フィン」をどう読むか』という批評書を手がかりに、『ハックルベリー・フィンの冒険』を文学してみよう。そして、後期に始まる卒業研究へと結びつけていきたい。</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>年数回にわたるレポートとゼミ内発表に、出席平常点を加味して評価する。</p>	

【授業科目名】 教養演習 II	【担当者】 田中安行
【開講期】 2年 前期・後期	
<p>【授業目標】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1年次からの作品研究を続け発展させる。</li> <li>英米児童文学史を1年次とは別の角度から学んで、立体的に理解する方法を学ぶ。</li> <li>各自のテーマ研究を深めるための文献研究を進めていく。</li> </ol>	
<p>[テキスト・参考書]</p> <p>猪熊葉子・神宮輝夫「イギリス児童文学の作家たち—ファンタジーとリアリズム」研究社出版  定松正「子どもと文学の冒険」  Peter Hunt: Children's Literature --An Illustrated History, Oxford U.Press, 1995  Donna E. Norton: Through the Eyes of a Child, Prentice Hall Inc. 1995  John R. Townsend: Written for Children, The Bodley Head, London, 1990</p>	
<p>[授業計画]</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 英米児童文学史(英文)と評論を読んで自分の研究の位置づけを把握していく。</li> <li>2. ゼミ旅行を利用して先人たちの研究方法を学んだり、卒業研究のための資料収集を行う。</li> <li>3. 各自の進行状況をゼミで発表し、ゼミ全体でお互いから学びあっていくために討論を続ける。</li> <li>4. 夏休みに各自の取りあげた作品についてのレポートを15枚以上に書いて、自分の卒業レポートの構成をまとめていく。</li> <li>5. 英米文学史を1年次とは別の角度から眺め直して、各自の作品の生まれた社会的背景や歴史的な意義などについても研究して幅広い作品理解ができるようにする。</li> <li>6. インターネットを使って外国の図書館や研究機関から資料を検索して利用する。</li> <li>7. 卒業レポートの個人指導と平行しながら、ゼミでの中間報告を行い批評しあって研究を深める。</li> </ol>	
<p>【評価方法】</p> <p>平常点とレポート(年間数回)で行う。</p>	

【授業科目名】 教養演習II	【担当者】 栗田廣美
【開講期】 2年 前期・後期	
<p>【授業目標】</p> <p>日本の近代文学を素材に、 一年生で養った「自由なイマジネーション」を基礎に、 文学作品を「深く読み、論ずる」力を目指します。</p>	
<p>【テキスト・参考書】</p> <p>教科書はない。 みな、それぞれ卒業論文で扱う作品を中心に（文庫本等で）読む。 研究論文も読んで行くが、主としてプリントを使う。</p>	
授 業 計 画	
<p style="text-align: center;">文学作品を「深く読み、論ずる」力の基礎は、あくまでも、 自分の「自由なイマジネーション」です。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 10px; text-align: center;"> <p>なぜなら、「文学研究」の 「研究対象」は、</p> </div> <div style="text-align: center;">↓</div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 10px; text-align: center;"> <p>「イメージ世界」だからです。</p> </div> </div> <p style="text-align: center;">「紙に書かれた、インクの字」ではなく、 われわれ読者、一人一人の頭の中に浮かぶ、</p> <p style="text-align: center;">それは、他の人の抱いた「イメージ世界」とぶつかり合うことで、 より魅力的に、より「謎」に満ちて、より新鮮に、深まって行きます。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin-top: 20px;"> <p>「ゼミ」で大いに語る大切です。 自分と違う「読み」をした人との「差異」にこだわり、考えましょう。 気に入った「読み」は、「イタダキ」にしましょう。 「研究論文」を読むことは、この「ゼミ」の「拡大版」です。 自分と違う「読み」をした研究者との「差異」にこだわり、考えましょう。 気に入った「読み」は、「イタダキ」にしましょう。 そして、できれば「図々しく」、 自分の方が、ゼッタイ正しい！という、 ひそかな自信を、持ち続けたいものです。</p> </div> <p>それを、「論証」できれば、もう、「一丁前」の研究者です。</p>	
【評価方法】	平常点

【授業科目名】 教養演習Ⅱ	【担当者】 久保木寿子
【開講期】 2年 前期・後期	
<p>【授業目標】 一年次の学習の上に立ち、『源氏物語』第二部（若菜上～幻）の研究を行う。六条院の内部崩壊という主題と関わって、物語の方法が大きく変わる。盤石なはずの六条院はなぜ崩壊するのか。どう崩壊していくのか。紫上の心理展開の解明を中心課題としつつ、仕組まれた手法について考えていく。</p>	
<p>【テキスト・参考書】 テキスト、参考書については、最初の授業で指示する。</p>	
授 業 計 画	
<p>〔前期〕</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1、二条院・二条東院から六条院へと、物語の場は拡大している。この二条と六条の距離が、第二部の構想を支えることになる。先行論文を読みながら、場の確認をするところから始める。</li> <li>2、（5月、京都へ研修旅行。源氏物語に関連する場所を実地に見て“土地勘”を得る。事前準備とまとめ。各自・あるいはグループで、テーマを持って臨む）</li> <li>3、きわめて読みにくいところであるが、「若菜上」をとりあげる。第一部の過去が呼び戻され、様々な捉え返しが行われる巻である。その中から、新たに登場する女三宮の未熟な個性が、六条院体制（紫上・光源氏）を相対化してゆくことになる。</li> <li>4、授業の進度を越えて、「若菜下」まで目を通すことが課題となるので、そのつもりでいてほしい。</li> </ol> <p>〔後期〕</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1、第二部最後の「幻」巻を読む。「若菜」巻の時期を含む過去が、退場寸前の源氏の目から、さらに捉え返される。これを批判的に検討することで研究のまとめをしてゆきたい。</li> <li>2、第三部十三帖がなぜ書かれなければならなかったのか、第二部が抱えたままの問題があるはずである。授業では触れえないが、各自第三部を課題としてほしい。</li> </ol>	
<p>【評価方法】 定期試験時レポートによる。</p>	

【授業科目名】 教養演習II	【担当者】 西村汎子
【開講期】 2年 前期・後期	
<p>【授業目標】</p> <p>1年の教養演習で学んだ現代女性問題の学習の基礎の上に立って、日本女性史の文化と思想に関する史料を講読する。その上で、なぜそのような文化や思想が生み出されたのか、それらの積極的意義について考えたい。</p>	
<p>【テキスト・参考書】</p> <p>テキスト 『日本女性の歴史—文化・思想』総合女性史研究会編 角川書店</p> <p>参考書 『日本女性の歴史—性・愛・家族』同上</p> <p>『日本女性の歴史—女のはたらき』同上</p> <p>『大日本国語辞典』小学館 『事典 家族』弘文堂</p>	
授 業 計 画	
<p>テキストを読んで、時代の特徴をつかみながら、その中のいくつかのテーマと関連のある史料を読み、討論し合う。</p> <p>例</p> <p>1.原始古代</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◇未開のおおらかな女たち—古事記・日本書紀</li> <li>◇巫女の力—栄華物語</li> <li>◇女手の誕生と女流文学—源氏物語</li> </ul> <p>2.中世</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◇女房の世界—讃岐典侍日記</li> <li>◇出家への道—御伽草子</li> <li>◇女性への教育—世鏡抄</li> <li>◇わわしい女—狂言</li> </ul> <p>3.近世</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◇寺子屋—女大学</li> <li>◇庶民—滑稽本</li> <li>◇国学と女性—日記から</li> </ul> <p>報告者は内容をよく調べてきて、内容の説明と問題点について報告する。活発な討論を期待したい。</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>平常点および期末レポートによる。</p>	

<b>【授業科目名】</b> 教養演習Ⅱ	<b>【担当者】</b> 富永静枝
<b>【開講期】</b> 2 年 前期・後期	
<b>【授業目標】</b> <p>二年生になるとまもなく就職活動を始め、やがて社会人として就職をして行く学生達に、経済的自立の重要性と女性の職場の諸問題を考えさせ、問題解決の方向性を探る。</p>	
<b>【テキスト・参考書】</b> <p>参考書は授業を進める過程で紹介する</p>	
<b>授 業 計 画</b>	
<p>現代女性論ゼミ(Ⅰ)</p> <p>前年度に引き続き現代女性の抱えている諸問題について考察するが、2年次では特に「女性と職業」に重点をおいて学習を深めて行く予定である。</p> <p>学習内容はおおよそ以下の通りである。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1、近代日本における女性労働の歩み</li> <li>2、生涯設計における就労の位置づけ～経済的自立を求めて～</li> <li>3、女性労働の現状と課題</li> <li>4、女性労働と法</li> <li>5、女性労働の国際比較</li> <li>6、男女共生の社会システム</li> <li>7、男女平等を求める世界の運動に学ぶ</li> </ol> <p>なお、職場における女性の状況を正しく認識し、問題解決の方向を探るために、調査や見学なども行う予定である。</p>	
<b>【評価方法】</b> <p>通常のゼミにおける発表内容およびレポート。</p>	



【授業科目名】 教養演習II

【担当者】 東喜望

【開講期】 2年 前期・後期

【授業目標】 <古典と現代> 近・現代の作家の中でも、すぐれた作家は、東西古今の古典に通暁している。このゼミでは、同一（または類似）の題材を扱った古典と近・現代作品を比較しながら、その作品の違いや、作者の文学方法の独自性などについて検討していきたい。

【テキスト・参考書】 新潮文庫『山椒大夫』、新潮文庫『恩讐の彼方に』

### 授 業 計 画

1. 当初は、学外研修のための学習を行う。
2. 次に、下記の作品をとりあげ、比較検討する。  
出席を重視する。ゼミに積極的に参加し、報告・意見発表を行うこと。

(1) 説教節『さんせう大夫』—— 森区鳥外『山椒大夫』

(2) 上田秋成『春雨物語』、『捨石丸』—— 菊池寛『恩讐の彼方に』

【評価方法】 1. ゼミへの参加。報告内容。 2. 提出レポート。

【授業科目名】 教養演習Ⅱ「日本伝統文化史」2

【担当者】 高橋秀雄

【開講期】 2年 前期・後期

【授業目標】 1年次で学んだ日本芸能文化の特徴と内容をさらに分析し、それぞれに設定した主題を探究する。

【テキスト・参考書】

テキスト：使用しない

参考書：各種芸能文化関係書(その都度指示する)

### 授 業 計 画

1年次に習得した結果を基本にして、自ら追求したいテーマを選び、これについての研究を進める。それぞれのテーマのうち共通するものについては、必要に応じてグループによる報告と討論を行ない、個別的なテーマについては調査、研究の成果を報告し、質疑や討議を重ねて研究成果をまとめあつくる。

【評価方法】

1. 演習時のレポート
2. 演習時の平常点

} 左記2項による総合評価

【授業科目名】 教養演習 II	【担当者】 湯川郁子
【開講期】 2年 前期・後期	
<p>【授業目標】</p> <p>1年次で修得した日本の近現代に関する基本的な理解を基礎として、各自の問題関心とテーマをより明確にすることをめぐる。</p>	
<p>【テキスト・参考書】</p> <p>ゼミの構成メンバーと相談のうえ決定する。</p>	
授 業 計 画	
<p>基本的には1年次と同様の方法で、より専門的な文献をテキストとして演習を進めていく。後半期には、構成メンバー各自のテーマについての報告を積み重ね、相互に批判しあいつながら、問題点を詰めていくことに重点を移していく。</p> <p>ゼミ構成員は次の点に留意すること。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 自分の問題関心を明確にし、研究テーマとして取り組むべき課題を鮮明にする。</li> <li>2) その研究テーマに即して、文献および史料を探索し、早めにはその所在一覧リストを作成する。</li> <li>3) そのうえで、ゼミで数回行なうテーマ報告および中間報告会の準備をする。</li> </ol>	
<p>【評価方法】</p> <p>報告内容など平常点</p>	

【授業科目名】 卒業研究	【担当者】 専任教員
【開講期】 2年前期・2年後期	
<p>【授業目標】</p> <p>学生各自が自主的にテーマを決めて作成する。ただし、共同研究も可。枚数は400字30枚以上。所属ゼミでの研究を基礎にすることが望ましい。</p>	
【テキスト・参考書】	
授 業 計 画	
<p>執筆に先だちガイダンスを行い、その意義や叙述のしかたなど一般的な事柄について指導する。後期はゼミ担当教員が、研究資料の扱い方や研究方法など具体的な事柄について個別に指導する。レポート提出後、例年、発表会を行っている。</p>	
【評価方法】	

教職科目（2年）



【授業科目名】 書道II

【担当者】 神野雄二

【開講期】 2年 前期

【授業目標】

書の表現・理論・鑑賞を通じ、書と書教育の基礎、基本を理解する。

【テキスト・参考書】

『書字指導 中学校編』全国大学書字書道教育学会編、荳原書房  
『書字教育概要』日本教育大学協会第二部会書道部門会編、ぎょうせい  
『書字書道教育研究』第1号～第10号、全国大学書字書道教育学会編、荳原書房

### 授 業 計 画

授業の前半は講義、後半は実技がある。授業は、書と書教育の基本的な理解を目的としたものである。

内容は、文字の特質と書字教育、中学校書字の概要、書字実技に関わる理論、指導計画と指導方法など、幅広い観点から講義する。

実技は、書字教育の基本書体である楷書体、行書体などに仮名を学ぶ。これらの書体が、正しく、整えて、速く、美しく書ける技術の習得をめざす。そのために中国と日本における名蹟や名家の書を可能なかぎり臨書(りんしよ)する。主に毛筆を使用するが、硬筆も取り入れた予定がある。

テキストとして提出した『書字指導、中学校編』を基として、内容に応じて適宜資料を配布する。

【評価方法】

授業時提出する作品、レポートと課題作品、  
そして出席状況により、総合的に評価する。

【授業科目名】 教育実習	【担当者】 栗田廣美
【開講期】 2年 前期	
<p>【授業目標】</p> <p>実際に中学校に行き、「実習生」として学ぶ二週間が中心です。          学校に行けば、諸君は「先生！」と呼ばれます。          その「体験」に向けて万全の準備をし、帰って来たら、大いに語って「まとめ」をしましょう。</p>	
<p>【テキスト・参考書】</p> <p>教科書は使用しない。必要に応じてプリントを配布する。</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<p>「実習」までは、1年生の時の準備に引き続き、          「教職に就く」ことと、「実習で学んでくるポイント」を学習します。          技術的な訓練も、続けます。</p> <p>「実習」の二週間は、思う存分、充実した体験を味わいましょう。          ピンチな時は、なんでも相談すること。</p> <p>帰ってきたら「まとめ」の学習をして、貴重な経験と実感を「定着」させよう！</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>実習校からの評価を基軸にしつつ、総合的に判断する。</p>	



博 物 館 科 目



【授業科目名】 博物館実習	【担当者】 上野 光子・高橋 秀雄
【開講期】 2年前期	
<p>【授業目標】</p> <p>学芸員として実際の場に臨む場合に必要な心構えと、基礎となる知識・技術の修得を目標とする。</p>	
<p>【テキスト・参考書】</p> <p>テキスト：使用しない。必要に応じてプリントを配付します。</p> <p>参考書：全国大学博物館学講座協議会関西部会『博物館学概説』ほか。</p>	
授 業 計 画	
<p>2年次</p> <p>(1) 博物館見学：4箇所、事前事後講義、レポート提出</p> <p>(2) 館務実習：1～2週間程度、事前事後講義、レポート提出</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>(1)レポート、(2)作品、(3)平常点、(4)出席数、(5)館務実習評価、の総合点。</p>	

<b>【授業科目名】</b> 視聴覚教育メディア論	<b>【担当者】</b> 落合 美代
<b>【開講期】</b> 2年 前期	
<b>【授業目標】</b> 郷土資料、行政資料、視聴覚資料等、資料がもつ特質と資料としての役割を追求し、選定 収集、利用、活用のために必要な知識を習得する。	
<b>【テキスト・参考書】</b> テキスト： な し 参考書： 「レファレンス・サービス／実践とその分析」 大串夏身著 東京 青弓社 1993	
授 業 計 画	
<p>資料保存の図書館から資料活用の図書館へと変貌している今日の図書館において、郷土資料や行政資料、視聴覚資料等の選定と収集は蔵書構成や運営についてより一層の特色をだすことができる。諸資料の特性を理解し、選定・収集・保存利用・活用のための知識と方法について学習する。</p> <p style="text-align: center;">* 内 容 *</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 資料のもつ役割と特性</li> <li>2. 図書館資料の多様化と特色ある蔵書構成</li> <li>3. 資料の選定と収集・保存</li> <li>4. 資料の利用と活用の実際</li> </ol>	
<b>【評価方法】</b> レポート	

司書科目（2年）



【授業科目名】 図書館サービス論	【担当者】 森崎富喜
【開講期】 2年 前期	
【授業目標】 図書館は資料・情報を収集、整理、保管し、それを利用者に提供する機関であるが、そのうちの資料・情報の提供など利用者と直接かかわるサービスについて、その意義や特質、方法を学習する。	
<p>【参考書】</p> <p>「講座 図書館の理論と実際 7：利用者サービスと利用者教育」長澤雅男・小田光宏 共著 雄山閣 1991</p> <p>「改訂 図書館活動」前島重方ほか 樹村房 1995) (図書館学シリーズ 6)</p>	
授 業 計 画	
<p>(1) 図書館とそのサービス  図書館活動の意義  図書館サービスの原則と形態(貸出、読書案内、情報サービス、利用者援助、教育・文化活動など)</p> <p>(2) 資料・情報提供サービス  資料・情報へのアクセス  資料・情報の利用  館種別資料・情報提供サービス</p> <p>(3) 利用教育  意義と内容  方法とメディア  館種別の利用教育</p> <p>(4) 利用対象別サービス  対象別サービスの種類  障害者サービス  図書館サービスとボランティア  多文化サービス</p> <p>(5) 図書館サービスと著作権  著作物と著作権  図書館における複写・複製  映画・音楽資料、データベース</p> <p>(6) 図書館サービスの協力  資料・情報の提供にかかわる図書館間、関連機関の連携・協力</p> <p>(7) 集会・文化活動など</p>	
<p>【評価方法】</p> <p style="text-align: center;">授業時に行うミニテストと、期末試験</p>	

【授業科目名】 情報サービス概説	【担当者】 森崎富喜
【開講期】 2年 後期	
<p>【授業目標】 情報サービスは、図書館サービスの一つであり、図書館利用者と資料・情報とを結び付け人々の研究・学習を援助することである。近年、情報サービスという語が広範囲に使われているが、図書館における情報サービスとは何かを明らかにし、レファレンスサービス、情報検索サービス等について総合的に学習する。</p>	
<p>【参考書】  「レファレンスサービス 図書館における情報サービス」長澤雅男 丸善 1995  「情報サービス概説」小田光宏 日本図書館協会 1997  「情報サービス概説」渋谷嘉彦編 樹村房 1998</p>	
授 業 計 画	
<p>(1) 情報サービスについて  レファレンスサービスから情報サービスへ  図書館が行う情報サービスの位置付け</p> <p>(2) 情報サービスの種類  直接的サービスと間接的サービス  各種図書館とサービス</p> <p>(3) 情報検索サービスの方法</p> <p>(4) 情報サービスのための情報源  印刷メディアと電子メディア  情報源の構築  館内で作成・編成する情報源  情報源の評価</p> <p>(5) 情報ニーズへの対応  情報探索行動とレファレンスプロセス  情報検索と回答</p> <p>(6) 情報サービスの管理</p>	
<p>【評価方法】  期末のテストと授業時に実施するミニレポート</p>	



【授業科目名】 レファレンスサービス演習	【担当者】 森崎富喜
【開講期】 2年 後期	
<p>【授業目標】</p> <p>演習問題を課し、レファレンス回答の手順や情報源の使用法をマスターする。</p>	
<p>【参考書】</p> <p>「情報と文献の探索」長澤雅男 丸善 1995(3版)  「レファレンスサービス演習」堀込静香編 樹村書房 1998</p>	
授 業 計 画	
<p>(1) レファレンスプロセスの実際  事例を示しながらレファレンスプロセスを説明</p> <p>(2) 情報源の種類と特性</p> <p>(3) 参考図書とレファレンスコレクション  参考図書の検討  参考図書の手引き  参考図書の種類  非図書資料  レファレンスコレクションの構築</p> <p>(4) 情報探索の方法  レファレンスインタビュー  質問の分析から情報源の提供まで</p> <p>(3) インフォメーションファイルの作成</p> <p>(4) 書誌の作成</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>授業時の演習課題レポートと、期末のレポート</p>	

【授業科目名】 専門資料論	【担当者】 森崎富喜
【開講期】 2年 前期	
【授業目標】 人文科学、社会科学、自然科学・技術の各分野における知識の構造と資料との関係について理解するために、それぞれの分野の資料の特性とその分野を代表する資料について学ぶ。	
【テキスト・参考書】	
授 業 計 画	
<p>I 各専門分野の特性  人文科学 社会科学 科学・技術分野</p> <p>II 人文科学  人文科学と文献  人文科学における文献利用の特性  資料の特性と二次資料  人文科学各部門における資料解題</p> <p>III 社会科学  社会科学と文献  社会科学における文献利用の特性  資料の特性と二次資料  社会科学各部門における資料解題</p> <p>IV 自然科学と技術  科学技術と文献  科学技術者の情報利用  資料の特性と二次資料  特許情報 会議録 規格 学位論文 テクニカル・レポート  医学資料 データベース 主な参考図書と書誌</p> <p>V 専門資料とメディアの多様化</p>	
【評価方法】	

【授業科目名】 資料特論	【担当者】 落合 美代
【開講期】 2年 前期	
<p>【授業目標】</p> <p>郷土資料、行政資料、視聴覚資料等、資料がもつ特質と資料としての役割を追求し、選定 収集、利用、活用のために必要な知識を習得する。</p>	
<p>【テキスト・参考書】</p> <p>テキスト： なし</p> <p>参考書： 「レファレンス・サービス／実践とその分析」 大串夏身著 東京 青弓社 1993</p>	
授 業 計 画	
<p>資料保存の図書館から資料活用の図書館へと変貌している今日の図書館において、郷土資料や行政資料、視聴覚資料等の選定と収集は蔵書構成や運営についてより一層の特色をだすことができる。諸資料の特性を理解し、選定・収集・保存利用・活用のための知識と方法について学習する。</p> <p style="text-align: center;">* 内 容 *</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 資料のもつ役割と特性</li> <li>2. 図書館資料の多様化と特色ある蔵書構成</li> <li>3. 資料の選定と収集・保存</li> <li>4. 資料の利用と活用の実際</li> </ol>	
【評価方法】 レポート	

【授業科目名】 コミュニケーション論	【担当者】 倉澤寿之
【開講期】 2年前期(集中)	
<p>【授業目標】</p> <p>人間が他者に説得的に働きかける時に起こる、さまざまな心理学的な現象について学ぶ。また、人間の相互作用をゲーム理論的に分析する立場を学ぶ。</p>	
<p>【テキスト・参考書】</p> <p>特に指定しない。</p>	
<b>授 業 計 画</b>	
<p>1. 態度変容(第1日)</p> <p style="padding-left: 2em;">態度と説得的コミュニケーション</p> <p style="padding-left: 2em;">説得への抵抗とリアクタンス理論</p> <p>2. 承諾誘導(第2日)</p> <p style="padding-left: 2em;">社会的勢力</p> <p style="padding-left: 2em;">さまざまな承諾誘導技法</p> <p>3. ゲーム理論(第3日)</p> <p style="padding-left: 2em;">ゲーム理論による対人行動の分析</p> <p style="padding-left: 2em;">さまざまな戦略と人間行動</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>未定</p>	

【授業科目名】 図書館特論	【担当者】 落合 美代
【開講期】 2年 前期	
<p>【授業目標】          多様化する図書館資料、特に視聴覚資料をより有効に活用するためのレファレンス・サービスについて考察し、役に立つ種々の機器操作を習得し、独自資料を制作するための知識と技術を実習を通して学習する。また、メディア・スペシャリストの資質について考察する。</p>	
<p>【テキスト・参考書】          テキスト： なし          参考書： 1. 「視聴覚教育メディアの活用」 有光 成徳 他著                    東京 (財)日本視聴覚教材センター 1992                    2. 「図書館サービスと著作権」 (図書館員選書10)                    東京 日本図書館協会 1994</p>	
授 業 計 画	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・多様化した図書館資料（特に視聴覚資料）をより有効に利用活用するために必要な資料の特性、機器の特性を理解し、機器操作を学習する。</li> <li>・ビデオ撮影、編集等の実習を通して自主教材・資料を制作するための技能を学習する。</li> <li>・視聴覚資料のレファレンス・サービスについて考察する。</li> </ul> <p style="text-align: center;">* 内 容 *</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 視聴覚ライブラリーの運用と効用</li> <li>2. 視聴覚資料活用のための資料・機器の特性と機器操作</li> <li>3. 実習：自主資料制作・・・ビデオ撮影と編集の実際</li> <li>4. メディア・ライブラリアンの資質</li> </ol>	
【評価方法】 レポート / 自主制作ビデオ	





学籍番号・

氏 名・

---

〒187-8570 東京都小平市小川町1-830  
教務課042(346)5619